

居たが、清朝轉覆後、袁世凱、黎元洪、曹錕等は或は武力を以つて、或は懐柔策を以つて南方派の慰撫鎮壓に力め來つたのであるが、何等效なく依然南方派は北京政府に獨立的行動に出で、今日に至るも未だ其統一は行はれて居ない。さうして將來も相變らず南北戦争や其他の紛争が惹起さるゝ事であらう。

○ナーヴアス Nervous 神經質な。

○ナイーヴ Naive 無邪氣な、あどけない(佛語)

○ナイト Knight 勳騎士、或は騎士と譯す。歐洲中世の封建時代に活躍した武士の事であつて、彼等は刀槍や楯を持つて、常に戰場に於て雄々しく戦ひ、彼等にも又我國古武士の武士道と同じく、騎士道ギョウシトと稱するものがあつて、仁俠と豪勇に生きる事を誇りとしたのである。

○内的生活 Inner life 内面的生活とも言ふ。人間の生活は物質生活即ち外面生活のみでなく、思想、趣味、習識に依る精神の生活がある。それが内面生活であつて、内面生活の豊富なるは文明人の誇りであると言はれて居る。

○内面描寫 Inside describe 人間の心理状態や、其他外部に現はれない點と描寫する事を、小説などに於ける内面描寫と言ふのである。ダンメンチオの「死の勝利」マアテルリンクの「内部」の如く近代の小説戯曲は此内面描寫に優れたる事を特色として居る。

○ナショナリスト Nationalist 國家主義者、國民黨員。

○ナショナリズム Nationalism 愛國主義、國家主義。又米國の産業國有政策もナショナリズムと呼ばれて居る。

○ナショナリティ Nationality 國體、國粹、國民性。

○ナショナル National 國家の、國民的の、國家的の。米國の小學教科書にナショナル・リーダーと言ふのがあり我國でも英語の教科書として旺に採用されたが、譯すれば國民讀本と言ふ事になる。

○ナチュラリズム Naturalism 自然主義(其項に詳述)

○ナチュラル Natural 自然的な、天然的な。

○ナプキン Napkin 洋食の時に用ゐる口拭ひの白布。

○ナフタリン Naphthalin 白色小粒狀の防腐劑(獨語)

○成貧 成金の反語。一朝にして貧乏になる事。殊に成金連が元の黙阿彌になつた事に對して多く使はれて居る。

○南歐情調 夢の如き南歐情調など、言ふ。伊太利其他南部歐羅巴は四季の變化に富み、花笑ひ鳥歌ふ體ていの美しい氣分に満ちて居るが、小説などに描寫された其情調が即ち南歐情調であつて、ダンメンチオの小説や、我國の有島生馬の小説などが此南歐情調の豊かなるを以つて名高い。

○南米航路 South American line 横濱より南米に至る東洋汽船受命の航路。一年六航海、使用船三隻、速力十三海浬乃至十五海浬。

○南進乎北進乎 我國の海外發展に於て、南印度諸島より濠洲方面へ伸びんとするが南進であつて、滿洲、蒙古、西伯利亞に伸びんとするのが北進である。さうして海外發展策として其孰れが得策なるやは、歴々論者の論議の的となる所であるが、斯る所より南進乎北進乎は我海外發展の右すべき乎、左すべき乎の事と言つたものである。

○ナンバー Number 數。何番。ナンバー・ワンは一番の事。

## 【三之部】

### ○二元論 Dualism

宇宙の構成分子を説くに當つて、二つの相異なる性質より成ると主張する哲學上の所説が普通に言ふ二元論である。勢ひ一元論又は多元論と相對する。此哲學上の二元論のうちにも、超絶的二元論及内在的二元論の二大別がある。前者は宇宙の構成分子を外面的に解して精神と物質とは絶對無關係の二性質に分たれるものとなし、其支配作用も物質は機械的作用に依り、精神は心的作用に依つて支配されるとなす説であつて、後者は内面的に觀て宇宙の本體其物は同一體であるが、其内在的狀態に於ては二つの相異つた主性に分たれるとなす説にして、一元的二元論とも稱すべきものである。宇宙の本體は無意識であるが、其無意識は思想と意志に分たれるとなすハルトマンの説や、宇宙の實體サンスダンスは神であるが、神は思性と廣延の二大特徴に分たれるとなすスピノザの説などは其顯著なるものである。又認識論に於ては認識は感性と悟性の兩者によつて成立すと説くカントやヘーゲルなどの説を以つて二元論となして居る。併し此二元論なる説明の最

初は宗教上及道德上の思想に用ひられたるものにして、宗教、道德の二元論とは、善惡を司ぐる神は各々異なりとなす説、或は善惡は全然相異つた二つの道德作用に基くとなす説がそれである。

#### ○尼港事件

我國がチエツク救援(其項参照)の爲西伯利亞軍を派遣したところ、白軍のオムスク政府の倒壊と共に西伯利亞は過激派軍の横行する所となり、我軍に反感を持てるバルチザンの一派(山賊の如き手合なりと言ふ)は大正九年二月より下旬に涉りニコライエフスク港即ち尼港に於ける我領事を首め守備隊將校百三十有餘名、海軍將校四十餘名、居留民三百五十名、合計七百名を老幼男女の容捨なく虐殺するの大慘事を惹起するに至つた。是が所謂尼港事件であるが、我軍は解氷を待つて、其罪を問ふために、六月三日同地を占領した當時新聞紙面は同事件で持切り、遭難者に對する國民の哀悼深甚なるものがあつた。『噫尼港の慘劇』など、言ふ活動や芝居が隨所に公開されるのを初めバルチザン彈劾の講演會や追悼會が全國的に行はれた。爾來我國は勞農政府に對し、是が慰藉と損害賠償を荐

りに交渉して居るのであるが、露國の瓢箪餘を極込む事『日露交渉』の項に説くが如くである。

#### ○二十一ヶ條問題

最近の日支間の暗礁と言へば、此二十一ヶ條問題である。此條約は大正四年大隈内閣の時、日本が聯合軍に加盟し青島を陥落せしめたる報酬の意味に於て、加藤高明外相の強硬なる態度に依つて、支那をして止むなく承認せしむるに至つたものである。其主眼點は凡そ次の如くである。(一)、山東省に於ける獨逸の特權を繼承する事。(二)、旅順大連の租借權及滿鐵の期限を九十九ヶ年に延長し、併せて東部内蒙古に於ける日本の特權を認むる事。(三)、日本人の軍事顧問及警務顧問を置き、兵器は日本より供給を仰ぎ、南支鐵道の敷設を日本に許可する等であるが、當然ならば大正十二年を以つて滿期となるべき關東州の租借權は是に依つて長期の延期を見たる等、總て日本に取つて頗る有利なものであつたのである。反對に支那に取つて頗る不利不滿たるは勿論で、終始支那人の激昂の種となり、對日感情は是が爲め非常に惡化され、大正十一年秋の如きは支那國會に

於て勝手に同條約廢棄を決議し、大正十二年三月に日本に向けて正式に其廢棄通告をなしたが、もとより日本政府の眞面目に應酬する所とならなかつた。其以前から支那では此條約を楯に陰險な排日運動を續けて居る事、國恥紀念日の項に説いた如くである。

#### ○日英同盟廢棄

日英同盟は明治三十五年初めて締結された所の東亞に於ける英國と日本の攻守同盟を主眼とした條約であるが、廢棄に至るまでは二回の改締を得て居るのである。然るに大正十年は是が期限満期となるので、日英識者間には是が改締繼續説も現はるゝに至つたが將來日米戦争の萬一開かれた曉、同條約がそれに及ぼすべき影響を憂ひたる米國、及び地理上米國と背馳する事不可能な關係にある英領加奈陀の反對するところとなつて、大正十年七月満期を機として、遂に廢棄となるに至つたのである。そして間もなく是に代ふべき太平洋協約(四國協定の項参照)が實現するに至つたのである。

#### ○日露交渉問題

日露問題も亦目下の日本に於ける暗礁の一つであつて、此暗礁に乗上げて以來、兩國

とも動きの取れない事随分久しいものがある。大連會議、長春會議等幾回もの引揚作業も何等効を奏せず行き悩んでゐる。抑此日露問題は帝政露西亞が斃れて、勞農露西亞が出現した事が其根底の原因をなすものであつて、其重要問題と目すべきは(一)、日本側の尼港事件(其項参照)の損害賠償要求。(二)、日本側の樺太利權買収交渉。(三)、日本側の極東露領沿岸の漁業權繼續承認要求。(四)、露國側の勞農政府の正式承認要求。(五)、日本側の帝政々府との間に締結せられた舊條約の繼續履行要求等である。然るに右のうち「一」は露國側に於て浦鹽出兵は日本の勝手な振舞であつて、尼港事件は自業自得に類し、且つ又露國も日本の出兵に依つて多大の損害を蒙つて居ると露國の應ずる所とならず、「二」は買收値段に於て双方に十倍からの相違があつて話にならず、「四」は勞農露西亞を承認する事は總て其共產主義的國體を認むる事になり、延いては赤化思想を是認するやうな譯合になるからと言ふので、保守的な我國政府の容易に動く所とならず、唯僅かに「三」の漁業問題だけが後藤子のヨッフエ招致に際して、露國が日本の出漁を認諾する事となつて、無事解決したのみである。以上の諸問題を解決せんが爲に日露兩國は大正九年に

大連會議を翌年に長春會議を開催して圓滿なる解決を期したのであるが、兩國は互にエゴイズムを發揮し、何等調和の餘地を餘さず、二回とも決裂に終つた。而して大正十年時の東京市長後藤新平氏が奮起斡旋の勞をとり、露國一流の外交官ヨッフエを日本に招致して、半ば私人的（プライベート）に交渉した結果、上記の如く漁業問題又は圓滿に解決したのである。其後間もなく兩人の交渉は時の加藤友三郎内閣が繼承し、ヨッフエ、川上公使の會議となつたが、一向熟せず、大正十三年に入つては北京に於て芳澤公使とカラハンの間に樽俎折衝が繰返されて居るのであるが、燃わつきの悪い籠の如く依然として煮え切らない英國のマクドナルド内閣既に露國の正式承認をなし、伊太利之に倣ひ、支那すら我國に先んじた今日、我國もいつまでも荏苒外交的隠れん坊を繰返してもいられなくなつた。幸に現下の當事者芳澤公使は最近問題の樺太を視察し、日露交渉の解決近きにありと自稱して居るから、近く解決の曙光を見るに至るであらう。

#### ○認識論 Epistemology

知識論とも言ふ。哲學上認識の起源、本質、限界を研究するものが通常言はれる認識

論である。認識の起源の場合、即ち認識は何に依つて可能なるかを考究する場合は先天的即ち純粹の思考に依るものなりとする主理論と、後天的即ち感覺に依るものなりとする經驗論とに分たれ、認識の對照となる本質及限界を考究する場合は、其本質を究め得べしと説く實在論と、本質は吾人の主觀に依つて認識し得るも、客觀的に究め得ずとす觀念論或は現象論とに分たれる。約して言へば主理論及經驗論は認識の方法に就いての論議であり、實在論及觀念論は認識の目的に就いての論議であると言ふ事が出來やう。

#### ○認識主義

希望主義に對する刑法學の一思想。犯罪は其犯意が其結果を豫想して行へるものでなければ成立し難いとなすのが希望主義であり、是に反し犯意或は犯行のみにて犯罪は成立すると主張するものが認識主義である。

#### ○人間本位説 Anthropocentric theory

此宇宙は人間のために存在すると主張するのは舊來の人間本位説であり、此宇宙は人間の努力に依つて、人間の欲求に適應さし得べしと説くものは、近世の科學的の人間本

位説である。レスター・エフ・オートの社會學は此人間本位説の著しいものとして有名である。

### ○ニイチエ(人名)

近代思想界の異彩フリードリヒ・ニイチエは『個人主義』の項に於て説いた如く、人間は區々たる善悪や、憎悪——即ちあらゆる道徳や感情から超越して、鐵の如き意志の超人たれと主唱した近代個人主義の第一人者である。此大膽にして奇矯なる哲學は一體何處から生れたのであらうか。それは彼の閲歴を検する事に依つて窺ひ知られるのである。彼ニイチエは一八四四年獨逸ザイクセン州レッケンReckenの町に基督教の牧師を父として生れ。幼少の頃から非常に音樂を熱愛し、且つ音樂的才能にも優れて居て、一時は音樂家たらんと志した事もあるが、其念を斷つてボン大學に入り、轉じてライプツヒ大學に言語學を學んだ。途中一時軍務に服したが、歸來して間もなくバアゼル大學に言語學の教授となつた。殆んど同時にライプツヒ大學は彼に贈るに博士號を以てした。其時彼は年僅か二十五歳に過ぎなかつた。斯る點よりしてもニイチエがいかに天才的の人物

であつたかを窺ひ知る事が出来る。一八七〇年普佛戰爭に従軍したが、其時彼は激烈なる神經衰弱を惹起した。それより此神經衰弱は彼の生涯を通じて間斷なく彼を苦しめ、彼をして底知れぬ憂鬱に驅つたのである。其處に彼の獨特の哲學は生れた。何故なら斯る苦しき試練に遭ふ時、人は極端な厭世思想に驅られるか、さもなければ敢然其苦しみに面接して雄々しく闘ふかの二つの道しがなく、ニイチエは其試練に打勝つべく、強き意志を要したのである。其強き意思の憧れが聽て彼の驚異すべき哲學となつた。併し其前に彼は一時ショウベンハウエルに私淑した事に依つても知られる如く、非常な厭世思想に傾いたのである。併しながら彼は果して其強き意志の人となり終せたが。最後に彼は狂つた。病魔と憂悶は彼を征服した。一八八九年彼は狂死を遂げたのである。「悲劇の出生」は彼の處女作ではあるが、同時に彼自身をたどるに相應しい「悲劇の出生」ではなかつたらうか。右の處女作の他に哲學的著作には「日の曙」「歎びの智慧」「ツアラトウストラは斯く語る」「善惡の彼岸」「道徳の系圖」「偶像の微光」「此人を見よ」「反基督」等があり、彼の生涯に密接な關係を保つ樂聖ワグナーとの親交のもたらした著作と

して『ワグナー事件』『ニイチエ對ワグナー』がある。

○ニュートン(人名)

林檎の落つる事から引力の法則を發見したニュートンは小學校の兒童すら知つて居る世界的大學者である。重力の法則、運動の法則、光の粒子説(各項參照)等、近世物理學界の大發見は殆んど彼に依つてなされたかの觀がある。アイザック・ニュートンは一六四二年英國に生れ、初めは農夫生活をして居たが、長じてケンブリッジのトリニチー大學に入り、在學中に光線七色の理を發見して世人を驚かした。一七二七年に逝いた。

○二院制 Bicameral system 國會が貴衆兩院より成つて居る制度を言ふ。

○二科會 日本畫壇の純洋畫家の團體として最も勢力あるもの。且つ常に泰西新畫風の傾向を現せる團體である。大正二年文展に反抗して獨立せる團體である。

○荷爲替 Document bill 發送に際し其商品と擔保として、其代金に對し爲替手形を振出して、銀行から割引の上前拂金と受くる爲替。

○ニグロ Negro 黒奴。黒人の一種族。

○二十四吋半砲 歐洲大戰に於て佛國が發明した世界最大の巨砲。彈量三千二百封度。彈長六呎半。

○二重人格 Double personality 醫學上病的現象に依つて性格が時に依つて全然相違した状態を呈する事と言ひ、それより筆舌では正義的な事と言ひながら、實生活では不道德な事を敢てするやうな言行不一致の人間を二重人格者と言つて居る。

○二重生活 Duplicate life 全然性質の異なつた二つの生活と營む人、例へば故北島春石君の如きは、小説家にして同時に藝者屋の主人公であつた。蓋し二重生活の甚しいものである。又パンの爲止むなく理想と矛盾した生活と營む事とも言ふ。

○日銀見返擔保 日本銀行が特定の有價證券其他の物件と擔保として各種の銀行に貸出とする其擔保の事。

○日本アルプス 歐洲の本物のアルプスの名に倣つて、信濃、飛騨、越中、甲斐の國境に跨がる一帯の風光明媚なる山脈地帯に名附けたもの。

○ニツクネーム nickname 綽名。

○ニヒリスト Nihilist 虛無主義者、虛無黨員(虛無主義に詳し。)

○ニヒリズム Nihilism 虛無主義(其項に詳説)

○二部教授 Double teaching system 學校が校舎、教員の不足から生徒を午前と午後、或は晝間と夜間に分つて教育する事と言ふ。

○ニトー New 新しや事、新し。

- ニユース News 新しい報道、珍聞種々新しき報道のマンフレット。新聞紙の略。
- ニユース・ペーパー News-paper 新聞紙。
- ニルヴァーナ Nirvana 梵語である。涅槃の事(其項参照)
- 任意徴兵制 Voluntary conscription system 志願者と待つて、それに俸給と與へて兵士と得る傭兵制度の事。此制度の國では兵隊さんも會社員と同トク月給取りである。英國の陸軍などは此制度に依つて居る。
- 人形の家 女性が男子の奴隸的狀態にある家庭或は其家と言ふ。新しい女の經典の如く言はれるイブセンの戯曲「人形の家」の名題と新しく通語としたもの。(詳しく事は婦人問題の項参照)
- 人間性 英語のヒューマニテイ(Humanity)の譯語。實際に人間らしき事。即ち人間本來の性格と言ふ。人間の眞性質に對しては性善と性惡の二説(性惡説の項参照)がある。又淫賣婦や囚人の人格の裡に靈性を認めた露文豪ドストエフスキの如きは人間の靈性を高調したものであり、シーザーやクレオパトラの如き英雄、美人と下俗な人間化した英の文豪バーナード・ショウの如きは人間の平凡性と力説したものであると言ふ事が出來やう。人間味と言ふも程同トである。
- 人間不平等原因説 民約論に同ト。其項に詳説。
- ニフ Nymph 山、川、海、野等の自然の中に住む小人の精女の事。希臘神話の中に現はる。

【又之部】

○ヌーボー式 Nouveav

近代圖案の一樣式である。描線を同一の太さを以つて描いた圖案。簡朴の感あるも情味に乏しい憾みはある。ヌーボーは佛蘭西語にして新奇を意味する。然るにヌーボー式なる語は轉じて應揚な模糊とした人物を形容するのに用ひられるやうになつた。而して斯る人物は、大人物の型に多く西郷隆盛、頭山滿などは其最なるものである。又新派劇の第一人者高田實の藝風の如きは一般に此ヌーボー式の藝風として知られてゐた。



## 【米之部】

## ○ネオ・ロウマンチズム Neo-Romanticism

新浪漫主義の事である。(廣義の解釋) 是を廣義に解釋する時は、自然主義以後靈魂に眼醒めた總ての新思想はネオ・ロウマンチズムと總稱し得る。故にオイツケン、ベルグソン、タゴール、ロウマン・ロウラン等の二十世紀新哲學は哲學上の新浪漫主義であり、後期印象派、未來派、表現派、新古典主義等の印象派以後の新興美術は、美術上の新浪漫主義であり、フロイド教授の精神分析學の如きは心理學上の新浪漫主義と言ふ事が出来る。(狹義の解釋) 併し乍ら普通單に新浪漫主義と言ふ場合、或は新浪漫主義中最も重きをなすもの、又は新浪漫主義の名稱それ自體に於て一大勢力をなして居るものは、文藝上に於ける新浪漫主義である。併し乍ら文藝上の新浪漫主義も解し方に依つては、廣義と狹義の二つに分つ事が出来るのである。即ち象徴主義、神秘主義、唯美主義等自然主義以後の主觀的な文藝總てを總稱したるものが、廣義の意味に於けるそれであり、前記の如く新浪漫主義の名稱夫自體に於て獨立せるものが、狹義の意味に於けるそれで

ある。(全體の特長) 哲學たると文藝たるとの専門的區別に依らず、全體的の新浪漫主義の特徴如何と言ふに、一、は自然主義に對する反抗であつて、それはオイツケンが『自然主義は決して新時代に適當な生命運動の發表でない。』と呼號せる如く、ロウランが『忌むべき物質主義は諸々の思想を破壊して、政府や人民の活動を等しく拘束して居る。』と絶叫した如く、自然主義思想、科學萬能主義思想の餘弊の齎した人間の機械化、人生の枯渴に不満を抱く事である。二、は新しき理想の憧憬であつて、人生を無目的となし人生を盲目的活動なりとなした自然主義的の悲觀的な絶望的な思想の苦痛に耐へられずして、何等か靈魂の慰藉を得、希望の光明を得んとするものである。生の躍進を説いたオイケンの哲學、生の流轉を説いたベルグソンの哲學、乃至は英雄的突進を説いたロウランの思想を初めとして、美至上の世界への憧憬を説くワイルド等の唯美主義。神秘の國への憧れを説く、マアテルリンク等の神秘主義。最も吾人を動かすものは神秘其物で赤裸々の美でなく、吾等の最も愛するものは未知である、と言つたアナトール・フランスも皆この部類に屬するものである。三、は著しき主觀的傾向であつて、自然主

義時代は私念を交へず、在が儘に人生を見んとして、自然人生は客観的存在であり、吾人の力で如何とする事が出来ないと言ふ思想を把持したのに對し、新浪漫主義に於ては、自然人生を自己中心に解釋し、其自己の主観に依つて、新しき自然人生を創造し、或は美化せんとするものである。故に新浪漫主義は一面新主観主義と言ひ得るのである(舊浪漫主義との相違) 其處で問題は新舊浪漫主義の相違であるが、舊浪漫主義に於ては、理論を超越し、現實を無視して、嚴正なる批判なくして妄りに架空の世界に理想を描かんとしたのであるが、自然主義を通過して來た新浪漫主義は理論と現實——即ち實人生を重んじ、科學の到達し得ず、經驗の滲透し得ない實在の彼方に、微妙なる靈魂の輝きを見出さんとするものである。彼の主観は粗なる小兒の如き主観であつたが、是は人生の辛酸を具さに嘗めて、今更に人生の驚異すべきを痛感したる老人の主観である。(新浪漫主義の文藝) 以上新浪漫主義の特徴及新舊浪漫主義の相違は殊に文藝上の浪漫主義の内容を説明するものであるが、尙獨立の意味での新浪漫主義は夢幻的な物語の裡に、死と生と愛の不可思議を示し、靈魂の警異と神秘を語らんとするものである。さう

して此派の有名なる作家としてはユイスマン、アナトール・フランス、ハウマンスタール、後期のイブセン、マアテルリンク等が著しい。

#### ○ネオクラシシズム Neo-Classicism

新古典主義の事。文藝上、繪畫上に於て、舊の古典主義を復活し、それに新しき生命を附與せんとする主義。即ち舊の古典主義は只管理智と規範に走せたが、是は其弊を捨て、規範と格調は尙ぶけれども、彼の如き客観的ならず、主観的情熱を作中に盛り込んとするものである。

#### ○念寫 Spirit photography

何等機械的の設備なく、寫眞暗中の乾板の上に現はれたる映寫事象を、精神の集中に依つて、上から寫し出す事。千里眼の一種とせられて居るが、未だに何等の科學的證明が與へられて居ない。

○ネーバリズム Navalism 海國主義、海洋優占主義。現代の英國の如く、往時のスペイン、オランダの如く大いに海上に雄飛し、以つて國力の發展と期せんとする主義である。従つて此主義の國は海軍と航海を非常に重視す

るものである。

○ネーム Name 名前、姓名。

○ネーム・カード Name-card 名刺の事。然し是は英語の辭書にはなき、和製の英語である。英國では名刺の事と決してネーム・カードなど、は言はない。皆ヴィシツテイング・カードと言ふのである。

○ネオ Neo 「新」の意の複合文字であつて、多く主義思想の上に冠して、新何々主義と言ふ場合に用ゐる。假令ばネオ・アイデアリズムは新理想主義。ネオ・オリエンタリズムは新東洋主義。(各項に詳説)

○ネセシツテイー Necessity 必要。

○涅槃 Nirvana の音譯にして、意譯すれば寂滅、圓寂、滅度、覺である。小乗では三界の煩惱を断ち切つて放心無爲に歸するこゝを、大乘では不生不滅の眞理、謂はゆる善、常の妙徳を具へたる絶對的理想と言ふ。轉じて聖者の死するを涅槃に入ると稱す。例へば釋迦は入涅槃したりの如し。

## 【ノ之部】

○ノーベル賞金 Nobel-prizes

一八九六年十二月十四日に死去したダイナマイトの發明者として著聞な瑞典の化學者アルフレッド・ビー・ノーベル博士の遺言に依り其遺産百九十六萬一千五百九十磅より生ずる利子を以つて殆んど毎年各學界の世界的功勞者の名譽を表彰する、所の賞金である。授與額は一名平均八千六百六十磅であつて、種類は専門に依つて文學賞、理學賞、化學賞、醫學賞、平和賞の五種に分たれる。授與されるのはノーベル博士逝去當日である又遺産は瑞典皇帝の任命する總裁に依つて管理せられて居る。今日までの授賞者は約九十名に昇り、勿論授賞に當つては、當時世界の最も代表的な人物を詮議するのであるが一度其授賞を受ける時は、彼が世界的名譽は益々揚り、動かすべからざる權威者となるに至るのである。故に學者文人に取つては、ノーベル賞は至上の名譽の如く騒がれる有様である。

○ノーヴァーリス (人名)

獨逸浪漫派の詩人にして小説家。一七七二年ウィーデルステットに生れ、イエナ大學に學びしが、一八〇一年死去。

○能率 Efficiency 一定の時間に、通常あげ得る所の成績或は効果と言ふ。近時工場や事務所などに於て、仕事の好成績をあげる信條モットーとして、能率増進を稱ふるもの頗る多く、一種の流行の如き觀を呈して居る。此能率増進を専ら稱へ、且つ計る事を能率主義などと言つて居る。

○乃木宗 極端に故乃木大將を崇拜し、其人格を模し、其思想と實行せんとする人達、或は其信仰的思想と言ふ。

○能動的 Active 受動的に對する語で、此方から積極的に相手に働きかける事、或は挑む事である。

○農民藝術 農民自身の間に自然的に育はぐまれた藝術、傳説、民謡の如きはそれであるが、其豊かなる田園的情趣と、朴訥な味はひと持つた野調は、一部藝術家の大いに愛好するところである。

○能因法師を極込む 昔能因法師と言ふ和歌の名人は、奥州に旅せずして、奥州の歌を作らうとし、奥州に旅行中の如く世間體を偽らんが爲に、或期間中絶対に訪客を避けて居留守を使つたものだ。それより留守を使ふ事を能因法師と極込むと言ふのである。

○ノートル・ダム Notre dame 佛語で聖母、或は聖母堂の事と言ふ。佛蘭西の小説や著作を讀むと、屢々ノートル・ダム寺院の事が散見されるが、是は巴里の大伽藍であつて、佛國四大ゴシック建築の一つである。屋上の怪像キミラーは巴里奇觀の一つ。謂はば同寺院は我國淺草觀音堂に匹敵すべきもの。ユーゴーやアナトール・フランスは

ぶつつけに同寺院と作品の題名としてゐる。前者は「ノートル・ダム・ド・パリ」後者は「ノートル・ダムの奇術師」である。

○ノー・スモーキング No-smoking 禁煙。郊外電車の掲示には吃度、和文と一所に是が記されてゐる。

○ノティス Notice 掲示、通告。

○ノート・ブック Note-book 手帳、雜記帳。略してノートとも言ふ。

○ノーブル Noble 高尚なる、氣高き。

○ノーマル Normal 正規の、常規。同綴で獨逸語でノルマルと發音する。

○ノヴェル Novel 怪奇な。又小説の事と言ふ。

○ノヴェレット Novelle 短篇小説の事。

○ノクターン Nocturne 夜の景を描いた畫、即ち夜景畫の事。又音樂の夜曲の事。

○ノスタルジア Nostalgia 故郷を戀しがる事、郷愁と譯する。

○ノック Knock 戸をトク／＼と叩く事。西洋では他人の室を訪れる時は、必ずノックとして、相手の答を得て這入るべき事、當然の禮儀になつてゐる。

○ノット Knot 漚を書く。海上里程の計上に用ふ。一ノットは我約十七町。

○ノミナリズム Nominatism 唯名論、名目論、其項に詳説)

○ノンセンス Nonsense 無意味、馬鹿々々しき事、つまらない事。

【ハ之部】

○パラメンタリズム Parliamentarism

議會主義と譯す。非特權階級、無産階級（労働者）、即ち一般民衆の利害を代表する代議士をより多く議會に送り、合法的に立法の革新を促すことによつて民衆の利益を増進せんとする主義主張を云ふ。従つて直接行動を採らず、その目的達成の手段として穩健なる普通選舉運動に共鳴し、その必要を高唱するものである。

○賠償委員會

ヴェルサイユ會議（其項参照）の議決に基き、獨逸其他反聯合國側に課せる歐洲大戰賠償金（獨逸の賠償金の項参照）の償還方法に就いて聯合國が委員を選任して會議する組織の事を言ふのである。成立以來數回開かれしが、其議決案は多く履行に適せず、一兩回委員の交替を見たが、最近米國委員ドーズ氏提案の理想的な案件を得てその成立を見、所謂其ドーズ案に依つて厄介至極な賠償金問題も順調に片付きさうな形勢である。我國からはすつと森賢吾氏が委員に選拔されて居る。

○賠償主義

法律上刑罰の目的は賠償に在りとする見解。ウエルカー Welcker に依れば刑罰は犯罪により攪亂せられたる法律的平安の感念を回復して無形の損害を賠償するを目的とするものであるとし。フイヒテ Fichte ホップス Hobbes 等は、罰は社會的契約の違反者たる犯罪人をして社會より排除せらるべき極端な不利益を免れさせるを目的とする賠償處分であると定義されてゐる。

○陪審制度 Jury system

法は元これ民衆或は國民の利益のために存在するものである。然るに司法者が無能或は專横なるの結果、法が其目的にもとるが如き事尠くないのである、斯くては法の効用を失ふのみならず、反つて有害なものとなるのである。其處で法の眞精神を生かし、法官の無能や專横を制し、判決を公明正大ならしめんがためには、人民が法律運用に參與し、大いに有用な結果を來さなければならぬ。陪審制度は即ち此精神に添つたものである。封建時代の專制的裁判が民衆的な自由な制度に接近せるものであると言へよう。

此陪審制度には二十三人の陪審官より成立する起訴陪審或は大陪審、十二人の陪審官より成立する刑事公判裁判或は小陪審、民事にのみ限られる民事陪審の三種があるのである。各國に於て多く行はれるものは小陪審のみにして、所謂小陪審及民事陪審を併用したる所のものである。陪審制度は夙に歐米に於て採用され來つたものであるが、我國でも第四十六議會に於て之が通過を見れば遠からずして實施を見る事になつて居る。我國のそれは小陪審制度であつて、民選に依らず、裁判所の指命せる三十六人の陪審員中より、被告人以外に検事も加はつて、十二人を選ぶ事になつて居るのである。斯く裁判所當事者が介在して居るが如きは、民意尊重の主旨よりなる折角の陪審制度の精神を無意義にするものであり、且つ陪審に附する犯罪に就いては種々の制約があるため、進歩せる思想家や學者は是を官僚的な不徹底なものとして攻撃して居る。若槻禮次郎氏が在野の時代、議會に提案されたる該法に對し、細密な反駁を加へた事は最近の痛快事として這般の消息を物語るものである。此陪審制度の行爲と言ふのは、判決の制定後又はそれ以前に於て陪審員が其無罪有罪の判定をなし、或は刑の輕重を左右するもので、法律

は其判定を認定すべき事になつて居る。故に歐米では殺人犯が陪審判定に依つて忽ち無罪になるやうな例が尠くないのである。

#### ○破産管財人 Trustee in bankruptcy

破産事件は債務者の總財産に對して一般的強制執行を行ひ以て債權者に公平なる満足を與へんことを目的とする民事の訴訟事件であつて、破産管財人とは其一般的執行の任に當る公の執行機關を言ふのである。恰も箇々の強制執行に於ける執達吏と同一の地位にあるものである。

#### ○パスカルの原理 Pascals principle

靜止せる流體に關する主要なる原理であつて、靜止せる流體の一點に加へた壓力は、其流體内のすべての點に其大きさを變ずることなく傳播せらるるといふ原理である。此の原理によれば一つの面に一だけの壓力を加へれば、其の流體の何れの處に於ても壓力一だけ増加すると言ふのである。此の原理を應用したるものが則ち水壓機である。

#### ○派生需要 Derived demand

マーシャル Marshall の始めて用ひた語で、或る貨物の生産に要せらるゝが爲に生ずる間接的需要と云ふ意味である。例へば鐵道の軌條に對する需要のある場合には、當然軌條の用材たる鐵竝に製作に従事する勞力の需要が必要となるのである。此鐵材竝に勞力の需要は直接の需要品たる軌條そのものに對すれば間接なるが故に、これを派生的需要と言ふのである。

#### ○八八艦隊

八八艦隊とは超弩級戰艦八隻 巡洋戰艦八隻を以て基本主力艦隊とする軍備上の主張にして、國防上我が海軍の理想であつたが、國際聯盟による列強軍備縮少の結果此計劃は根底から覆され、今日では六四艦隊案を維持せんとして居る現狀である。

#### ○白禍論 White peril

これは輓近米國加州に於て日本人及支那人排斥の運動が猖獗となつて以來、我國一部國際批評家の間に知らず識らずの裡に唱へらるゝに至つた言葉であつて、白人の專横我れに禍する所より略して白禍と言つたものである。近時濠洲も亦日本の勢力膨脹に對し

て甚しき恐怖を抱き日本人の侵略に備へると共に屢々黃禍 Yellow peril を口にして居るのである。白禍はこの黃禍に對して唱へらるゝに至つたものである。白禍の實例は、英米佛等の支那分割運動、及び歐洲列強の南洋植民政策にも明に見ることが出来る。

#### ○發生的心理學 Embryological Psychology

凡て吾々が事物を研究するに當り、單に現在の状態を闡明にするのみに止まらずして寧ろ其事物發生當時の状態に遡つて研究した後、現在の状態に至るまでの變遷發達の徑路を明にすることに努力するとき、研究そのものをヨリ正確に完全に導くものである。かゝる研究方法を發生的研究と言つて居る。發生的心理學とは精神發達の徑路及其法則を研究する學を云ひ、進化論發見以來重要な意義を持つに至つた學說である。

#### ○パナマ運河 Panama Canal

大平洋より大西洋に向つて、開鑿貫流されたるもので、スエズ運河と共に世界二大運河の一つである。場所は中米パナマ共和國に位し、延長約五十哩、水深約四十五呎、幅員約三百呎にして、佛人レセツプの計畫にかゝり一九一四年に竣工したるものである。

目下は米國政府によりて經營せられて居る。同運河を通航するには、汽船一噸に就いて一弗二十仙の通航料を支拂はなければならぬ。

#### ○バルチザン Baichisan

本來は「組織なき徒黨」と云ふ意味であるが、露西亞の革命戦亂後、シベリヤの曠野に出沒しては村落都市を破壊燒棄し、掠奪、虐殺、凌辱等兇猛極りなき悪事を事とする不逞漢の一團を呼ぶに至つたのである。最近には一九二〇年シベリヤニ港に於て多數の日本人を虐殺し、家屋を燒き財貨を掠奪逃走したる未曾有の大椿事を惹起し、邦人には忘れがたき痛恨事を殘したのである。(尼港事件に詳述)爾來兇惡なる行爲を敢てするものを一名バルチザンとも呼ぶ様になつたのである。

#### ○バプテスト派 Baptists

浸禮教會のことで、基督新教の一派である。一五二三年宗教改革者ツウイングリンの弟子の一團によつて瑞西に起つたものである。教會は自治と信仰を中心とし、入信は全身を水に浸す洗禮によるを信条とし、小兒の洗禮を絶対に排するものである。

#### ○八時間労働制

System of the Eight hours Labour

現時の社會組織は富の分配が甚しく不公平で、人間の労働が恰も機械の其と同一視されて居るのは誠に遺憾である。茲に於てか諸外國では遂に法律を以て工場職工の労働時間を八時間に限定する制度が設けられるに至つたのである。此制度は労働者以外の精神勤勞者にも亦準用されると言ふことになつて居る。即ち八時間労働論者の主張するところは、労働時間の短縮は却て労働の効果を即ち能率を大ならしめるが故に、其勞銀も低下する必要なく、従つて労働者の經濟を時間的に救ひ。餘裕の時間を與へて休息と修養と勉學に就かしむるを得、勞資兩者をして學術上將た道德上の進歩を得せしめるものである。といふのであつて、獨逸のブレンタノ、英國のオーウエン等によつて力説されたものである。此主張は我國にも影響し一晝夜三交替若くは四交替制を採用する様になつた。多くの紡績會社の現狀がそれである。

#### ○汎愛主義

Humanism

第十八世紀の中葉ヨーロッパに起つた教育上の一新派である。中世時代以後ヨーロッパ



バ一般に行はれた教會本位國家本位の思潮に反對して起つたところのいはゆる啓蒙思潮が教育上に現はれたるものであつて、其特色とするところは、博愛を旨とし、合理的にして利用厚生を重んずる點に存して居る。暗々裡にはルツソーの主張に負ふところ少くないが、明に此主義を主張したものは、ブランタ、パセドー、カンベ、ザルツマン等にして、議論のみでなく實際上にも此主義の教育を施したものである。是等諸氏の施設は必しも成功したとは斷じ難いけれども、後世の教育界に及したる影響は決して尠くはないのである。殊にシユネツペンタール(ザルツマンの施設)に在る汎愛學校は地理歴史等の教授法を刷新し、體操遊戲の價値を明にし、手工科の發達を促した等、教育史上の功績没すべからざるものがある。

#### ○汎亞細亞主義 Pan-Asianism

亞細亞民族は人種的歴史の兩方面に於て互に共通の資性及運命を有つて居る。此資性及運命の共通點を總合して、民族的一大運動を起し、民族中最も實力ある日本を盟主として將來に於て起るであらふところの世界人種競争の準備を整へなくてはならぬと云ふ

主張主義を生命とするものを汎亞細亞主義と言ふのである。新東洋主義が文化的結合を主張し若しく精神的色彩に富むに對し、汎亞細亞主義は、侵略的であり軍事外交的色調をより多く帯びているのである。其點で兩者間に多少の差異はあるけれども、東洋殊に日本を中心とする對歐米策である事に於て全くの一致點を見出し得るものである。

#### ○汎イスラミズム Pan-Islamism

回教のことを英語でイスラムと言ふのである。紀元八世紀頃はイスラム教の全盛時代で、歐亞阿三大陸につ跨つて統一的大勢力を有して居たが、其後基督教の擡頭に壓迫され爾來イスラム教の萎靡不振を極むる實に年久しいものがあつた。然るに歐洲大戰前ベルシャ人ルテインは是を慨歎して時の土耳其皇帝ハミッドと謀つて、回教の復活と、回教國の統一を策し、以つて歐洲諸國の侵略迫害に當らうとした。是が汎イスラミズムであつて、總て巴里、倫敦に汎イスラム教會の設立さるゝによつて、一時近東を騒がしたが歐洲大戰後の民族運動に伴ふ民族意識の強靱は民族併合を主義とする此運動の人氣を衰へさし、目下土耳其の宰相者ケマル・パシヤの如きは、是に對して頗る冷酷な口吻を洩

らして居るのである。

○萬有引力 Universal gravitation

如何なる物質にも共通せる一種の性質にして、即ちすべての物質は互に相引く力があると言ふ原理である。此力は物質の種類如何に關せず存在する故、萬有引力と名くのである。此力に關する法則は碩學ニュートンによつて發見せられ、天體運動に關する説明を與へたものである。其法則とは、『すべての物體の互に相引く力は其物體の質量の相乗積に比例し其相互の距離の自乗に反比例す』といふのである。されど萬有引力の根本的説明は尙不完全であつて、近時アインシュタインの相對性原理により反駁されんとしつゝあるのである。(相對性原理參照)

○ハンガー・ストライキ Hunger strike

絶食同盟又は飢餓同盟と譯して居る。創始者は英國婦人參政權運動の領袖バンカースト夫人である。夫人等は投獄せらるるや獄中に絶食を斷行するので、仕方なく一時出獄を許され、營養が恢復すれば又入獄すると言ふのである。最近この實例としては愛蘭問

題で投獄されたコルク市長マック・スウィーニー外十一名が獄中で絶食同盟を斷行し、市長は二箇月餘断食した爲め獄裡に長逝したと言ふ。この同盟の目的は、政治、思想問題等に於て不法にも入獄させられたるを憤慨し、自己の所信のために、獄食を退け以つて世人の同情を買ひ、事件の促進を計ると共に自己の意志の牢固不拔なるを示すにある

○汎ケルマン主義 Pan-germanism

ドイツ、イギリス、アメリカ合衆國、オランダ、スカンデナヴィヤ等チユートン(Teuton)民族諸國の共通利益を主張せんとする主義にして、汎スラヴ主義に對して起つたものである。而も以上諸國を抱擁した運動は實際上無意味であり又實行困難のために、茲に獨逸人を主とし和蘭人、スカンデナヴィヤ人等に限られた小範圍の運動に對して此名稱が用ひられるに至つて居る。此狹義の意味では全獨協會(Aldertis eher Verland)の運動と酷似してゐる。故に英佛では全獨協會の主張を汎ケルマン主義と譯してゐる。初め全獨運動は一八七一年オーストラリヤでスラヴ人の聯邦制度を行はんとしたのに對して起つたもので、全獨同盟を組織して須くオーストラリヤを併合すべしと主唱せるに端を發

し、一八九四年に全獨協會と改稱せられ附近の獨逸民族を悉く獨逸帝國の下に併呑せんとし、海外移住の獨逸人をして國民性を失はしめぬ様に努めたものである。而して全く政黨としての行動は取らず、外交政策に當つても對外硬論者の急先鋒となると言ふ有様である。一時會員二萬二千、支部二百有餘に上つたものである。

#### ○萬國勞動同盟

世界萬國の労働者を一の社會的團體となさんとするものである。此運動は既に一八四七年乃至一四八八年に於て獨逸の社會主義者マルクス及エンゲルスの公にした宣言書により急速に助長され、一八六三年に至つて倫敦に萬國勞動同盟の組織を見るに至つたのである。該同盟の成立は一時歐羅巴の諸國を震撼せしめたけれども、その綱領方針が明に認められなかつたため、國々により自らその主張を異にした。マルクスは同盟の牛耳を取り一八六六年シエネバに最初の總會を開いたが、露西亞のバクウニンが彼と勢力を争ふに及んで、同盟はマルクスの社會民主主義とバクウニンの無政府主義との二派に分れ、創立以來十年ならずして瓦解するに至つた。因に萬國勞動同盟と今日の國際勞動

同盟とは別物であることを附記して置く。

#### ○汎神論 Pathem

英語で言ふパセーイズム、又我國で屢々言はれる萬有神論と同義別名のものである。哲學上、宗教學上廣汎に渡る思想であるが、手つ取り早く言へば宇宙人生の諸々の物體や現象の中には、一抹の塵、一介の虫けらにも高遠なる宇宙の統一的意思即ち神が潜在すると言ふ思想である。宇宙のもの總て神ならざるはなしと言ふのが此派の唯一の原理である。超絶神論の神は物象から孤立して存在すると言ふ説や、元子論の萬象は獨立的個體の集合であると言ふ説とは全然反對的の立場にあるものである。此汎神論は汎愛的思想に出發するものであり、冷酷なる唯物觀の思想からは輕視せられるが、質朴な上古時代や、精神主義的な東洋人は皆此恭謙博愛な思想に傾いた。古代希臘のプラトーン、アリストートル、古代印度の諸宗教等皆然りである。近代思想に於て特に此思想を華かに代表する者は印度のタゴールであらう。萬象を總て神の別個我と觀た彼の哲學は、深遠な愛に満ちたる汎神論である。其他近代哲學の汎神論を求むれば、ブルノー、スピノザ

カント哲學以後の思辯哲學は何等かの意味に於て、是に屬せしむる事が出来る。

○汎心論 Panpsychism

萬物を有生有心と見る哲學的見解である。通俗の思想家若しくは自然科学者の多くは心意の存在を動物界に限るものと考へてゐるが、汎心論はかゝる見解に反し、心意の存在を類推の論法によつて諸他一切の物質界に及ぼし、如何なる無機界にも低度の心意過程の存在を承認するものである。即ち生物と無生物、有機物と無機物との間に普通に劃せらるゝ境界線を取去り、而も兩界の限界を絶對的とせずして流動的と見る點に此説の特色が存するのである。

○半獸主義

一時我國文壇に驍名を馳せた故岩野泡鳴氏が大童になつて主張した思想であつて、當時自然主義の勃興と相俟つて、性慾鼓吹の如く惡解されて、問題となつたものである。然し主張者岩野氏の説に依れば、此主義はマアテルリンク、エマーソン、スエデンボルグ等の神秘主義や、近世表象主義から轉化したものであつて、決して不眞面なる思想で

はないと言ふ事である。即ち原始時代の人間が自然を觀察した如く、天真素朴なる人生の觀照を基調とし、現代人の煩瑣偏依な物の觀方を排さうとする主義である。此思想は文藝上に於ては、纏て文明や學問に煩さるゝ事なく、自己本來の眞率なる心を以つて、自然人生を觀察描寫する事となるのである。故に天真素朴なる意味に於て、人間の野性を尊重する事となり、要するにそれは野卑なる意味でなくして、獸性を尊重する事になるのである。此點に於て此思想を半獸主義と名くるに至つたのであらう。

○パンスラヴ主義 Pan Slavism

スラヴ民族統一の思想であつて、スロヴァク人コルラール (Jan Kollar) 始めて之を唱ふ第十九世紀の三十年代から四十年代にかけて全歐羅巴中の民族的勃興の影響を受けて生れた思想であつて、一面には外國の支配を脱せんとする要求より來たものである。この傾向は既に三十年代に文學の上に現はれて、スラヴ諸民族の歴史的文學的及土俗的研究漸く盛となるに至つた。等しく汎スラヴ主義と言ふも其主唱者等は各々意見を異にし甲は精神的一致を望み、乙はスラヴ語の統一を要求し、丙はスラヴ諸民族の聯邦組織を

主張し、丁は政治的統一のためには民族性を犠牲にすべきことを唱へて、同一派の相互間に一致を缺いた状態であつた。此思想は深く國民を支配する底力がなかつたために事實上實現せられずして今日に至つたものである。

○範疇 カテゴリー Category

根本的概念即ち概念の分類上最高級に位すべき最普遍的抽象的意義を有する概念。轉じて部門、部類等と同意義に用ひられる。例へば甲乙二人は全く範疇を異にする性格なりといふ場合の如きは此語を最も通俗的に使用したものである。範疇は一面には又特異の意味を有し哲學上の根本概念と解せらる。試にカントの立てたる範疇を列擧すれば、

- 一、分量範疇、單一、數多、總計、
  - 二、性質範疇、實有、非有、制限
  - 三、關係範疇、實體、因果、交互作用
  - 四、樣態範疇、可能(不可能)、存在(非存在)、必然(偶然)
- 即ち大體を四種に分ち、更に各を三種に分ち都合十二の範疇を立て、居る。

○反動政策

一國經濟界沈滞し失業者續出し、爲政者の方策宜しきを得ず、政治的犯罪曝露すると言ふ社會の不安状態は、一般に社會運動を左傾せしめ、人心の安定を脅すこととなるが故に爲政者は之が爲に反動對策として極端な抑壓的態度を取らざるを得なくなる。これを反動政策といふ。米國の「赤化防止運動」日本の「過激法案」の如きそれである。

○販賣組合 Alfaldgjenossens chaft

組合員の生産したる物に加工し又は加工せずしてこれを賣却する産業組合の一種。その主要なる目的は (一)經濟的技術の改善を計ること。(二)各個經營の經濟上獨立を維持し且つ鞏固ならしむること。にして農業者並に小工業者の如き販賣市場の状況に通曉すること比較的困難なる階級にありて殊に重要な制度である。販賣組合の組合員は必ず或る貨物の生産者なることを原則とし、その取扱ふ貨物は必ず組合員の生産したるものなることを要するのである、從て組合員以外の生産物を取扱ふを許さざるは勿論、生産者以外の者、例へば取次商人の如きは生産者にあらざるを以て販賣組合を組織するを得ざ

る規定になつて居る。

### ○反報手段

國家が外國より不法又は不當なる取扱ひを受けた場合に其撤回を求めても相手國が之に應じない時は、該不當又は不法の措置に對して嚴重に抗議し、其主張を貫徹するために必要な手段を講ずることがある。これ即ち反報手段であつて、二種の方法を以てするを普通とする。(一)報復 Retaliation、即ち相手國が自國に仕向けたと同様に相手國に仕返しする事で、例へば米國が排日の目的で移民禁止法案を實施すれば、日本でも之に應酬して米國製不買同盟を結ぶと云ふ調子で、國際間の交通は未だ斷絶には至らないのである。(二)報仇 Revenge で、之は國交斷絶し戰端を開くことを意味する。憤怒を抑制することの出来ない國辱又は利益の侵害を蒙る時は遂に武力に訴ねても主張を貫徹せなければならぬ、此場合當事國家は交戰状態となるのである。

### ○汎理論 Panlogism

唯心論中の一派であつて萬有の本體を理性なりと斷ずる説。遠く端をプラトン、アッ

ストートルの哲學に發して居る。近代に於ける汎理論の代表的哲學者はヘーゲルである彼の汎理論に従へば、宇宙萬有の本體は一大理性であつて、すべての現象は此理性の發展である。されば存在するもの皆その存在の理由を有し且つ悉く合理的である。如何なる事物も全く無價値のものはなく、無意義のものはない。之等を一事一物として視れば或は無意味に近きものもあるであらうが之を大觀すれば一として理性發展の過程を示さないものはない。汎理論の説く所は、「此の複雑極まりなき世界には定まれる目的あり、總ての變化は單純なる變化ではなくして即ち進化 Evolution である。歴史上には成敗興亡の跡あり。其成るものと興るものとのみではなく、敗るゝもの亡ぶるもの亦人類進化の勢運を輔けたものにして歴史は即ち人間に於ける理性發展の記録である。」と、かく發展的に見る時は、絶對的に不善なものも存在しないことになるから汎理論による人生觀は必然的に樂天的となるのである。因に古來の宗教に伴へる解脱思想は汎理論と似て而して非なるものである。何となれば解脱思想は二元論的世界觀、悲觀的人生觀より來たものであつて、一元的樂天的なる汎理論とは相容れざるものであるからである。

## ○汎靈論 Panpneumatism

エツアード・フォン・ハルトマン Edhard von Hartmann (1842—1906) がシヨーペンハウエルの汎靈論とヘーゲルの汎靈論とを折衷調和せんとした自家の立脚地に與へたる名稱である。彼の説に依れば宇宙の原理及絶對は意志にして同時に觀念なるが、而もそれは兩者を超越し綜合する所の精靈に歸着するといふのである。

## ○バーンズ (人名)

十八世紀末葉の英國詩壇を代表する抒情詩人である當時恰も澎湃として勃興せるかの所謂ロマンチズム運動の先驅者である。スコットランドのエア州の片田舎に生れた彼は、幼時より耕作に従事したる無教育な一労働者に過ぎなかつたが、詩人的天稟を持つた彼は毎日の労働の暇を偷み、十六歳にして英文學書の大部分を讀破し、後來大詩人たるべき素地を築いたのである。彼の詩は情緒の潑瀾と表現の直裁と感情の誠實とを以て聞かてゐる。而もその間に一脈の諧謔味を交へたるどころ、又其詩間に常に野語、俚言を取入れたのは共に彼の詩の特色である。彼は後年その抱ける思想が著しく革命的色

彩を帯びて來るに及んで、保守的なスコットランドの社會から疎せられ、晩年を失意落魄の中に過して淋びしく逝つたのである。

## ○ハイネ (人名)

一七九六年獨逸のデューセルドルフに於て生る。抒情詩人としてロマンチック派中第一位を占めてゐる彼の詩は最も繊細な技巧を用ゐつゝ、而も一見民謡の純樸を失はず、感傷的にして楚々人を動かし、詩句流麗にして吟誦掬すべく、觀察深刻にして往々峻烈なる諷刺、冷嘲の氣を帯びて居る。彼の作中最も有名なのは『最後の詩と思想』(Letzte Gedichte und Gedanken)であつて傑作の一として數ねられてゐる。

## ○バイロン (人名)

ジョージ・ゴルドン・バイロン若くはロード・バイロンは勇猛な海豪の血統を傳へて一七八八年一月二十二日英國の首都ロンドンに出生した。祖先の放膽なる氣質を受つた彼は不羈奔放な生活のうちに成長し、一八〇〇年處女詩集『有閑時』を發表し、意氣昂然たるものあつたが、何んぞ計らん之に對する世評は頗る險惡を極めたのである。茲に

於て彼は憤然として『英國詩人と評論家』と言ふ一詩をものして批評家の無能を罵り、故國に背いて歐洲大陸を歴遊した。其收穫として一八二二年二月『チャイルド・ハロルドの放浪』を發表するや、彼が其時發した有名な獨語「一朝眼覺めれば我は流行兒たりき」の如く一朝にして彼は詩壇の寵兒となるに至つたのである。其後彼の名聲は次第に大をなしたが、その情的生活に於て餘りに過激を極めた爲めに、國民の道徳的な批難を浴び再び伊太利に去らなければならぬ運命に陥つた。其外遊中彼は擔がれてギリシヤ革命軍の司令官に昇つたが、聽て華かな執政者の榮位に昇る事を夢みながら、一八二四年陣中に其多情多感な一生の幕を閉ぢたのである。數多ある詩編及劇詩中に於て、特に後代に愛誦されるものは『背信者』『海賊』『ラ、』『シヨンの囚人』等である。單に彼は英國浪漫主義の最頂點であつたのみならず、英文學史上シエクスピアに亞いでの大詩人であり、歐洲大陸に大感化を與へた人物であつた。彼の詩は熱火の如き情熱と、波濤の如き豪壯の氣に溢れ、實に類ひ稀な名詩であつた。

○ハウプトマン (人名)

現代獨逸第一流の創作家。特に戯曲家として世界的に知名な士である。シレシアのザルツブルンにて生る。始め思想上トルストイ、イブセン等の影響を受けて革命的傾向を帶び、技巧上はホルツ、シュラーフ等の主張した徹底自然主義を奉じ、出世作「日の出前」及び「寂しき人々」「織匠」等の傑作を出して文名を一時に揚げたものである。其後思想變遷して象徴主義を奉じ「ハンネレの昇天」「沈鐘」等を出して成功した。歐洲大戰の突發するや悲憤慷慨の詩歌を作つて大いに士氣を鼓舞するところがあつた。

○バクウニン (人名)

バクウニンは生れながらの反逆兒であつた。近世改造思想の最左傾無政府主義は彼に依つて火蓋を切られ、彼に依つて波瀾を捲き起すに至つたのである。此無政府主義の始祖は一八四四年露西亞の名門に生れ、初は軍人として社會に出たが、後哲學に没頭してヘーゲルに私淑したが、伯林遊學中俄然其思想に一變を來し、急激なる無政府主義となつた。爾來陰謀劃策に席の暖まる暇もなく、其間絶えず居住國の猛烈な迫害を受け、入牢の如きは其幾回であるかを數へる事が出来ない程である。一八七五年其希望のいつ實



現せられるやも計り得ずして、傷いた魂を抱いて空しく逝いたのである。

○バルザック (人名)

第十九世紀に於けるフランス寫實派の小説家にして、ツールに生る。早くより劇しき生活の渦中に投せられ或は公證人の見習となり、或時は印刷所の徒弟となり、具に生活の苦患を嘗めたが、一八二二年より同二五年に至る数年の間種々の假名を以て若干の小説を公にし、一八二九年始めて其大著述たる *La Comedie Humaine* (人界喜劇) の最初の物語を出した。ダンテの *La comedie Divine* (神の喜劇) と併稱せらるゝ名篇である。彼の文章は極めて優麗で而も犯し難い雄渾の氣を存し、言語と句讀との精確を以て十分其時代の不純な文體を避けることが出来た。六十一歳にて歿す。

○ハーモニー Harmony 部分の適當配列による全部の調和、殊に四福音書の調和。

○ハート Heart 心臓、心情、トランプの心臓形の紋と言ふ。

○バガボンド Vagabond 浮浪漢、放浪者、無頼漢。

○バー Bar 酒場。咖啡店よりも品位の低いもので、他に享樂的設備なく、唯飲酒本位の飲食場である。謂はゞ西洋の銘酒屋の如きもの。

○バーゲン・デー (セール) Bargain day (sale) 大賣出し。

○パーソナリティ Personality 人格、個性。

○バード・アイ・ビュー Bird's-eye view 鳥瞰、鳥瞰圖。

○バーバリズム Barbarism 野蠻主義を譯す。趣致を雅味と缺いた粗豪粗野な態度、言語、文體。

○パイ Pie 食品の名。饅頭様のもので二個の皮に肉類果實などにて作れる食物を包みて蒸焼にしたるもの。

○拜火教 古代ヘルムナの宗教。祓教とも云ふ。ザラツシユトラ Zarathushtra の開きたるものなり。

○排水量 Displacement 船の總重量。水中に浮ぶ物體の重量を其浸水部の排除した水の重量にて表はす時これを其物體の排水量と稱す。船舶にありては排水量の單位として噸 Tonn を用ふ。

○陪席判事 合議裁判所の一員にして裁判長にあらざる者。訴訟の指揮權は裁判長にありて、事實の釋明、證人、本人の訊問は何れも裁判長之となすべきものなれど、陪席判事も裁判長に告げて當事者、證人、鑑定人、又は本人に問ひを發することを得るのである。

○配當落、配當付 一會社の決算期前後にその株式を賣買するに際し、その株主配當金が買主の所得となる時は之を配當付と稱し、賣主の所得となる時は之を配當落と云ふ。

○背任罪 他人の爲に其事務を處理する者が自己若くは第三者の利益を圖り、又は本人に損害を加ふる目的を以て其任務に背きたる行爲となし本人に財産の損害を加ふるに因て成立する罪を背任罪と云ふ。例へば預金者に代つて

財産の管理となす組合の理事者が私の目的の爲に預金の一部を消費し、或は第三者に不當の貸付をなして回収不能となり預金者に損害を與ふるが如きを云ふ。

○白兵戦 往時接戦格闘の武器を操縦するものに双兵、鋒兵、双鋒兵、の三種があつた。何れもその武器の又部白輝を帯びたる故白兵と稱した。白兵戦とは即ち火花を散らす如き接戦と云ふ。

○バザー Bazaar ヘルシヤ語のバザール Bazar より出て、元來東洋各國殊にモハマッド教國に行はるゝ賣店又は市場なるも、今は賣店市場に對する世界的通稱となつた。女學校などで生徒の作品展覽會を開き値段をつけて賣り出すのもバザーと言つて居る。

○走物 各季節始めに先驅して市場に出でしもの、竹の子の走り物など云へば三月頃の土中より掘出せしものである。走物は總べて高價である。

○バステル Pastel 西洋畫の一種。色白墨の如き繪具にて粗雑な紙面(普通羅紗紙を用ゆ)に描く畫なり。

○パス Pass 及第、合格、試験に通過したことを「パスした」といふ。又、旅行免狀、無賃乗車券、無料入場券などの意味にも用ゐる。

○派生律 Derivative Law 派生的法則とも云ふ。究竟的法則に對す。或る根本的原理を示す普遍的法則の特殊の場合に於ける應用の如きものとして、之より導き出さるゝもの、幾何學の系の如き其一例である。

○馬政局 行政官廳の一。陸軍大臣の管理に屬し、馬匹の改良、繁殖其他馬政に關する一切の事務を掌る所である。

○パセテイツク Pathetic 感動的なと言ふ事センチメンタルと言ふよりは強度の感情を起す事である。

○發行餘力 我國にて兌換紙幣發行額が正貨準備金額と壹億貳千萬圓との合計額より少なる場合に其差額たる發行餘力ありと云ふ。發行餘力あることは兌換券の流通少なく、日本銀行が必要に應じて安全に兌換券の發行となし得る餘裕あることを示せるものである。

○把住 Retention 嘗て心に留めたことを忘却せずに留めておくこと。即ち記憶の作用は把住せられた過去の經驗の結果が再現せられ、これを過去に於ける經驗として再認するところから生ずるのである。把住の作用に就ては諸説あるも、現今では過去の經驗に與つたところの神經系統の活動と同一の活動が比較的容易に生ず易い傾向を有するからだと一般に解せられてゐる。

○バチエロー Bachelor 獨身者。

○バック Back 背景。

○パッシヴ Passive 受動的。

○パッションネート Passionate 情熱的。

○パトロン Patron 後援者、愛護者、弗旦。重に實業家などが藝術家と物質的に保護する場合と言ふ。  
 ○パノラマ Panorama 光線の作用に依つて舞臺に自然の風物の模寫物を裝置し、眩惑するやうな美觀を現はせる觀覽物と言ふ。英人畫家リチャード・パークの發明にかゝるものであつて、其流行以來一般に自然の夢のやうな美しさを形容する場合とパノラマのやうな言ふ形容が大いに用ひらるゝに至つた。  
 ○バプテズマ Baptism 基督教會に入り其一員となる入門の儀式。我國にて洗禮と稱するもの。洗禮の文字は現今廣く他の場合にも用ひられる、あの女はもう洗禮を受けただらうか。こはあの女はもう處女ぢやないだらうか。云ふ意味の場合の如き之である。

○バベルの塔 舊約聖書創世記中にある有名なる傳説であつて、太古バベルの人達は神の國の不思議を知るために天界に届く塔の建設に掛つた。人間の身で分を辨へない其所行を怒つた神は、工事を企つる人々の言葉と混亂させるので、計劃は遂に畫餅に歸した。それより及びもつかぬ遠大な空想を夢みる事とバベルの塔と言ふやうになつた。  
 ○ハムレット Hamlet 元來は往古デンマルクの皇子の名。文豪シェクスピアは此皇子の傳記を創作して戯曲「ハムレット」を作つた。世界最大の文豪であるシェクスピアの最大の傑作である。故に世界の古典中でも最も聲名大なる作品である。此ハムレットは文學的に優れて居るのみならず、思想的にも深刻な寓意を有し、古今を通じて人間の悲觀的歴世的方面を象徴したものであつて、意義深き人類の靈的記録である。それ程素張らしい定評のある作品だけに西洋では三歳の童兒も尙よく是を知つて居る言ふやうな有様であつて、ハムレットは西洋演劇の獨參湯と以

つて遇され、専門にハムレット役者と言ふものさへあるぐらゐである。又厭々思想上、生活上の比喩に使はれ、ハムレット型と言へば、作品の主人公の如き意思薄弱な神經質な性格や、消極的悲觀思想の事と形容する事になつて居り、世界のあらゆる思想及思想家と大別してハムレット型とドンキホーテ型とに屬せしめる事は、批評家の常套手段となつて居る。

○バラック Barrack 本來は兵營、兵舎。屯所の事とも言ふのであるが、普通には粗造の假小屋の事と言ふ事になつて居る。大震災後の東京の避難箇所の家屋は悉くバラック建築を以て充當されて居るため、此當時の東京の事を一般に「バラック東京」と言ふ稱呼で形容して居る。

○バラッド Ballad 小唄、民謠。

○パラドツクス Paradox 逆説、逆理。

○バランス Balance 秤、天秤、平衡。殘高、剩餘金。

○パラブル Parable 道徳的或は精神的生活に於ける意義ある問題を問接の方法にて辯證する譬喩譚と云ふ。

○ハラミツ (波羅密) 梵語 Parmita。生死の此岸より涅槃の彼岸に渡り到る義。

○馬力 Horse power, H.P. 動力の單位であつて一時間に 萬三千呎封度の仕事とする動力。

○ハリジャン Parisian 巴里人。巴里の兒。マリジャンとも發音する。

○バルコニー Balcony 露臺。佛蘭語のバルコンと言ふのも行はれて居る。

- ハルシネーション Hallucination 幻覺、錯覺。イルユージョンと言ふのは感情的な幻想であり、ハルシネーションと言へば、官能的、生理的な幻想、幻覺と云ふのである。
- バルナツシヤン Parnassian 高踏派の美術文藝を奉ずる人と言ふ。
- ハレー彗星 Halley's comet 周期的に現るる大彗星。英國の天文學者エドモンド・ハレーの發見に依つて初めて知らるゝに至つた結果、發見者の名譽のために其名を其儘附するに至つたのである。我國で一番最近に現はれたのは明治四十三年であつた。
- パレット Palette 油繪の繪の具を調和し、混合するために用ゆる板、木製と金屬製とあり。
- バロメーター Barometer 晴雨計、氣壓計。それより一般社會人生の尺度となるものと形容する場合に用ひられる。例へば「某は財界のバロメーター」であるの如きである。
- 半意識 意識中注意の圏内に入らなかつた不明瞭な部分。經驗の當初に於て殆んど全く氣付かなかつたものがその後になつて判然と意識に顯はれて來ることがある。路上にて始と氣も止めずに摺違つた人と數十日後再度會して「さう見たことのある人さ氣付く」ことがある。この最初の認識は半意識であつたのである。
- 半旗 海軍葬喪禮の一。軍艦にて軍艦旗、艦首旗を掲ぐべき場合に各々之と竿頭より稍距離を置いて旗を掲げると云ふ。
- 反響 Echo 俗に山彦と稱せらるゝものと同一、大建築物或は山間等にて一旦發せられた音響が反撥され同種の

音響を傳ふことを云ふ。従て一般にある行爲に對して手答あり而もその手答へが何々の現象となつて現はるゝことに轉用せられて居る。「あの論說には反響があつた」の如し。

○バンク Picture 自動車、自轉車などの護謨輪に穴の明く事。バンクチュアの略であるが、是は他に正確の意味をも有つて居る。

○バンク Bank 銀行。バンカーは銀行員。バンク・ノートは紙幣。

○伴奏 Accompaniment 主音部の演奏に從屬して之を助ける音部にして主音部と共に快調の複雑音を生みだすものである。

○ハンディキャップ Handicap 手加減。故意と相手に不利益を課する事。

○パンテオン Pantheon 羅馬の神々を祭つた神廟。紀元二十七年アグリッパが建設したもの。「パンテオン叢書」だとか「カフエ・パンテオン」だとか美術的な享樂的な事に冠してよく使はれる。元來はギリシヤ語にして、至聖殿の義を有したものである。

○パントマイム Pantomime 默示劇を譯す西洋に於ける演劇の一種であつて手眞似又は身振りのみを以て筋と知らしむ演劇で、滑稽と主とす。

○バンド Band 隊、組、樂隊。

○バンドラ 希臘にある有名な傳説である。彼のウエトキンドの戯曲「バンドラの筐」をばよめ幾多の小説脚本の

取材に使はれて居る。神は諸々の幸福を封じて下界に降したが、不注意のために其諸善は總て散逸したと言ふ其儘が  
パンドラの筐で、パンドラは萬能或は幸福を意味し、幸福の秘んで居る事と比喻する場合とパンドラの筐と言ふ。

○パンフレット Pamphlet 小冊子、宣傳冊子。

○ハンマー Hammer 鐵槌。

○パン Pan ギリシヤ神話に現はるゝ神の名。パンの神は人面羊體にて音律の妙手、巧に蘆笛を吹き聽衆を恍惚た  
らしむま云ふ。而も容貌形状共に甚だ怪奇にて一見人として恐怖戦慄を催さしむ。傳説によればかのガリヤ人の羅  
馬に攻入るや途上にてパンの神の風態を見、大に驚き、敵の追はざるに全軍潰走したま云ふ。これより愕かすま  
よきことに愕くこととパンの襲來即ち恐慌と云ふ意味に轉ぜらるゝに至つた。

【リ】之部】

○美意識

Aesthetie Psychosis

美を意識する態度。廣く云へば美そのものと同一となる。又美的態度とも云ひ得る。  
狭義には美的對象と美的印象とを區別して、對象に對して吾人の心理的過程を指すもの  
として用ひらる。美意識に就てその客觀的方面を考察すると云ふ場合は廣義に用ひられ  
た場合であつて、美意識の研究は、心理學に屬すと云ふ場合は狭義に用ひられた場合で  
ある。

○比較法制史

Vergleichende rechts geschichte

諸國の法制を歴史的に比較研究する學問。各國の法律を沿革的に研究する學問を法制  
史と云ひ、又諸國の現行法制又は一時代に於ける諸國の法制を比較研究する學問を比較  
法學と云ふ。比較法制史は此兩者を併せて諸國に於ける法制の異動及變遷を叙述する外  
其諸國法制間に於ける系統、諸國法制中に存する共通の法則、其差異の原因或は其變遷  
發達の法則等を比較研究するのである。

## ○ピカデリー Picadilly

紐育のウォール街、伯林のウンテル・デル・リンデン、我國東京の銀座の如く、各國首都はそれ／＼目貫の繁華地があるものであるが、世界の繁華の都英京倫敦の最大繁華地、即ち世界の賑はひ場は何處であるかと言へば、即ちピカデリーである。西は約一哩に渡つてハイド公園に連なり、倫敦の最大の建築物を以つて埋まり、夫等大建築物は英國の代表的官衙、劇場、ホテル等である。一見地上の樂園の如き美観は、其裏に人間快樂の惱みを包んで、虚榮と歡樂が渦巻いて居るのである。

## ○光の學說

光の本質の明かにされたのはニュートン以來の近世の事に屬するが、是れには三様の異説がある。一はニュートンに依つて創唱された光の粒子説であつて、發光體は非常な速度を以つて、無数の微粒子を放射する、是が我々の網膜に感ずる時、我々は光の感覺を起すのであると言ふのが其要旨であつて、要するに此説は光の本體を以つて一の有形體と見做したのである。二はニュートンと同時代の物理學者ハイゲンスが主唱した光の

波動説であつて、是はニュートンの説に對する反對論として唱へられた。是は光を以つて海水の波の運動と等しい波動現象であるとなし、其波動が發光體からあらゆる方面に傳播し、宇宙に遍滿するエーテルの媒介に依つて、吾人に光の感覺を起さしむるのであると言ふのである。要するに此説は光を以つて無形の物理現象となすものである。三は英吉利の物理學者マクスウエルの樹てた新説であつて、光は一の電磁現象にして、其電氣がエーテルの媒介に依つて吾人に光を感覺せしむると言ふのである。即ち此説は波動説の單なる波動と云ふ解釋を、電氣を伴ふ現象であるとなし、物理的の根據を確實ならしめたと見るべきであらう。

## ○比較法學派 Comparative school

實驗法學說にのりして、此派は同じく實驗法學說中歴史法學派が時を研究の基調とするに反し、所を研究の基調とするものにして、各國各地方に存在する法律現象を探り、之を比較對照し法律の原理を極めんとするものである。この主唱者は佛人センテスキューにして彼の名著「法の精神」は此學說の始祖たる榮譽を彼に與へたものである。此の

比較研究には佛國に發達したる國別比較法と、主として獨逸に發達したる人種別比較法の二種がある。ゼルマン人種とローマ人種との法律比較研究はその主たるものである。古代希臘に於けるアリストートル及び近世獨逸に於けるライブニッツは共にこの研究の嚆矢であり、先輩である。

#### ○美學上の感覺説

美感を感覺上の快感(官快)と同一視する説で、例へば繪畫に於て色彩と陰影とが眼に快きを以つて最上とし、音樂に於て單に妙音諧調の耳に快きを以つて最上とするが如きものである。十八世紀英國經驗學派の美論はこの傾向を著しく帯びたものである。パークレーはその代表者である。而して哲學、倫理、宗教に於て感覺説は近世其等の諸學に著しく擡頭して來た一潮流にして、美學上に於ても又この潮流の渦を巻き起してゐるのである。理性、理智の作用に俟たずして、感情、感性の動くところ、其處に眞實の藝術の極致があるとなす説である。オスカアワイルドが「審美は道德よりも高い、美の鑑識こそ吾人の到達し得る最上點で、色彩の感覺すらも正邪の念よりも遙かに多く個性發

展の上に重大な意義がある」と言つたのはこの間の消息を赤裸々に物語つたもの。即ち感覺こそは美の最上であつて、假令それが風俗、習慣に相反し、倫理上相容れないものであつても、たしかにより深刻なる靈的世界への門扉であり、藝術至上であるとなすのである。この主張を極端に描寫したるはワイルドの「サロメ」及「トリアン・グレイの繪姿」である。

#### ○美學 Aesthetics

極めて一般的に云へば、自然人生及藝術に現はれる美に就て研究する學である。即ち自然美、人事美、藝術美、とは如何なるものであるか、如何なる内的及外的條件に基いて美と呼ぶる、現象が生ずるかを考察し、心理學的、社會學的並に哲學的に研究の歩を進めて、之が解決を大成することが美學の職分である。又美とは純眞、正善と共に吾人の精神界に於ける三大活動の一つであるが故に美學が精神科學の中に於て重要な地位を占めて居ることも明である。最近藝術の人生に對する意義が漸やく認められるに至り美學も亦學問として自ら人の注意を惹くことゝなつた。

## ○引取猶豫金 Contango

取引場裡にて現物の受渡期間の到來したに拘らず買手が其受入れを好まない時、例へば初めの思惑通り相場の騰貴せない場合に、其受渡を延ばさんため賣手に出す日歩の稱である。引取猶豫金は賣手買手の腰の強弱によつて無日歩又は逆日歩となるもので、買手弱はければ日歩は從て高かるべきものである。

## ○百科全書派 Encyclopedists

「百科全書家」又は「百科全書の編輯者」と言ふ意の佛語の音譯である。即ち第十八世紀の佛國の啓蒙時代に、一般の學問藝術に關する新思想の普及を謀らんが爲に「百科全書」を編輯し若くは之に執筆した一群の學者の名稱である。此百科全書の編輯主任はデイドロワ、及ダランベールで、その主なる執筆者はチュルゴー、グリム、ホルバツハ等であつて、ポルテール、ルツソー、ケネー等も亦一部の執筆をした。之等の執筆者は當時の學風として一樣に國家社會の成立を機械的に説明して個人の權利の尊重すべきことを力説し、從て貴族僧侶の專横を痛撃し自由思想を鼓吹せる傾向を示したるを以て、

いたく世人の注意を喚起し、百科全書派の稱呼を生ずるに至つた。

## ○悲觀說 Pessimism

厭世主義に等し、(その項に詳述)

## ○非教育的教授

ヘルバルト(Herbart) 派教育學上の用語であつて、同派では苟も教育者の施す教授なるものは必ず教育的なるべく、教授は教育の方便であると云ふに對して偶、然らざるものあれば即ち稱して非教育的教授とするのである。言を換えて云へば同派では教育の目的は道念養成、品性陶冶にあり、故に教授も亦常に之を志さなくてはならぬ。然るに只知識技能を授くるに汲々たる如きは非教育的である。此派の所説は今一般に採用せられない模様である。即ちそれよりも寧ろ心理學的に説明してすべて教授にして被教授者の心理状態を斟酌することなく強て牽引するものは斷じて非教育的であると説明付けんとして居る。之は教育者の須らく注意を要する所で、教授の眞方法、正當な順序は常に兒童心理、青年心理に適應する處にあるのである。



## ○ピサンチン式建築

建築上の様式。内部は穹窿を以つてなり、モザイクや色彩された大理石を以つて色彩を附し、薄肉彫刻を壁間に施した非常に技巧的な奇趣に富んだ建築である。

## ○非常線 Coribri

重大な犯罪が発生し或は其発生を豫知した場合及災厄の起つた場合に、犯罪人逮捕のため、或は單に警備のために警察権を以て一定の區域を警戒することを非常線を張ると云ふ。

## ○非社會性 Anti-social character

人類の共同生存關係に對し危害を及ぼす様な性格を非社會性と云ふ。反社會性又は悪性とも云ふ。刑事政策學に於ける新派の學者は、犯人の非社會性を以て刑事政策に於ける諸種の問題の解決上頗る重要な觀念であると稱してゐる。

## ○非常召集

事變に際し部隊を武装せしめ集合整列せしめること。普通喇叭の吹奏によつて行ふ。

此號令譜を非常號音と云ふ。

## ○非常上告

確定判決に對する特別の上告。即ち上訴を経ずして確定した判決に對して特別理由を以てする上告であつて刑の特別救済方法である。茲に云ふ特別理由とは(イ)法律に於て罰せざる所爲に對し刑を言渡したること。(ロ)相等の刑より過重の判決を下したること。の二つを云ふ。非常上告の管轄裁判所は大審院である。

## ○非常準備金

一朝事變ある場合に必要に備へんため平時に於て積立て置く貨幣地金又は有價證券の類を云ふ。非常準備金は戰爭に對するのみでなく地震火水害の如き兇變に對する場合にも併せて稱せらるゝが、戰爭は一國事變の中最大なものなる故非常準備金とは戰爭に備ふるものであると解釋されることが出来る。

## ○非宗教運動

近代資本主義制度の毒酒は政治、産業を痲痺墮落させたばかりでなく、教育、宗教の

如き人の精神生活に於てのみ存在し得るものすら墮落させたのである。宗教は本來、人間性發展を教へなくてはならぬにも拘らず、假令不合理のものと雖も現世に満足すべきことを強要することを以て人間の眞理追求の熱を冷却せうとし、人間を妥協的に無抵抗的に超世間的に赴かしめる様になつた。是等は宗教の本質ではなくして宗教の墮落であるのである。この誤れる宗教の跋扈は新社會の發展の爲には一大障壁をなすもので無益有害である事は勿論である。これを排斥することにより眞の社會改造が遂げられる。と主張し、最初支那北京大學の青年教授及學生の間に於てこの叫びがあげられ、今や世界各地に非常なる共鳴者を得つゝあるこの事である。

#### ○批准 Ratification

條約は國家間の合意であつて之が締結の任に當る全權委員は、假令全權を委任せられては居てもその全權は條約締結の全權ではなくして條約案を協定するところの全權である。故に國家間の合意を成立せしめるためには國家の主權者により其條約案に對する國家の意志を確定することが必要である。此の國家の意志確定の形式が即ち批准で、普通

一定の書式(批准書)の交換に依る。條約は批准書の交換によつて始めて合法的に成立することを得るのである。

#### ○非戦闘員 Non-combatants

戰爭に直接關係なきものと言ふ意。廣義には交戦國人民であり乍ら直接軍隊組織中に編入せられないものを言ふ。狹義には交戦國の軍隊組織中に編入せられながら其性質上直接戦闘行爲に従事せないもの、例へば従軍の行政事務官、軍醫主計官、僧侶の如きものを指して言ふのである。

#### ○必然、必然性 Necessary necessity

他に制約されず、又他を待たざるの意。此の意味に於て第一原因又は神を必然的存在 *necessary being* と云ふ。次に、一定の理法に依て必ずしかあらざるべからざることを必然、又は必然性と云ふ。例へば一定の命題が承認された前提から出發して、論理的法則に従て正當に推論された時には之を論理的必然と云ひ、又一定の出來事が自然法に従て生起せなければならぬ場合は之を自然的必然と云ふ。

## ○美的觀想

藝術の觀賞の如きは毫も意欲の要素を含まずとする點から觀想的なりとの言葉を用ゐる。即ち自己の精神生活に没入の状態を指すのである。カントは美の快感を體慾上の快感から區別して、後者は其對象とするところを欲求するに基き、前者は毫も斯る欲求を混せずとなし、依て、美感は純粹觀想の快感なりと説き、藝術觀賞の心意状態を美的觀想と稱へたのである。

## ○美的生活

情緒の湧くまゝに又は本能の燃ゆるまゝにそれらの要求を満足させることを目的とする生活。耽美生活とも言ふ。文藝上の浪漫主義と倫理上の個人的享樂主義とを搦き合せた様な生活を以て人世無上の生活と考ふる思想から生れたもので、故人高山樗牛博士の初めて唱へた説である。

## ○非天變地異説

ギユヴイエーの天變地異説(其項参照)に對し、英の地質學者ライエルが樹てた反駁説。

彼が其説を發表したのは其著『地質學の原理』に於てであつた。先づライエルはカント・ラプラス説を前提とし、地球は高熱度の瓦斯體が漸次冷却して土塊となるに至つたものである。さうして冷却に伴ひ地殻を生じ、地層を生じて行くうちに、地球は漸次收縮し收縮の結果地球には幾多の皺や褶が生ずるに至つたのである。其皺や褶が山となり海となつて居るのである。更に日常我々が目撃する自然界の激動即ち風雨地震海嘯等は、前述の冷却に伴ふ變化と共に、地球を次第に變化せしめ、其徐々たる變化も長年月の間には驚くべき相違を呈し、海が山となり、山が海となつて居るやうな顛動的現象も尠くないのである。だから山頂に魚介の骨を見出づるやうな事實に遭遇するのであつて、それ等を覆滅的大變動と見るのは誤りであつて、長年月の變化が推積し、生じたものと見做すべきである。——これがライエルの非天變地異説の要旨である。

## ○避妊問題

近頃喧しく論議せらるゝ問題で、避妊が個人的又は社會的に見てどの點まで有益であるか又善惡を伴ふか、或は道德的、政策的に見て如何なる利弊があるか等の問題である

社會の生活需要量が過大であつて、生活需要品の供給力がそれに伴はないと云ふ結果が人口の非常な膨脹力のためだとすれば産兒制限の理論は是認せられようが、避妊の方法は往々にして不妊の危険を伴ふものである。こうなれば個人的にも社會的にも寧ろ有害である。又避妊手段の頻行は社會道德の頹廢を招致する虞があるから道德上勿論歡迎されるべきではない。政策的にも、人類の増加が國家富強の根源である以上、其處に特殊の事情のない限り無暗に避妊を流行させることは佛國衰運の轍を踏むこととなる。要するに避妊は一利一害で、我が國の如く面積に比して人口稠密であり年々非常の人口膨脹を來し、且最近には米國の移民排斥法案の通過あり、抱和的な集約的農産物收穫方法を講じながら尙且多額の外米穀輸入を要する國では、避妊は多方面から深重に周到に考究せなければならぬ刻下の重大な社會問題である。(人口論、新マルサス主義、産兒制限論の項参照)

#### ○否認權

或法律事實を否認する權利。例へば民法に於ける外國法人成立の否認(第四九條第二號)妻の代理權に對する夫の否認。(第八四〇條)子の嫡出の否認(第八二二條乃至八二五條)等の如きが

それである。又破産法に於ては破産管財人が破産者のなした特定の行爲の効力を否認することを認め、(舊商法九九〇條九九一條)破産法草案では之を否認權と名付けてゐる。而して之等の各種否認權の其性質、効力等必しも一定でないから概括的に述べることは不可能である。

#### ○日付後定期拂 Payable on a fixed day after date

手形の支拂期日即ち満期日を定むる一法。振出日付後何日目又は何ヶ月目に支拂ふべしと定めたものを云ふ。本邦内地に於ては日付後定期拂の手形は稀である。歐米にては恩惠日(Days of grace)と云つて満期後更に三日間の猶豫を與へて居る處もあるが我が國の法律では之を認めて居ない。

#### ○批判哲學 Kritik der Philosophie(獨語) Critical philosophy(英語)

是はベルグソンの哲學を『直觀の哲學』と言ふが如く、カントの哲學を特色的に與へた別名である。だが古今哲學中の最大なるものであり、最難解なものであると言はれる彼カントの哲學を、本書の如き制約されたる短章の中に説明し去らん事は殆んど至難で

あるが、兎に角最も簡単な要旨だけを拾ひあげて見やう。(純粹理性)カントは吾人の知性を純粹理性と言ふ言葉で現はし、其純粹理性には直観、悟性、理性の三階段があると断定し、直観とは先驗的感覚の根底となるもの、謂であり、悟性とは先驗的分析の根底となるもの、謂であり、理性とは先驗的辨證の根底となるもの、謂である。

(先驗的感覚と先驗的分析)直観は吾人に備はる先天的(ア priori)のものであつて、其先天的直観の作用が先驗的感覚であつて、それに依つて吾人は數學を成立せしむる可能を有つものである。悟性は吾人に先天的に備はる判斷力であつて、此判斷の作用が先驗的分析である。此先驗的分析に依つて、吾人は自然科学を成立せしめ得る可能を有する事になるのである。故に吾人は此二つの性能に依つて、現象界を認識し得、その組織が數學及自然科学となるのである。此處を以つて現象の認識は悉く吾人の先驗的性能より來る主觀の結果であつて、現象の客觀性は主觀内に限られた共通性である。(先驗的辨證)最後の理性とは先驗的感覚及先驗的分析の結果を統一して一の原理を得んとする作用即ち先驗的辨證をなさんとするものであるが、其辨證の對照たる超越的實體は不可知のものである。

る。不可知ではあるが、それ自體に於ては嚴として存在するものであつて、唯其實體を窮むる事が出來ないのである。然るに形而上學が其不可知なるものを認識の對照とせる事は、不可能事を敢てせるものである。其實體の存在を現はしたのは、吾人の觀念であつて、それは吾人の理性の欲する目的の假像に過ぎない。(批判的特色)以上は彼の哲學體系を祖述した『純粹理性批判』の至極簡單なる説明であるが、ほかにカントは『實踐倫理批判』に於ては道德方面に關する深奥なる論理を「判斷力批判」に於ては情的方面に關する深甚なる論理を公にして居るが、勿論彼の哲學の根本となつて居るのは此「純粹理性批判」である。是等諸問題に對する態度は、從來の基礎的觀念に對して、絶対に自由なる白紙の態度に歸り、鋭い批判の態度を以つて臨んだ事である。さうして其批判に依つて其基礎を根本から検討し、遂に大動搖を興ふるに至つたのである。是彼の哲學が批判の名を以つて呼ばれ、同時に偉大なる價值を認められた所以である。(其革命的意義)カント哲學が斯界に如何なる革命的意義を有するかと言ふに、それは數學及自然科学の可能を許しながら、突如として形而上學の可能を拒んだ點にある。是從來の哲學者

が悉く陥つて居た迷妄を根本から打破したものである。之を要するにカントの説は緻密なる論理になる純理論乃至は唯心論である。

### ○非募債主義

國家財政々策に關する主義であつて、財政は主として國稅收入により遺繰して、止むを得ざるの外、公債を募集しないと云ふ主義。大正五年中、大隈内閣がこの主義を標榜して立つたが、その宣言後間もなく主義を曲げて内債參千萬圓を募集して、英國鐵道公債を返還したことがあつたが、當時可成り非難攻撃を受けたものである。

### ○秘密結社

秘密結社は國家の直接間接の認許を経ない一種の組合であつて、多く宗教的信仰の性質を有するものにその端を發して居る。蓋仲間以外の者に對して秘密を嚴守すること、仲間以内の規約及實行を極めて嚴格に行ふこと、この二條件は秘密結社の生命であつて宗教的信仰に依つて立ち、又宗教的信仰の形に變じ易い性質を有つて居る。古代ユダヤ民族の間に行はれた多くの宗教的結社は多く秘密結社の類であつた。近代の秘密結社は

その種類複雑であるが、宗教的のものを別として、概略次の四種に分つことが出来る。

(一) 政治的**秘密結社**。政治的**革命運動**を目的とするもので、その國際的なものは無政府主義の結社である。帝政時代の露西亞に於ける無政府主義結社、アイルランドのシンフエーン黨結社、アメリカ合衆國のクー・クラックス・クラン秘密結社の如きはこの政治的**秘密結社**に屬するものである。(二) 經濟的**秘密結社**。職工等の下層生活階級に於けるもの、間に最も多く主として相互共濟の目的のために生れたものである。最も有名なものは自由石工組合 (Free Masons) である。端緒は十八世紀の中葉で歐洲を席捲し殆んど世界的**秘密結社**となつたものである。(三) 犯罪的**秘密結社**。掏摸、賭博盜賊の結社で古來各國ともに其根を絶つた時代はないのである。世界的に有名なものは伊太利の黒手組で歐米各地にその魔手を伸ばして居ると云ふ。(四) 性的**秘密結社**。肉慾充足の逸樂に耽らんとする**秘密結社**で、淫蕩猥褻な出版物、寫眞、活動寫眞、見世物、私娼の媒介等に依つて組合員に満足を與へんとするものであつて、佛國マルセイユ、支那上海等には素晴らしい設備を有して巧妙に檢擧の網をくゞつてゐるものがあると云ふ。

## ○秘密主義 Occultism

英語ではオツカルチズムと言ふ。ラテン語 Occultus 「隠れたる」より發し、中世に於ては錬金術、占星術の如き秘傳を要する學問の義に用ゐられたが、轉じて神秘的超越的の意となり、再轉して神秘的、秘密的の學說、儀式を意味するに至つた。近世に至りて心靈說、神智教をもこの名を冠して用ゐられ、又政治、社會、方面にも屢この主義が應用せられるに至つて居る。

## ○秘密出版

朝憲を紊亂し公共の安寧を破壊する虞ある文書、又は社會の風教を感亂する様な猥褻書畫を官憲の目に觸れぬ様に出版し、一般民衆に公にせず、秘密裡に頒布するを云ふ。

## ○秘密教 Occultism

宗教並に社會的行事に於て特殊の修行を積み、其行法教義口傳等を秘密にするもの。東西古今文明野蠻の別なく汎く行はるゝ事實であつて、宗教的信仰及び社會の風習などが、神聖と秘密とを混同して、神聖なるが故に秘密にすべく秘密なるが故に神聖なりと

する觀念は、要するに、人心が直接神靈に接した經驗は之を叙述し難く、又永く社會に傳つた風習行事は意義不分明乍ら其處に何か深刻な意味があるとの秘密感等から誘導されるもので、神秘崇聖の感を保つために秘密にするのだと云はれて居る。之等の秘密風習中最も汎く行はれて居るのは入聖式 (Initiation ceremony) にて男女青年期に達した時部落の長老によつて秘密の儀式を取行ひ、社會傳來の秘義と人生の眞義とを授けるのだと云ふ。又靈魂の不死を得ると信じて洗禮、灌頂、斷食の三昧に入り、組織的の密儀 (Mysteries) を行ひ、又その教理を整へ、秘義に達すると云ふのがある。ギリシヤのデオニソス密儀 (Thonysian Mysteries) は最も有名である。日本の山行者も之と同類である。

## ○秘密選舉

無記名投票に依て行ふ選舉であつて、選舉人が何人であるかは不明である。この方法は、(一)選舉人を情實關係から解放して自由に投票をなさしめることが出来る。(二)約束履行の成否が全く不明に終るから賄賂等の弊害を避けることが出来る。(三)選舉人に外部よりの壓迫により支配せらるゝことなく従つて棄権者の數を減することゝなる。等

の特色を持つもので、多数決により甲乙何れかに事を決定するに當を得たものである。

○非矛盾律 Law of non-contradiction

論理學に於ける根本原理の一。吾人のすべての知識の根本的基礎を成すものは判断作用であるが、一つの判断は其中に矛盾概念を含まないことに依り始めて判断として存在し得、「甲は乙なり」と云ふ判断に於て甲と乙と相矛盾する時は此判断は全く存在の價値を失ふのである。即ち「甲は乙ならず」と改むることにより正しき判断となる。何となれば甲と乙とは相矛盾する故、「甲」と「乙ならず」とは決して同一概念の矛盾とはならぬ。かくすべての矛盾を排斥し必ず相合性を保つことを要すと云ふ規律を非矛盾律と云ふ。又單に矛盾律(Law of contradiction)と云ふ。

○非暴力主義 Ahimsa

受動的抵抗主義と云ふことも出来る。印度解放のためガンヂイ一派の殉道主義者が執るところの主義方針である。敵手に對して暴力によらずして對抗せうとするもので「受動的抵抗は應變自在の劔である。それは使用するものに幸福を齎すのみでなく、一滴の流

血を見ないでそれを向けられたものにも同様に幸福を寄與する。それは錆る恐れもなく亦盗まれもせぬ。この無錆の銘刀は強奪される心配もない。このアヒムサが積極的行動に出た場合それは廣大無邊の愛となり深甚な慈悲となる。人は愛するものをも欺くことはなし得ぬ筈である。又アヒムサの實行者は恐怖を捨てなければならぬ。大膽で勇敢であることはアヒムサの要素である。アヒムサの實行者は懸て世界を風靡するであらう。」と云つて居る。(ガンヂイ及スワラジ運動の項参照)

○ヒューマニズム Humanism

文藝復興期に於ける人文主義、現代に於けるトルストイ一派の人道主義を、双方共に英語でヒューマニズムと言つて居る。委細は右二項に詳説。

○ピューリタン派 Puritans

清教徒とも云ふ。第十六世紀後半英國々立教會に反抗して起つた一宗教的團體の名稱である。當時此の徒の活動は廣くイギリスの政治、社會、文學、風俗等に影響し更に大西洋の彼岸に於てアメリカ合衆國の建設に參與し、新國民の性格の要素を形造つた點で



は、文化史上大いに括目すべきものがある。世人は動もするとビュリクタンを以て世事に疎く、あらゆる娯樂を罪惡と信じ、華奢を蛇蝎視する頑迷固陋の徒と同一視する様であるがそれは誤である。この謬りは一には字義に拘泥したのと、此の徒が迫害の爲めに逆境に陥つた後の側面觀に捉はれたためである。

○表現主義 Expressionism

(廣義の表現主義) 表現主義の解釋には廣狹の二義がある。廣義のそれは現在奥國の表現主義文人たるヘルマン・バルが其論著「表現主義」に於て主唱せる如く、印象派以後の總ての非寫實主義——印象派に對する反動は後期印象派でも未來派でも、立體派でもダイズムでも乃至狹義に言ふ表現主義でも悉く一括して是に屬せしむる解釋である。(狹義の表現主義) 然し廣義の解釋は歴史的批判や、系統的分類の便宜上用ひらるゝものであつて、眞個の意味の解釋は、他のそれ等流派から截然區別して單獨に解釋した場合を以つて、所謂表現主義となすべきであり、前者に對して是を假に狹義の表現主義となしても好いのである。(以下説明は總て此狹義の表現主義に就てある。)(其主義及

思想) 表現主義はいかなる立脚點にあるかと言ふに、美術を主として其他藝術上に於いて、主觀至上主義を方法とするところのもので、自我を根據として起る感情、思想即ち主觀を、恰かも火の噴く如く、熱湯の沸るが如く、力一杯に大膽に表現する事である。其場合、其主觀表現は何等かの「形」に托されるけれども、其「形」は決して我々の眼に映するやうな自然界の形ではなく、主觀を托するに便利な獨創的なものである。主觀表現の爲に彼は自然界或は客觀界を其傀儡として憚らぬ。否寧ろ客觀的形象を虐殺し、抹殺し主觀に依つて捏造された「形」を人に強ひんとするものである。表現派の繪畫にしろ、演劇にしろ、一見甚だ不可解なのは是が爲である。其不可解なる「形」を通じて否「形」に依つて鑑賞者は、作者の感情、思想を感應すれば好いのである。(其起源と發達の經路) 以上の説明にても察し得る如く、表現主義は元來美術界の運動であつて、多くは美術上の主義と解すべきであるが、其後美術界に於ける表現派の全盛は文藝界にも波濤の如く押寄せ、歐洲大戰後、歐洲思潮界に最も猛威を振つたものは此表現主義であつた。表現主義の名が初めて起るに至つたのは、一九一〇年佛蘭西の畫家デュリアン・

オーギュスト・エルヴェイが自分の作書全體に一例に此名を用ひた時からである。次いで美術批評家ヴォーゼルは雑誌『ジル・ブル』に於て意義深く是を用ひたがため、社会的用語として確立さるゝに至つたのである。然るに此表現主義が高らかに標榜して、熱心な運動を營んだのは、獨逸及佛蘭西の畫家達であつて、ホードレル、カンチンスキ、ムンヒ等は其中心人物である。又戯曲其他文藝上の運動に是を取入れて、文藝界の一大勢力たるに至らしめたのは、獨逸の若き戯曲家達であつた。ゲオルグ、カイザー、エルンスト・トルラー、フリッツ・フォン・ウンルー、ハーゼンクレーフェル、ゲーリング等主に猶太系の三十代の青年達が其花形である。(我國の表現主義)我國では二科會の若い洋畫家達に依つて輸入され、畫壇に於ける勢力ある流行となつた。さうして意匠圖案や活動寫眞等にまで現はれるやうになり、通俗的な勢力となるに至つた。文壇でも上野虎雄君や藤井眞澄君のやうな表現派張りの作家が出で、表現派戯曲の譯解も續々と現はれ、最近築地劇場の如きはカイゼルやゲーリングの嶄新な戯曲を公演して、新奇な印象を與へた。然し戦後回復漸く進み、平靜を呈し來つた歐洲では、最近此餘りに狂

熱的な表現主義は、稍々頹勢の徴を呈して居ると言ふ事である。

### ○比例代表制度

選舉制度の一種。各政黨の勢力即ち選舉人の投票数の多寡に比例して議員を配分するを以て目的とするものである。此の制度には二種ある。(一)單記商數制度。全國を以て一選舉區とし議員の總數を以て選舉人の總數を除して得たところの商數を以て一人の議員を出すに就ての投票定數とし、各選舉人をして一名の議員候補者に限り投票することを得せしめ、定數の投票を得たものを以て當選人とする制度。(二)連記商數制度、全國を以て一選舉區とし、政黨各別に其議員候補者の氏名を列挙したる多數の投票名簿を作り、各選舉人をして此の名簿により投票せしむる制度。之に強制投票名簿制及自由投票名簿制の區別がある。比例代表制度の長所は(一)同じ黨派所屬の者は共同運動を爲し選舉費用を軽減することが出来る。(二)政黨の節制訓練を助け議院政治の發達を促進する利益がある。(三)個人的情實に訴ふることの實効を失はしめる結果として競争は全く主義政見の争ひとなり、政治は之により公明正大となる効果がある。

正義の觀念より見る時は此の制度は現行制に比し歓迎されなければならない性質のものであるのみならず世界的趨勢は益々此の制度採用に傾いて居るから我國でも早晚實現されることと思ふ。

### ○ピロイン主義 Pyrrhonism

ピロインの唱道した懷疑説である。ピロインも當時の諸學派即ちストア派エピキユロイス派と同様アタラクシア(物に煩はされず、平和安靜の精神状態)に達することを目的とした。されど他の學派が知見を以て之に達する必須の手段としたのに反し、知見を求めずは却て煩累を増す根源であると説き、哲學の研究を以て全く無用の事であると喝破した。蓋し、古來幾多の哲學者又は學派が出て哲學の研究を行つて居ながら、甲論乙駁で毫も議論の歸結を見ることが出来ない。思辨は我々に平和を與へる代りに却て煩累と不安とを與へ、我々を限りなき矛盾に誘ひ入るゝに過ぎない。思辨は不斷の論争の因となるから無用である。又我々は如何なる事柄に就ても肯定否定の兩方を同様に論證することが出来るから従て思辨は無益に終る。故に哲人は何事をも否定せず、又何事をも肯定せず、

能ふだけ明確な斷定を下すことを避け、是非の議論に熱中することを慎む。彼は認識の可能を肯定する獨斷論者にも與みせず又之を否定する詭辯論者にも左袒せず、故に知識の可能を否定することすら正確なりとは言ふべからずと。ピロインの懷疑論はその友人なるチモーンに依て祖述され今日に傳はられて居る。此のピロイン説より出で、一般に極端な懷疑論をピロイン主義と云ふ。

### ○品質本位

貨物に於てその形状や外觀の美麗は第二段として先づ實質の純良なること、耐久性に富んでゐることを主眼とする商業上の主義で、近時外觀や、徒に廉價なるによつてのみ顧客を瞞着せんとする粗製濫造品に對抗するため商品の廣告に汎く用ひらるゝに至つた一種の流行語である。

### ○ピアズレー(人名)

英吉利の版畫家。豊裕な天分を持ち近代藝苑の鬼才と稱せられて居る。オスカア・ワイルドの「サロメ」を始めとし、ボープ、ゴーチエ、ワグネルの歌劇等の挿繪及意匠に

於て其幽妙玄怪の想を驅つて得意の筆調を擅にしたが、一八九八年ベン・ジョンソンの喜劇 Volpone の口繪を絶筆として肺患のために斃れた。ピアズリーの自由奔放な空想と清新破格の手法とは、常に世人の目を驚かせたが、特に其畫面に漲つて居る幽暗にして往々不健全とも見ゆる氣分と、全く繪畫の約束を無視し、比例遠近法に適はぬ破格な描法とは兎角批評家酷評の的となつたが、ピアズリーの筆致は確に東洋繪畫特に日本畫から自得したところがあつて、其單純と黒色の塗沫とを以て玄怪神秘の想を表現した點は何人も企て及ばなかつたところである。

#### ○ビスマルク(人名)

近代に於いて偉人英傑と稱せらるゝ人物は尠くないが、ビスマルクの如く内治外交に非凡の手腕を揮つた人物は殆んど其比を見ない。彼は學に長じ思想を理解し、敢然立つや猛鷹の如く、内に潜むや蛇の如く、膽力を以つて行ひ、情を以つて統べた。急速の間に國權を伸張し、大戰前に於ける獨逸のあの驚くべき強大をなさしむるに至つたのは、殆んどビスマルクの力であつたと言つても過言ではない。斯く彼は英雄的政治家とし

て記録さるゝに値する人物であつたのみならず、國家主義、軍國主義及國家社會主義の巨頭として、社會史及思想史に重大な關係を有する人物であつたのである。(各項參照) 彼は一八一五年獨逸に生れ、一八六二年ウヰルヘルム一世の許に宰相となつて補佐し、彼獨特の鐵血政策を以つて、縱横に其手腕を發揮したが一八六四年丁抹を伐ち、續いて奧國を破り、一八七〇年には佛國と戰つて大勝し、彼の聲名は歐洲全土に雷の如く轟くに至つた。然るに後ちウヰルヘルム二世の皇位に昇るや、彼と意合はず退けられて閉居するに至つた。一八九八年不出世の大宰相は遂に永久に眼を閉ぢたのである。

#### ○ヒューム(人名)

『吾人の經驗は總て經驗より來る』と言ふ主張を唯一信條とし、實在よりも知識に根據を置き、經驗學派の爲に氣を揚げたダヴィッド・ヒュームは英國經驗哲學の中樞である。彼は一七一一年英國エジンバラに生れ、其地の大學に學んだ。實業家、外交官、圖書館の監督等實社會の俗務に提はつて居た事もあるが、多くは靜居して思索と著作に耽つた。大著「人性論」名著「英國史」等を遺して一七七六年に逝いた。

## ○ピタゴラス (人名)

希臘の哲學者であり且つ道德上宗教上の革新者である。其生涯に就ては種々訛傳謬説多くて確實に信を置くことは出来ぬが、現在事實と見做し得べきものは、第六世紀前半頃サモス島に誕生したこと。初め神學者フェレキデースの學徒となり後又アナクシマンドロスに就て學んだとも傳へられてゐる。又一説にはフェニキヤ、埃及<sup>メソポタミア</sup>巴比倫等を遍歴し、之に依て東方の宗教及神學を學び又幾何學を習得したと云ふ。五二〇年頃希臘に歸り、マグナ・グレシヤのクロトナの地に於て其宗教上、社會上、哲學上の革新の理想を實現せんと欲し盟社を組織した。所謂ピタゴラスの盟社 (Pythagorean order) は之である。ピタゴラスの終焉に就ては確實な傳記がない。

## ○ビョルンソン (人名)

イブセンと並び稱せられた那威の近代文豪。イブセンは大陸的作家であつたが、彼は國民的尊崇を一身を集めた國民的作家であつた。國民間にはイブセンよりも人氣があつて、其名聲の如きもイブセンより早く大をなした。然し其世界的價值に於てはイブセン

に一疇を輸するものである。然し兩人の交情は頗る濃かであつて、兩人の子供を婚姻せしめて居る事に依つてもそれを知る事が出来る。彼は一八三二年山村の牧師の子として生れ、那威の自然や風土を心から撫愛し、其郷土色を強く作中に現はし、山嶽小説の名で呼ばれる美しい作品を現はした。是彼が那威の國民的詩人であると言はれる所以であらう。代表作は小説「アルネ」であつて、他に「シンノウフ・ソルバツケン」「幸福なる男兒」等の傑作小説や「ザ・キング」「破産」「手套」等の社會劇がある。

○跛行本位制 Limping standard 貨幣制度の一。一定の法定比價を以て發行せる金銀二種の本位貨幣を認め、共に無制限法貨として其流通を許し、其うちの一方即ち銀貨の自由鑄造を制限して之を名目貨幣とし、かくして金銀市場比價の變動より来るベキグレシヤム法則 (タの部解説参照) の作用を避ける目的の制度なり。

○ヒーロー Hero 英雄、小説の主人公。

○ヒポコンデリー Hypochondrie 獨逸語。憂鬱症。女のヒステリーに對して男子の神經病である。神經衰弱よりも一層陰鬱な精神状態を呈するもの。

○ピクニック Picnic 遊山、野遊び、互に持ち寄りの宴會などの意。

○ピストン Piston 唧子、活塞子。

- ピッチ Pitch 高低の調子。又は野球の投手のこと。
- ピッチング Pitching 船の前後に動揺すること。
- 一幕物 One-scene drama 一幕にて完結している戯曲を言ふ。
- ピュア Pure 純心、清淨。
- ヒューマニティ Humanity 人道を譯す。
- ピラミッド Pyramid 埃及カイロ附近にある古代埃及國王の墳墓をピラミットと稱し、其墳墓が三角塔形なるため、一般に三角塔及金字塔の事とピラミットと言ふ事になつて居る。
- ビリケン Biliken 米國の福の神。其頭が尖り形になつて居ることより、故寺内伯の如く頭狀の尖つたのと、冷評してビリケン頭と言つて居る。
- 非立憲 立憲の精神に悖り獨斷的專制的行動に出ることと云ふ。
- ビル・ブローカー Bill-broker 手形及有價證券仲買人。
- ヒロイック Heroic 超人的、英雄的を譯す。
- ヒロイン Heroine 詩歌、小説、劇中の女主人公のこと。
- 敏感 感覺の鋭敏なこと。感下の早こと。
- ヒント Hint 暗示。

【フ之部】

○ファシスト運動

歐洲大戰後の過激な革命思潮に對する反動運動の種々な團體中最も有力であり、種々の點で傑出して居て、近時全世界の耳目を衝動させたのは伊太利のファシスト運動である。此一團の名稱をファッシュヨウと云ひ、黨員をファシスト、黨の主義方策をファッシュイズムと云ふ。ファッシュイズムは急進愛國主義であつて、伊太利の革命的擾亂に反動して結束し、暴力に訴へてこれが鎮壓に當つた團體である。即ち伊太利を革命より救つて秩序維持を確保することを目的とする純國粹黨である。黨の首領はムッソリーニで、現伊太利内閣を主宰し衆望を一身に集めて居る。黨員無量三百三十萬、堅實な中産階級、豫備軍人等によつて組織されたもので伊太利の政治を左右する権力と實力とを持つといふことである。

○富國論

アダム・スミスの名著 An Inquiry into the Natures and Causes of the Wealth of Nations

(諸國民の富の性質及原因に就ての研究)の略稱である。中世のギルド組織以來、近代國家に至るまで踏襲された産業經濟上の保護干渉政策に對して、鋭く且つ有力に反對説を高唱したのはこのアダム・スミスである。彼の名著富國論の有名なのは、此の著述により彼が利己主義より出發して産業經濟上に個人主義自由主義を創唱し、從來の保護干渉主義を排斥し、同時に近代の資本主義經濟組織を是認し、學理的基礎を與ふることに依て之に裏書したからである。彼は富國論の公表により個人主義經濟學の鼻祖となり、その學説は所謂英國正統學派となり、マルサス及リカード、ベンタム、ミル等に依て繼承され完成されるに至つた。

### 〇フェミニズム Foinism

男女同權主義を和譯す。十九世紀に於て婦人の間に起つた一種の運動で、明に革命的性質を有つたものであるが、運動の起された當初、婦人は、労働者の如くに武裝した暴動によつて現在の秩序を脅し能はぬと云ふ理由で世間では餘り恐れられず、一般からは奇怪な空想的なものとして徒に嘲笑せられたものである。その後其要求が眞面目に注意

を惹くに至つたのは遙に後のことである。

此運動の發生及發達を見たのは英國にして、その先驅者はメリー・ウォルストンクラフトである。彼は「女子權利の擁護」と言ふ一書をもつて女子を性的束縛より解放せんがために、人生の各方面に於て充分にして完全な男女の同權を雄辯に要求した。當時この急進的な運動は社會の壓迫と冷視を以て遇せられたに拘はらず、その後と雖も不斷に續けられて居たが、此の間理論よりも實際方面に於て、從來隷屬的であつた婦人の地位を變化せしめたのは彼の産業革命であつた。その結果家庭工業は衰廢し、紡績、裁縫、パン焼、醸造等の機械力による大量生産は茲に女子を家庭より解放し、窮屈な家庭より廣い世界に飛出して男子と同じく生活資料を得るために懸命になりだしたのである。女子も茲に於て始めて眞面目に自己の政治上及社會上の地位を考ふるに至つた。この自覺による男女同權主義の最初の要求は、婦人參政權の要求となつて現はれたのである。(女子參政權運動の項參照)蓋し婦人に選舉權を與ふるは、女子解放の重要な階梯であるとの主張からである。最近に至つて男女同權主義は、實質に於てもその主張を容れらるべき程

進歩し、各國の高等教育機關は女子に對して門戸を解放し、女子の智能を男子の地位にまで引上げたのである。又英國に於ては一八八二年結婚婦人財産條例を可決して、結婚婦人に自己の名に於て財産を所有する權利を與へ、法律的人格を許した。

概して婦人が平等を獲んとする奮闘に際しては多くのハンディキャップを有るに拘はらず婦人運動の進歩は目覺しいものがあつたのである。今日の社會では女子の見出される活動舞臺は殆どないと言つてよい程社會に現出して來た。從來の男子のみの世界は男女共通の世界となり、男女共に自由に人類の進歩のために協同盡力し得る時代となつたのである。

#### ○不換紙幣 *Inconvertible Paper money*

不換紙幣又は不換券とは、發行政府、發行銀行が本位貨幣(金貨又は銀貨)と兌換引換への義務を持たない紙幣を云ふ。是は發行當初、兌換紙幣であつたものが、兌換準備金の激減により不換紙幣の性質を帯びて來るものと、法律の強制によつて最初から不換紙幣をして流通するものとの二種がある。不換紙幣の濫發は物貨の暴騰を招き、一國の經濟

を危険に導くものである。譬へ一時政府の財政を遺繰し得てもその弊害は甚大である。

#### ○物質不可入性 *Impenetrability*

物理学上一物質の占有せる空間を、同時に他の物質が占有出來ないと云ふ物質の通有性を言ふ。混合物にあつては各成分の分子が他の成分の分子の空隙に存在するものであり、又化合物にあつては二種以上の物質が融合して別種の一物質となつたもので、敢てこの通有性の例外と見るべきものではないのである。

#### ○複本位制 *Double standard*

金銀二種の貨幣を以て本位貨幣とし、他の貨幣を以て補助貨幣とする制度。即ち本位貨幣には其自由鑄造を認め、之に無制限法貨(法貨の項参照)としての資格を附與し、別に流通の便宜上銀貨、白銅貨、銅貨等を以て補助貨幣とするものである。

#### ○不可知論 *Agnosticism*

凡て不可知の存在を認容するとか、若くは究極の實在は不可知的であると、主張する哲學上又は神學上の立脚地を云ふ。哲學上不可知論者と呼ぶものは、主としてスベ



ンサー及コント一派の實證論者、及びカント、ハミルトン等の如き知識の相對性なることを理由として絶対の不可知なることを主張する一團である。

神學上不可知論といふのは、神に關する知識は吾々人類の淺薄な知能では到底視知することが出来ないとする見解を云ふ。

○福音會 *Evangelical association*

プロテスタント教會の一派。専ら米國の獨逸系米人の間に流布される基督教であつて創始者は移住獨逸人ヤコブ・オルブライトである。教義は殆んどメソヂスト派に同じいものである。

○福音ルーテル教會 *Evangelical Lutheran church*

プロテスタント教會中最古流に屬するもので、獨逸及スカンヂナビヤ諸國の國教となつて居る。教義は使徒信經及アタナシウス信條を以つてして居る。

○不敬罪

刑法第七四條及其他に規定した罪。天皇・最高皇族・神宮及皇陵に對する不敬罪、及

皇族に對する不敬罪等がある。不敬行爲とは皇室を冒瀆する一切の行爲であつて、誹謗、侮辱、罵詈、讒謗其他侮蔑の意味を含む言語、動作、書畫等による一切の行爲を云ふ。神宮、皇陵に對する不敬行爲中には毀壞、汚損、發掘等の行爲をも包含す。

○婦人問題 *Woman's problem*

近世に至りて從屬的地位にありし婦人が、家庭、社會等人事百般に亘りて男性と同一であることを主張し、認識せんとする婦人運動を言ふのである。この運動の濫觴はイブセンの戯曲「人形の家」に發したと言へるのである。人形の家が婦人の改造と解放を題材としたものであるからである。爾來今日に於ける婦人問題は第一に社會に於ける權利の要求即ち婦人參政權及其他法律上の均等權利要求問題、第二に社會待遇改善問題即ち職業の自由及男子との同率報酬要求、教育の差別撤廢、公娼廢止、等其他種々なる問題があるのである。要するに道徳問題に社會問題に勞働問題に政治問題に教育問題にすべて從來の差別的待遇を一蹴して、男子と何等變る所なく一個の人間として堂々生存競争場裡に獨立獨歩せんとする人間本來の自覺問題である。蓋し婦人問題は近世文明の過

度期を表象するもので、現代の有する缺陷の最大なるものであらう。(女權擴張運動の項参照)

### ○プチ・ブルジョア

プチは僅小、極小を意味す、故にプチ・ブルジョアとは有産階級中の最下位に屬し、僅小の財産を有するもの、謂である。究竟自作農、小工場主、小商人、知識階級等の事を言ふのである。然して此プチ・ブルジョアなる言葉は社會主義者がそれ等僅小有産階級を多少嘲笑的の意味に於て用ふる語であるが、何故社會主義者はプチ・ブルジョアに對して、充分の好感を抱かぬかと言ふのに——彼等プチ・ブルジョアは富裕階級に對してはプロレタリアと等しく敵愾心を有つては居るけれども、其多少の經濟的餘裕から生ずる教養は、彼等をしてプロレタリアの粗暴と野卑とを排し、結局經濟と優美とを備へた文化生活を希望し、プロレタリアの如き激烈なる闘争手段を好まない、故に社會革命に當つても、彼等は公平なる第三者を氣取つて、其革命に組せないであらう。彼等の社會改造の理想はデモクラシーにあるから、到底社會主義とは相一致しない。——と言ふにある。

### ○普通選舉制度

眞に政治的デモクラシーを實現するためには階級を打破し、選舉權の範圍を擴張しなければならぬ。即ち從來の資格的制限を撤廢し、定年以上の一般民衆にして公民權を有する者を、總て選舉權獲得者とせんとするのである。此制度に依る時は制限選舉制度に依るよりも、一層廣く國民の意思に諮ることが出来る。即ち民意を更に廣く代表し得ることとなる。民主的政治は之によつてその實を行ひ得ると云ふのである。然しながら又種々の弊害も相伴ふことを免れない。普通選舉による時は數を問ふて質を問はない結果代議士の人物粗惡となり、社會狀態の實際關係を議會に映寫する複雑は免れないであらう。制限制に伴ふ諸種の情弊が改る結果として政黨の分野が著しく改新せられなければならぬ。即ち從來の既成多數黨必しも必勝を期し難く、新に有力な新黨が出現するやも計り難いのである。實質低下の新多數黨が議會を制する様になれば必然その政策も多様になるにつれて低下するであらう、即ち民主政治の墮落となるのである。以上は普通選舉實施に伴ふ變化と弊害の大體であるが、此の弊害あるに拘らず世界の大部分は普通選舉

の實現に向つて進みつゝあるのである。蓋し此の所謂弊害たるや固定的のものに非ずして、國民の政治教育の達成によつて、十分に除去し得るからである。即ち學校教育や、家庭教育や、社會教育によつて國民の政治知識を涵養し、戰時的愛國心を平時に於ても有たしむる様善良なる方法を考究するならば、制限選舉に比する普通選舉の優秀にして卓越せるは言を俟つまでもないのである。

#### ○物價調節 ValORIZATION

生産過剰に依る物價の大暴落のため生産者の窮迫する場合、生産貨物稀少による物價騰貴のため消費者の困窮する場合、物價を相當の程度に維持する手段方法を物價調節と云ふ。即ち前者にありては、一時過剰貨物を買占めて貯藏し市場に出さず、需給の平均を保つに至つて除々に之を市場に出す様な方法を探り。後者の場合は、國外若しくは隔絶した内地の比較的廉價な物貨を迅速に輸入或は移入し、需給の平衡を保たしめて物價の引下げを計るのである。内國産米の供給不足による白米の騰貴緩和のために政府が年々數百萬石の外米を輸入するは米價の調節のためである。物價調節は政府の社會政策上

今や重要な地位を占めて居る。

#### ○物活論 Hyloism

物質其物は本來生命又は活力を備へて居るものである。生活作用並に精神活動なるものは、皆物質其物の本來の屬性によるのであつて、敢て生活力とか靈魂とか特別の原因の存在する理ではない、と主張する學說である。古代哲學に於ては、物活論的傾向は屢々極めて粗笨な自然哲學的考究の企圖と結合して起り、又は宇宙靈魂に關する考察と結合して起つたのである。文藝復興期の自然哲學にも亦同様の傾向が現はれてゐる。近代に至て物活論は、自然科學殊に有機科學發達の結果、幾多の材料を得て復活の現象を呈して居る。

#### ○不動心 Apathy

ストア派の理想的哲人の生活状態を指して不動心の状態と云ふ。ストア派の倫理的理想は極端に理性に隨て生活し、感情が外物の影響によつて毫も動かせられることのない點にある。即ち全然境遇の束縛や、外物の誘惑から超越し、内部より自己を支配し、從

て名利、欲望、苦樂、疾病生死等のために些も心を動かさない様な状態を不動心と云ふのである。

### ○普遍論 Universalism

一般に特殊よりも普遍を重んじ、個體よりも全體を重んずる立脚地を言ふ。哲學上、普遍論は個體論と對立し、眞の實在を以て永遠に普遍なるものとし、個體として顯はれる現象的實在は、第二次的の實在であつて、唯此の普遍なるもの、一時的に結合する限りに於て存在するものである、この見地に立つものである。倫理上、普遍論は個人主義と對立し、道德的行爲の對象を以て個人其ものにあらずして、團體若くは全體(民族、國家人類等)なりとする見地に立つ。かくて社會的、政治的、國民的、人類的等の普遍論を生ずるのである。

### ○フューチャーリズム Futurism

輓近佛蘭西に起つた藝術上の一派で、我國では未來派と呼んで居るものである。一切の傳統と過去とに反抗し、現在、及び殊に未來に希望を輝かさんとするものである。一

九〇九年伊太利の詩人マリネツチによつて創唱され、動亂生活、革命的な政治及社會運動を謳歌し、之等と同じリズムを以て藝術的創作の中心にせんと試みたもので、從て彼等は凡ゆる形の動亂を愛好し、沈靜、休止、睡眠、沈黙等、外物の靜的狀態を極度に排斥したのが此派の特徴である。

### ○フューメ占領

フューメはアドリアチック海に面接し、地形優れたる良港であり、且つ又アドリアチック海の制海權を握る重要な地勢にあるため、面積僅か八方哩の小地域であるが、大戰後伊太利とユーゴ・スラヴィアとは互に自國の國狀に重大なる關係をもつところから必死になつて爭奪し合つたものである。然るに一九一九年九月愛國詩人ダンヌンチオ氏は名を東京羅馬大飛行計劃に藉り、秘かに養成せる多數の義勇軍を以つて突如ヒューメを占領してしまつたのである。其結果歐洲外交界は愕然として騒ぎ立ち、種々折衝を重ねた結果、遂にフューメは兩國の孰れにも屬せしめず、自身獨立する事となつた。然し今日では伊ユ兩國協約の結果、大部分伊太利の領有するところとなつて居る。

## ○プラトニック・ラヴ Platonic love

直譯すれば『プラトニック的戀愛』と言ふ意味であつて、具體的に言へば希臘古代の大哲プラトニックの唱道した戀愛思想と言ふ事にならう。然らばプラトニックはいかに其戀愛の性質を主張したかと言ふに、其對話編『饗宴』及『ファイドロス』——殊に前者に於て其師ソクラテスの説明に假りて、彼獨特の戀愛の説明を試みて居るのである。それに從へば愛の神エロスは決して普通考へられて居るやうに、それ自體に於て善美なるものではなく、『豊富』の神と『貧窮』の神の間に出來た神であつて、一方に於ては善美の相を帯びて居るが、一方に於ては醜惡の相を帶ずる。故に其エロスの司る愛とは決して完全なる美ではなく、神と人間の間<sup>プエモン</sup>に位する神人靈の如きものであつて、其自己に不足する完全なる善美を絶えず憧憬し所有しやうとする。其憧憬し所有しやうとする心の働きが愛の正しきものである。其所有慾には肉體の善美を求めんとするものと、魂の善美を求めんとするものとの二種あるが、前者は肉體を所有する事に依つて子孫を生み、肉體の不滅を得んとするものであり。後者は魂を所有する事に依つて智慧を生み、徳を

生み、廣大無邊なる美を得んとするものである。故に教育の如きも愛の現はれである。然して右二者に於て戀愛として重大なるは勿論後者の魂の愛である。——斯るプラトニックの戀愛觀より出で來つて、肉體性慾を求めずして、純心なる精神的愛に生きんとする戀愛を以つてプラトニック・ラヴと稱するに至つたのである。勿論プラトニックは精神的愛を戀愛の最上價值として居るのであるが、全然肉體を否定し去つて居るものでないから、其點に於ては今日普通に言ふプラトニック・ラヴはプラトニックの説から稍極端に偏した意味で用ゐられて居る譯である。

## ○プラグマティズム Pragmatism

實用主義又は實際主義と譯されて居る。プラグマティズムとは人本主義、主情意主義を地盤として發生した哲學上の一新傾向で絶対主知主義に反對せるもの、どこまでも人間の要求を本意として、眞理も學說もそれによつて改造して行くべきである、否人間の實生活に適應し、それに役立つものが即ち眞理であり、眞の實在であると主張し、徹底的に且積極的に人間の實生活を肯定し強調する一新生人觀である。此のプラグマティズ

ムの主張は十九世紀末の慘憺として行詰まれる思想界の暗黒時代に一脉の黎明的微光を投げかけたものである。現代人は空想的、獨斷的な唯心論に慊らず、冷酷無情な唯物論にも満足せずして、この生氣あり希望あるブラダグマテイズムの光を慕ふて蝟集した理である。

○ブルジョア (ブルジョアジー) Bourgeois (Bourgeoisie)

共に佛蘭西語である。ブルジョアは商工業者或は有産者の事であり、ブルジョアジーは其團體的意味たる商工階級、有産階級の意味である。但し社會主義者達はブルジョアジーを輕侮的意味に於て、「紳士閥」と譯して居る。偕此語が佛蘭西語である事に依つても察せられる如く、此語は佛蘭西の歴史に於けるそれ等ブルジョア乃至其階級の社會に於ける状態を想像する時に於て、最も彷彿として此語が生きて來るのである。佛蘭西のルイ王朝時代は貴族即ち特權階級の最も專横を極めた時代であつて、有産階級も無産階級も共に其苛酷に泣いたのである。其窮極するところ十八世紀ルイ十四世の代に及び、ブルジョアジーは敢然と立つて、自由平等を叫んで王朝政治を顛覆し、デモクラチックな

共和政治を施き、其主權を握るに至つたのである。其時プロレタリアートは革命が自分達の幸福を築くものであると想像して、ブルジョアジーに雷同し、革命を遂げたのであつたが、彼等の努力は畢竟様の下の力持ちであつて、反つて彼等はブルジョアジーに利用せられた形となつて、貴族專制時代と何等變らぬ暗黒な生活に喘ぐのみであつた。斯くの如く佛蘭西のブルジョアジーは劃然階級を鮮明にして、階級の理想に到達した其奸智と狡猾は全く彼等の特性となつたのである。此意味よりしてブルジョア乃至ブルジョアジーなる語は貴族階級及プロレタリアートから區別し、それに奸智狡猾等の意味を含まして用ゐた場合の商工業者中心の有産階級の事を言ふのである。

○フレツチエリズム Fletcherism

多食飽食は共に消化機能を害する根本原因であつて、胃腸に傷害を來すと、腦神經を他迷走神經によつて連絡する人體の諸種の機能も亦傷害の影響を受けるものである。人體の保健は減食(又は少食)し滋養ある食物を十分に咀嚼し消化器の負擔を軽くするに限る。と云ふ説を唱へ、之を主義として宣傳したことにより、この創唱者フレツチャ

の名を冠して減食主義を稱してフレツチエリズムと言ふのである。普通三度の常食を撮り一食毎の分量を減すものと、三度の常食を二度乃至一度に減するものとある。その動機が保健によると經濟關係によるとを問はず、形式はフレツチエリズムである。

### ○フロイドの性慾説

フロイドの夢及ヒステリーに關した心理學を言ふ。(精神分析學の項に詳述)

### ○プロレタリア(プロレタリアート) Proletarian (Proletariat)

プロレタリアは無産者、庶民の意であり、プロレタリアートは其團體の意味に於ける無産階級或は庶民階級の事である。ブルジョアと同じく階級意識を強めて言ふ場合に用ゐる。ブルジョアは佛蘭西社會の歴史に於て顯著なるものであるのに對し、是は英國社會の歴史に於て顯著なるものである。即ち十九世紀産業革命(其項に詳説)が急速の勢を以つて遂げられるや、昨日まで親方であり、小商人であつた中産階級も忽ち無産階級となり、それに一般の無産階級と合して、此處に英國の社會は機械と言ふものを間にして、小數有産階級と多數無産階級の對立となり、プロレタリアートの階級としての意識が俄

かに強烈となつたのである。加ふるに當時英國の工業界は、資本家同志の激甚なる競争と、急激な富國策との爲に、それ等労働者を酷使する事殘酷を極め、甚しきは我國今日の監獄部屋の如き状態のものさへあつたのである。其殘忍の極まるどころ遂にチャイナスト運動(其項参照)となるに至つたが、此英國産業革命直後に於ける労働者の多數生起と其悲惨なる生活の意味を含まして使はれるのが、今日のプロレタリア乃至プロレタリアートなる流行語である。

### ○プロテスタント Protestant

基督新教の事、(新教の項、及加特力教會の項を見よ)

### ○プロレツトカルト Proletariat

プロレツトカルトとはプロレタリアン・カルチュアアの略語で、「無産階級教化」と云ふ意味である。有産階級の教育が今日その凡ゆる社會教育機關を通じて現代の社會的秩序を維持せうとするのに反して、プロレツトカルトはその有産階級が維持せうとする秩序を顛覆して、無産階級の文化を建設する事がその目的である。何となれば有産階級に

とつて都合よき教育制度は、無産階級にとつては排斥的従て抑壓的であり苦痛だからである。凡ゆる拘束から解放せらるゝことは、無産階級の最大欲望ではあるが、この意味の解放は、なし能はぬもの、或はなさしめられないものゝ階級を含まない文化教育のもとには望みうる筈はない。蓋し彼等は偏跛な高い文化を遙の下層から眺める丈に過ぎない。そして彼等は所詮ブルジョア文化とは同化し得られないからである。眞に無産階級を完全に解放するには、彼等自身の利益のための教化が行はれて、それを基礎とする文化が建設せられなければならぬ。と云ふのがプロレツトカルトの主張なのである。

#### ○文化(文化主義) Kultur

文化なる語が日本の社會に流用されるやうになつたのは、まだ餘り遠い事ではない。然も此處數年來文化なる語は、最も喜ばれた流行語で、其亂用の甚しき遂に文化風呂を出し、文化食堂を出し、文化便器を出し、寧ろ滑稽に墮してしまつた。さうして斯くの如く流行するに至つた言葉だけに、其意味も頗る淺薄に解せられ、殊に誤解せられたのは文明と同意義に解せられた事である。元來文化の語は獨逸語のカルツアの譯語で、英

語のカルチュアとは稍々意味を異にし、寧ろシヴィリゼーションの語に充當するものである。文化なる言葉の有する概念を最も學理的に深遠に闡明して居るのは、現代獨逸哲學界の勢力の一半を握る西南學派(歴史學派)であらう。其開祖ウインデルバント及び現在の首腦人物リツケルトは其哲學體系に於て、文化と言ふ事を非常に重要な對照とした彼等に從へば文化とは社會各人を通じて共通する慾望充足の對照となるものが廣義に於ける文化であつて、其有する價值が文化價值である。其文化價值には『眞の價值』たる學問的價值、『善の價值』たる道德的價值、『美の價值』たる藝術的價值、『聖の價值』たる宗教的價值、『富の價值』たる經濟的價值の五種別がある。其價值に依つて生ずる文化を我々は哲學文化、道德文化、藝術文化、宗教文化、經濟文化となす事を得るのである。斯く人生の諸現象を總て價值本位に解釋せんとするところより、リツケルトの哲學を價值哲學の名を以つて呼ぶ者もあるのである。以上の各文化をより大別的に區分する時は單に自然科學文化と精神科學文化との二つになる事を得る。さうして狹義に言ふ文化は自然科學文化に對し、精神科學文化のみを言ふのである。更に具體的に言へば、經濟文



化、科學文化は自然科學文化——普通に言ふ文明であつて、哲學文化、宗教文化、道德文化、藝術文化等の精神科學文化のみが、文化の名に充當するものである。さうして吾人の任務は此文化價値を誘導し、向上せしめるにある。是が即ちリツケルト等の所謂文化主義なるものである。其他文化及文化主義に對する解釋は種々あるが、以上リツケルト等の解釋が最も妥當で組織的である。

#### ○文化生活

現代文化に適應して便宜な能率的衣食住により生活すると云ふ意であるが、生活を奢侈贅澤に營むことが必しも文化生活ではなく、自己のなし能ふ範圍内で、現生活を最も文化に適應する様に改善すればそれで立派に文化生活である。衣服の經濟的及實用上の便宜に適ふ様に改良するとか、食物の安價で且つ營養價の高い料理方法を研究するとか外觀美と便利とを兼備した調度を工夫するとか、或は住宅を建てるにしても、美觀と住心地と能率とを顧慮するとかは皆文化生活に必要な方法である。又精神生活に於ては藝術的情想に生きることである。これ等の物質上精神上の生活が融合すると之が爲に生活

態様は著しく美化し向上するものである。文化生活とは畢竟かゝる生活を云ふので、所謂輕薄なハイカラ生活を文化生活と稱してゐるのは妥當でない。

#### ○文藝復興 Renaissance

歐洲中世紀末より近世に移らんとする過渡期に當り、人類の思想界に一大革命起り、文物學問の上に著大なる進歩を劃した時代を云ふ。伊太利を中心として其影響漸次其他の歐洲諸國に及んだ。此の時代には今まで永く歐洲の人心を支配して居た宗教と道德とは漸やくその威力を失ひ、束縛せられて居た精神はこゝに面目を一新し、活動の自由を得て、從來とは局面を異にした新文明の機運を作るに至つたのである。即ち思想界では煩瑣哲學 *Saloot asticism* に反抗して古學復古を唱へた人道學派 *Humanism* 起り、ローマ法王の教權に服従せずして宗教の自由討究を叫ぶ者を生じ、又一般社會には舊道德の羈絆が破れて著しく現世主義個人主義的傾向が生じて來た。これらは一面より見れば道義の頹廢とも見られようが、併し個々の天才を發揮するには最も便益を得た時代で學問文藝の隆興に恰好の機會となつたのである。此の時代には文豪としてはダンテ、ペトラル

カ、ボカチオ等の偉人現はれて伊太利の文化を促進し、美術家にはゴッオリ、フランチェスカ、ボツチシエリ、レオナルド等の名家が出て、復興建築所謂ルネサンス式として特殊の建築術進歩し、政治家にはマキアベリ、科學者としてコベルニクス等最も傑出して居た。かくの如く燦然として輝いた伊太利の文化は諸國に影響し、ドイツにては宗教改革、新思想の弘通となり。フランスに入るやカルビン、ドレー等の神學となり教會權威の衰微となり。イスパニヤ、ポルトガルに移つては航海術の發達を助けて新世界の發見となり。イギリスにてはヘンリー八世の宗教改革より始つて遂に有名なエリサベス王朝の燦爛たる文化を建設するに至つたのである。

#### ○分析法學派 *Analised school*

實驗法理學說の一にして、法の現象を解剖分析してその成分と組織とを明にし以つて法の觀念を正確に知らんとする研究方法である。例へば生物學に於ける解剖學組織學の如きものである。英のオースチンの創唱にかゝり彼の著「法律範圍論」六卷は法理學上に分析學の一派を成立させた大著である。オースチンは當時自然法學說の隆昌なる時代

にありて、法理學研究の對象は自然法でなく成文法でなくてはならぬことを堂々主張したのである。

#### ○分量的快樂說 *Quantitative Hedonism*

倫理學に於ける唯物論は勢ひ功利主義に走らなければならぬ、従つて目的論を排斥し理想を認めず、單に現在に於ける生活状態を進め、幸福を増し、苦痛を除くことを唯一の標準とするのである。この最大多數の最大幸福を主唱する功利說中に於て快樂分量の大小強弱を説くベンザム一派の功利說を分量的快樂說と言ふのである(功利說の項参照之に反して快樂の性質に高卑の別ありとなすミルの說を性質的快樂說と言ふ)。

#### ○ファイヒテ(人名)

ヨハン・コットトリプ・ファイヒテは獨逸の國民的哲人として、近世哲學界屈指の人物として著名な人物である。一七六二年獨逸に生れ、イエーナ及ライプツヒの兩大學に神學を修め、卒業の後イエナ大學の哲學教授となり、更に出世してベルリン大學の總長となつた。一八一四年にして逝く。其哲學はカントの後を受け、カントの短を補つて完

壁せしめたものであると言ふ。彼は凡ての中心を「我」に置き、然も其「我」は靜的なものでなく、動的なものであつて、其「我」の活動を自識する事に依つて、我々は宇宙の眞理に合するとなしたのである。

#### ○フリーリエー(八名)

空想的社會主義者として有名である。彼はサンシモンの如く現代社會組織の最大缺點を個人、階級、宗教、國家間の對抗に存するとなし。故に調和こそ、世界が正に進むべき新文明的社會の根本原則であらねばならぬと信じたのである。彼は一の共同生活の方法を案出し、それにフアランステリーと名付けた。彼の理想は人間の本能と性情とに自由な活動を與へようとするので、現代の社會組織はこれに自由な捌け口を與へないから屢々害を爲すのである。若し總ての人にその自由な活動を許すべき機會を興ふる環境が作られたならば、調和は生じ、世界は平和となり、幸福となるであらうと云ふのである。この理想は當時の多くの熱心な社會改良論者の喝采を得たが、彼の理論が既に社會狀態の自然的變遷と没交渉に立てられたのみならずフアランステリーと云ふ彼の理想的社會

を案出して、社會の之に做すべきことを力説したので世人は彼を空想的社會主義者と名付けたのである。併し彼の理想が米國にて採用せられた實例は有名なブルックナム・コロニーである。我國でも武者小路氏の新しい村の如きも之に類似するものである。

#### ○プーシユキン(八名)

露西亞のシエクスピヤと言つた立場の文豪であつて、露西亞の詩宗であると言はれて居る。且つ露西亞浪漫派時代の代表的文豪である。詩人にして小説家を兼ね、更に戯曲家を兼ねて、豊かなる才藻を示したる人、嘗つては外務官たりし事あり、ニコラス一世の侍従としても寵愛され、才子行くとして可ならざるなしの觀があつた。一七一九年露西亞モスコーに生れ、一八三七年美貌の愛妻のために決闘して果てた。小説「大尉の娘」をはじめ幾多の詩歌小説の傑作がある。

#### ○フランス(八名)

アナトール・フランスは其雅號である。本名はチャック・アナトール・チボー、近日外電は此現代佛蘭西文壇の最高權威の死を報じ、巨星墜つ之感を起さしめた。享年八

十、文人には稀な長壽であつた。巴里ノートル・ダムに程近き古本屋の子として生れた彼は、幼少より我家に蔵された珍書古書に依つて、古典的知識を得、住居の附近の宗教的な古典的な雰圍氣を吸ひ、早くから尙古的趣味と、浪漫的な空想に養はれた。後彼が第一流の歴史家となり、新浪漫派運動の巨頭となつたのも決して偶然でない。其長き生涯を通じて小説、戯曲、歴史、評論等は總計四十三卷、長短併せて三百餘篇の多きに昇つてゐる。其内殊に一般的に有名なのは『女優タイヌ』『紅百合』『シルヴェストルポナールの罪』等であつて、其作風は辛辣な皮肉と、多彩なる浪漫的情景と、古典的な壯麗に満ちて居た。一九二一年にはノーベル賞金を授與され、其世界的聲價は愈々重きを加へたが、三年を距た今日遂に名成り功遂げて逝いたのである。

#### ○ブランデス(人名)

近代批評壇の最大の巨人として擧ぐべきは、丁抹の大批評家ゲオルヒ・ブランデスであらう。彼は單に批評の技に遊んだ月並なる批評家ではなく、鋭き文明批評、遠大なる社會批評の概を有した評家であつた。一八四二年コーペンハーゲンに生れ、海外諸國を

漫遊して、各國の國情と文藝とを實際的に究め、雄大なる大批評を書くに至つた。『十九世紀文學の主潮』『露西亞印象記』『イブセン論』『露西亞文學印象記』は其主著であるテイスに關する論文に依つて哲學博士となり、故國の大學の講師を勤めて居た。

#### ○プラトーン(人名)

嘗つてエマアソンをして、『プラトーンは哲學なり、哲學はプラトーンなり』と嘆賞せしめたプラトーンは二千年間の歐洲の思想界を通じて非常に甚大な影響を與へた哲人であつた。其哲學は所謂イデーを最高原理とせる幽玄遠大なる理想哲學であつた。彼プラトーンは紀元前四百二十七年希臘亞典府の名門の家に生れた。年二十の時よりソクラテースに師事して、専心其哲理に聽く事八年間、其後諸國を遍歴して諸派の學徒と交はり、其學派の學說を究め、遂に塾を開いて幾多の子弟を教育した。斯くして萬人憧憬のうち年八十を以つて逝いた。一名プレトオとも言ふ。

#### ○ブルードン(人名)

無政府主義の最元祖であると言はれる人物。事實近世の無政府主義の搖籃は彼に藏さ

れ、バクウニン、マルクスの如きは其非常なる感化を受けたと言はれている。(後マルクスは彼から叛いた)其著には『貧困の哲學』などがある。一七〇九年に生れ、一八六五年に逝いた。

○フローベル(人名)

西曆一八二一年二月佛蘭西のルーアンに誕生した。彼の有名なのはその虛無主義に於てである。彼の思想には道德もなく宗教もなく、遂に彼は人生すらも否定したのである。彼の心奥には無情冷酷にして氷の様に冷たい批評眼によつて、一切を否定し去る所の虛無思想が磐石の力強さを持つて潜んで居たのである。併し彼に只一つ取残されたものがある、それは藝術である。「藝術は人生の上に超絶す」とは彼の根本思想である。小説家としての彼が、小説を書くに當り實地の研究にどれ程心を砕いたか殆んど想像外である。無涯な彼の藝術には湖水の様に澄んだ觀界が開け、漣の様な微妙な諧調が聞ける様である。彼も亦自然主義を奉ずる一人である。其の公にした小説中「マダム・ボワリー」「サランボー」「多感教育」「サン・アントワヌの誘惑」等不朽の名作が多い。その特色は眞に徹した客觀描寫の深刻味である。

○フェイス Faience 西洋演劇に於ける滑稽劇の一種。笑劇、茶番劇とも言ふ單純な筋の中に諷刺と諷刺とを加味して人を笑はせるものにて、其喜劇 Comedy と相異なる點は如何なる誇大不條理な人物事件とも嫌ひなく取入れることである。

○ファウンテン・ペン Fountain Pen 万年筆。

○フイ Bony 救命帶。船舶緊留用の浮標。

○風壓 Wind pressure 風が物體に加へる壓力のこと。

○フース・ヒー What's he 現代名士録。人物評論等の意である。

○封鎖 Blockade 實力を以て相手國の沿岸又は港灣の海上交通を遮断すること。封鎖には平時封鎖と戰時封鎖との二種がある。平時封鎖は報復の一方法である(反報手段の項参照)。戰時封鎖又は軍時封鎖と商事封鎖の二つに分れる。軍事封鎖は純然たる戰闘手段であつて、商事封鎖は敵國の交通遮断が目的である。が此の二つを兼ねた場合も少くない。通常封鎖と云ふのは商事封鎖のことと指す。

○プール Pool 運賃同盟、企業者合同。

○フル・スピード Full speed 全速力。

○婦人問題 女權擴張運動及フェミニズムの項に詳述す。

○風致林 木材及其副産物の如き森林直接の収益と目的とせず立木の儘にて、森林美としての無形の効能と達する森

- 林。寺社風致林、公園風致林等あり。
- フエティシズム *Fetichism* 物神崇拜、拜物教、又は迷信の意。
- フォノグラフ *Phonograph* 蓄音器。
- 不可抗力 天災、地變、戦争、暴動等人爲と以て避けることの出来難い出来事。
- 復活祭 *Easter* キリストの復活を祝福する祭の名。
- 復選挙 國民が議員の選挙人と選び、更に其選挙人が議員と選ぶ制度。別に間接選挙とも云ふ。
- 副作用 *Nebenwirkung* 一つの疾病を治愈せんとする藥物が患部に作用する傍、身體の他の部分に悪影響を及ぼすこと。多くの神経鎮静薬が胃を害する如きもの。
- 複々線 *Double double line* 鐵道は普通往復二線路であるが、交通頻繁なため往線二、復線二とする場合を複々線と云ふ。
- 復辟 廢帝の再度帝位を回復すること。
- 伏魔殿 不正行爲、醜惡な陰謀などと企てるものゝ集合場所「何々會社は伏魔殿だ」と云ふ様に用ゐられる。
- 副甲狀腺 内分泌線の一つの學名。咽喉聲帶部脇の甲狀腺中に含まれて居る針頭大の組織體で四個ある。その内分分泌液は神経系に甚大の影響を爲すことのホルモンと有して居る。手術によつて之を全部剔出すること忽に痙攣を起し死に至るものである。

- 物々交換 *Barter* 普通の賣買取引に對する語であつて、直接に必要な貨物と貨物とを交換して經濟生活を營むことと云ふ。學者が自然經濟と稱する所のものである。貨幣制度の未だ發達せない昔時は、貨物の生産手段も簡單で勿論部分的の分業などは行はれず、各自がその特技によつて得意の貨物生産を行つたもので、分配の形式も仲介者を要せず、自足餘利の不用貨物と他の必要貨物と、定時或は不定時の市と利用して交換したものである。
- 舞蹈病 *Chorea* 運動中樞の機能に障害があるため身體の各部に不隨的の運動を起す病氣である。主として營養不良から發するものである。
- 不當利得 法律上正當なる原因に依らず、故意又は惡意を以て他人の財産又は勞務に因つて適當の利益を獲得し之が爲に他人に不利益を及ぼした事實と云ふ。
- 船積指圖書 *Shipping order* 貨物と海運業者に托する場合に荷送人が其貨物と共に出貨申込書及送狀と運送者に差出すとき、運送者が荷送人に交付する書式。又川送書とも云ふ。
- 船荷證券 *B.L. Bill of Lading* 船長が出荷人より荷物と受取りこれと到着地に於て引渡すことと約する證券。形式上は單に貨物の領收書に過ぎないが、その作用は恰も爲替手形のもの如く商業上重要な書類である。
- 物自體 *ding an sich* (thing in itself) カントの用語で本體 (*Noumenon*) と同義、現象と反對の語である。
- ブラック・リスト *Black list* 一般に或る社會に於て不信用にして警戒を要すべき人物の名を記載した記録。特に實業界に於ては、財産状態の怪しき者、又は會社の記名録と云ふ。所によつては興信所にて、ある人名簿或は會

社名簿を作り、料金を徴収して閲覧せしめるものがある。又治警政策上のブラック・リストと云へば、危険な過激思想を抱く社会主義者にて社会の治安を紊乱する虞ある者、不良青少年少女にて社会の風教を惑乱する虞ある者等の警察注意人物の記名簿と云ふ。

○ブラック・ハンド Black-hand 所謂黒手組と稱する秘密結社である。黒手組の本據は伊太利のメツシナ市(歐洲及び米國にまでその冤手を伸ばして居る。殺人、強盜、誘拐、脅迫等凡ゆる犯罪を組織的團體で行つたもので、悪辣惨虐な犯罪の跡には必ず黒い手形を結社の印として残した故に黒手組の名が起つた。現在では轉用されて不良少年團にもこの名が冠せられる様になつた。又探偵小説や活動寫眞にも利用されるに至つた。

○ブラーマ Brahma 梵——印度古代思想に於ける第一創造神、一切衆生の父。

○プライド Pride 誇り。

○プライド Proud 自尊心、自尊的な。

○フレッシュ Fresh 新鮮なる。

○フレッシュユリー・スクール Freshly school 男女間の肉慾描寫と主眼とした性的小説と得意とする一派の作家

○プロパガンダ Propaganda 本来の意味は羅馬教の外國傳道部監視局、布教團、傳道法など云ふ意味であるが、近來此の意味を轉じて、宣傳、自家廣告、などの意に用ゐられる様になつた。

○プロースチチュート prostitute 女郎、娼妓。略してピーとも云ふ。

○ブロークン Broken 破格の。ブロークンな英語と言へば、發音、文法等の正しくないものと言ふ。

○プログラム Programme 順序、順序書、豫定、番附、目錄。

○プロゼーイック prosaic 散文的。

○プロセス Process 經過。

○プロット Plot 筋、構想。

○プロフェッサー Professor 大學教授、博士。

○プロフェツショナル Professional 職業的な。

○プロペラー Propeller 飛行機の推進機。

○ブロンド Blond 金髪白面緑眼、金髪美人。

○ブローカー Broker 商品の需要者と供給者との間に介在して取引の媒介とすることを營業とするもの。生絲ブローカー、株式ブローカー、船舶ブローカー、空家ブローカー等その種類は枚舉に遑がない。

○不渡 手形の支拂ひの拒絶せられたこと。

○文化村 文化生活(其項参照)を營む人々の集合村落の意。

## ○平價募集法

國債を募集するに當り額面金額だけ拂込ましむるものにして、割引募集法に對するものである。茲に額面金額と云ふのは國債證券に記載せられた金額の謂であつて償還義務金額である。割引募集法は拂込金額が償還金額より少ない結果當然利子も低からざるを得ぬが、平價募集法は拂込額と償還額とが同一である故利子も前者に比して高率で財政上有利である。現今一流國家は多く平價募集法に依つて居る。

## ○米券倉庫

米穀の検査、保管を行ふ外、入庫荷主の便宜を計つて資金の融通をもする農業倉庫の一種で、主たる目的は輸送米の均整を計り、販賣を補助し、價格の調節を計ることであるがそれと共に、間接には米作を奨励するものである。

## ○平民主義

近時上流社會の一部に問題とされて居る風潮で、貴賤の階級意識を度外し、位階勳爵

に誇らず人間平等の思想を喜び、自らその格式を捨て、萬事手輕を旨とする主義主張を云ふものである。之にも消極的のものと積極的のものがある。依然その階級に身を置いて他から格式張られることを喜ばないのは前者で、全然地位階級から離れ、仰々しい格式をすて一介の平民に降り生活を平民的簡易式に改めんとするのは後者である。

## ○平民食堂

低俸給生活者、労働者、行商人等下層生活者の収入を標準として實質並に廉價本位に營む食堂(飯屋)である。私營のものと公營のものがある。物價騰貴に際しては相當の俸給生活者でも可成りに生活上の脅威を感じるものであるから況してそれ以下の下層階級は尙更のことで、平民食堂はこれ等の救済或は便宜を計る一つの社會政策的施設と見てよい。私營のものは往々營利、非衛生に流れ易い弊を伴ふから其筋にて取締る必要がある。或は簡易食堂とも言つて居る。

## ○平和運動

The peace movement

太古より世界平和の夢想はあつた。古代イスラエルの豫言者イザイアは劔が鋤に、



槍が荷込鉢に鑄直される日を待つて居た。基督教の眞髓は世界同胞の精神にある。基督は地上に平和を人間に善き意思を齎らす平和の君として書かれた。世界平和の提議は種々の時期に於て、佛王ヘンリー四世、國際法の父クロチユース、近世哲學の祖カントその他の名士に依て勸奨された。併し十九世紀の終り迄はかゝる提議に對して少しの顧慮も拂はれなかつた。されど武裝平和を維持するに必要な租税の重荷が大なる不平を惹起すに至つて遂に政治家や君主をして眞面目に世界武裝の解除の可能性、少くとも軍備の制限を考へしめる様になつた。そして普遍的の平和運動が現はれて來た。各國に多くの結社が起つて國家間の争ひを解決する方法として、戦争に代ふるに仲裁を以てせうとする一般的運動が開始された。巨額の資金は平和運動の爲に醸出せられ、國際平和會議は正規に開催され、瑞西のベルンには永久平和の本部が設けられた。瑞典のダイナマイト發明者アルフレッド・ノーベルはその大資産の一部を年々賞金として科學、理想的文學及平和に最大の貢献をした人に提供した。鋼鐵王カーネギーは平和宣傳を促進するため多額の金を醸出した。露西亞のレオ・トルストイは椽大の筆を振つて大いに平和運動

に貢献した。活潑な非軍國主義的運動が急進家や社會主義者によつて各國に起り、平和運動は益々世界的に磐石の勢を以つて發展し、次いで世界大戰亂の慘禍は平和運動の目的貫徹の機運を促し、國際聯盟となり、軍備縮少となり巴里の平和會議とまで進んだのである。

○海牙萬國平和會議

武裝平和の組織を改善する目的で軍備事項を議する國際平和會議の召集は一八九九年五月十八日から七月二十日に至る間に行はれ、世界の五十九獨立國の中二十六ヶ國が開催地和蘭の海牙に代表を派遣した。これ第一次海牙萬國平和會議である。第二回平和會議は前露帝ニコラス二世と前米國大統領ルーズベルトによつて一九〇七年海牙に召集された。今度は四十四ヶ國の代表が集つた。平和會議の仕事は前會議の繰返して、海戦にも陸戦と同様人道的規則を適用し、また國際保護裁判所を設けた。軍備の制限に關しては幾多の議論のあつたに拘らず一つも議題には上らなかつた。要するに二回とも實効なくして不徹底に終つてしまつたのである。

## ○ヘーゲル學派

哲學上ヘーゲルの學派を云ふ。ヘーゲルは獨創の哲學系統を立て、あらゆる問題の解決を此の中に見出し得らるべき抱負を持つて居た。されば其勢力は獨逸のみならず全歐洲の學界を風靡した。然しその所說中には多くの難點を含んで居た。彼の没後この難點の解釋の異同によつて其學派中に分裂を生じたが、その論争點は主としてヘーゲルの所謂理性とは何であるかにあつた。理性を有意識のものとして基督教の教義に近寄らしめんとするものを右黨と稱し、シャルレル (Schaller) がその代表者である。又理性を無意識のものと解釋するものを左黨と云ひ、その主唱者として有名なのはフォイエルバッツ (Feuerbach) である。而して此派は稍無神論に傾いて居る。二者の仲間に立つものを中央黨といひ代表者としてはローゼンクランツ (Rosenkranz) がある。又ヘーゲルが「哲學史即哲學」を主張したことは大きな刺戟を思想界に與へ、其學派中に哲學史の研究に全力を注ぐ學徒が輩出した。獨逸が其豊富を誇る哲學史家は殆んどヘーゲルの影響を受けたものである。

## ○別荘行

資本家と労働者との絶わざる争議は現代の顯著な社會相である。官憲の壓迫は常に労働權の上に加はられ争議毎に檢束或は投獄の憂目を見るのは無産者たる労働者である。其處でブルジョア階級が住宅以外に別荘を構へて随時別荘行の快樂を味つて居るのに對し、皮肉家が労働者の随時監獄行きをすることを別荘行と名付けて通稱するに至つた。

## ○ペDESTリアニズム Pedestrianism

近代文明の弊風の一として、生活態様が著しく複雑となり頭腦の煩勞多きにも拘らず身體の運動不足のため都會人の大部分は消化器病者であるのである。交通運輸機關を極端にまで利用することが原因の一半をなしてゐる。されば宜しく吾人は天賦の兩足を利用し、能ふ限り交通機關に頼らずして徒歩し身體の保健發達に努むべきであるとの主張が起つた。徒歩主義とはこの主張を實踐せうとするのを根本的目的とするものである。

## ○表示主義 Theory of declaration

意思表示の效力に關して表示者の眞意よりも寧ろ外部に現はれた表示に重きを置く主

義で、意思主義と對立したものである。意思と表示との一致せない場合に、意思と表示とそれのいづれを根據として法律上の效力を定むべきかに就て、學說上意思主義と表示主義の争ひがあるが近世多數の立法例は折衷主義であつて我國でも亦之を採る。

#### ○標準生活費

人間としての體面を保持し、生活を維持し得るに過不足なき營養をとり而も外觀實質共に奢侈贅澤に陥らない程度の生活費で、凡そ個々人の収入度合によつて差異はあるが生活費統計によれば、住宅費は収入の概ね四分の一、食費は家族數によつて等差は出来るが収入の三分の一程度として居る。

#### ○ペラギウス説 Pelagianism

基督教神學に於ける人性論上の異端説であつてペラギウスに依て創唱されアウグステイヌスの人性觀又は罪業觀と正反對のものである。即ちアウグステイヌスが原罪説を唱へて人類はアダムの墮落の結果として生れながらに罪業深く到底自力の精進によつて救濟し得る望みなく、徹頭徹尾神の特恩に依らなければならぬと説いたのに反し、ペラ

ギウスは人間は本來罪業を有するものではなく、神の特志に倚るを要せない。自力の精進によつて可能である。聖靈の職能はたらきは單に人間の自力精進に援助と與へるだけである。ペラギウス説は自力精進を認めた點に於て確に倫理學上一段の進歩とも見做されるが、神の恩寵の根本的の必要を否定し、人間の更生に對する聖靈の職能を制限し、他力依憑の觀念を輕視した點は、宗教上異端説として非難せられる處で、自ら宗教上の効果を弱めたものである。

#### ○ベルグソンの哲學

佛蘭西現代哲學界の巨頭アンリ・ベルグソンの祖述する哲學を言ひ、十九世紀末の固却した唯物思潮、科學思潮に對する清涼劑として生れた積極的な唯心的な思想のうちでも殊に代表的なものであり、美しい韻に満ちた哲學上の新浪漫主義である。オイツケン、ゼームスの哲學等それ等新理想主義の哲學と言はれる靈の覺醒に基く思想の中にあつても、ベルグソンの哲學は最も早く現はれて他哲學者を感化した功績を有するものである。彼の哲學は別名『直觀の哲學』或は『流動の哲學』とも言はれてゐる。ベルグソンの哲

學の精髓は此二語の中に結晶されて居ると言ふも過言でない。我々の意識は平生外界の印象、物質から來る印象に依つて混濁され固定され、甚だ功利的なものとされて居る。だが其功利的な不純な意識は眞の意識ではなく、さうした固定的な意識を排除し去つた所に清朗にして明澄なる意識の姿がある。それが即ち純粹意識である。此純粹意識こそ我々をして全き人生の姿に接せしめ、精神を高め創造的なものを生む根底となるものである。言を換へて言ふならば固定的な意識或は知覺は「常識」であり純粹意識は「善識」である。此純粹なる善識の更に精選されたものを直觀であつて、我々は此直觀に絶えず心を充實さすがためには、奮闘と邁進とを続けなければならぬ。此直觀たるや一定の場所に固定して居るものでなく、刻々に變化し進化して居るものである。即ち直觀は流動を續けて居るものであつて、其直觀の流動しつゝある事は、應て吾人の生命が流動し昂騰して居る事であつて、我々は精神を統一し不斷の努力に依つて、直觀の流動を確把する事に於て、其處に初めて人生の光明へ近づく事となるのである。是ベルグソンが「意識の直接與件に關する論文」及「創造的進化」の二大代表作に於て説述した彼の哲學

の根本要旨である。

### ○ヘレニズム Hellenism

希臘主義と譯す。古名ヘラス(Hellas)から出た語である。文學美術上、ギリシヤ極盛時代の精神、流風を重んじ之を復活せしめんとする主義である。此の傾向は文藝復興期の頃に起因し、最近殊にギリシヤ研究が進歩しローマ時代の註釋、紹介によらないで直接にギリシヤの遺物遺跡により、古代の眞相を視知ることが出来る様になつてからは、非常の勢力を形成するに至つた。概言すれば、古典主義が更に一段の醇雅精選の度を加へこれに古代ギリシヤの黄金時代の澎湃たる英氣と情熱との加味せられたものと解することが出来る。又此の以外に西曆十二世紀の頃アレクサンドリヤに在住した一部族のユダヤ人がギリシヤの言語、風俗、文化を採用し全然ギリシヤ化せんとした時、その團體をヘレニスト(Hellenists)と云ひ、其の文化をヘレニズムと呼んだことがある。

### ○辯證法 Dialectics

之には種々の意義がある、初めは論理學と同義に解せられて、アリストートルがエレ

ア派のツェノンを辯證法の祖としたのは此の意義からであつて、プラトンの哲學にありても辯證法は一面論理學の意であるが他面には哲學形而上學の意をも含んで居る。その後カントも之に従ひ、ヘーゲルは之によつて一種の論辯法を示すものとし、同時に又形而上學的意義を持つものであるとしたのである。即ち所謂正、反、合の三段を経て論辯の進行する方法であつて、而も獨り辯論のみでなく實際世界の發展も亦此三段を経過するものである。正、反、合の三段とは正理、合理、反理で、相反する正理と反理とを調和するのが合理である。辯證の過程は一段を終れば、此の合理を正理と看做して更にその反理が生れ、又その合理が生じ究極する所がないのである。これヘーゲルの辯證法の形式である。

### ○變聲期

男子に於て第二性徴の一として思春期に表はるゝ聲調の著しく低下する時期。低下は約一音階に及び、俗に之を「聲變り」と云ふ。これ男子が此時期に達すると喉頭の前後徑に於ける發育盛に起り聲帶も亦從て急速に延長するためである。普通女子の聲帶の長

さは一〇乃至一五耗、男子は一五乃至二〇耗である。

### ○ヘーゲル(人名)

一七七五年獨逸ストットガールトに生れ、一八三一年虎列拉病に罹つて逝いた。其間教育は郷里のギムナジウム・チュービンゲンのセミナリーに受け、一七九〇年哲學博士となつて、先づ社會的の人物となつた。それより家庭教師、新聞記者、中學校長、ハイデルベルヒ及ベルリンの哲學教授と言ふやうな順序で職に就き、相當變化のある一生を送つた。彼ヘーゲルはカント、ヘーゲルと並び稱せられる獨逸哲學の大宗であり、近世哲學の巨星である。然らば其哲學體系如何と言ふに、近世哲學中彼程浪漫的色彩を帯びたものはなく、此宇宙の森羅萬象は絶對的理想或は理性に依つて統一せられ、其理性よりあらゆるものが發生して居るのである。従つて萬象の中には總て理性が潜在するものである。此理性が外に出でゝは自然界となり、内に還つては我の精神界となる。さうして是等理性は遂に圓滿なる全理想に到達するものである——斯く甚しくロウマンチックな且つ著しく唯心的なものであつたが、當時の浪漫主義風潮と和して、時代を支配する

かの如き勢力を有するに至つたのである。然るに科學思潮擡頭し、智的觀念の向上するに連れ、漸く彼の哲學は却けられるに至つた。

○ペーラーフェン(人名)

獨逸の大作曲家で凡そ洋樂に興味あるものにして彼の名を知らぬものなき程それ程彼の名は人口に膾炙されて居る。彼の音樂は形式美の上に超越して從來ロマンチック派の生ずる一因となつたもので、特に第三期のものは超人的天才の仕事として人類の最高藝術だと稱せられて居る。其九箇のシンフォニーは其形式、技巧、表情のすべてに就ては純音樂の最高なものとせられ、又室内音樂を極度にまで發達させたことは彼の功績である。彼の作曲は形式の優美なうちに十分な感情が發現せられ、實に香の裕な崇高な藝術の標本として扱はれてゐるのも當然である。

○ベルグソン(人名)

ベルグソンは研學に極めて眞摯であつた。一八五九年巴里で生れ、オイケン博士と同様幼時より非凡の才能を持つて居た人である。一八八九年三十歳にして「意識の直接與

伴に關する論文」を公表して博士號を得た。彼の著書中最も有名なのは「創造的進化」と題する一書で彼の名聲を一躍世界的ならしめ、所謂流動の哲學の創始者として現代思潮の代表、新時代の新人として將來を括目されるに至つた。

○ベルンシュタイン(人名)

唯物論を根據とするマルクス派の社會主義に慊らず反駁の第一線に立つた人である。此の一派は所謂修正派マルクス主義と稱せられ論争は一八九九年に始まつて居る。ベルンシュタインの『進化的社會主義』及『社會主義の前提と社會民主主義の任務』は此の派の思想を代表する名著である。マルクスは社會の進化、人類の歴史的發展の原因を遍に物質的要素即ち經濟的要素に歸して居るが、ベルンシュタインは、此の外に尙精神的面の活動と云ふ重要な一要素のあることを力説し、マルクス思想の根本たる唯物史觀を手酷く批判し、更に進んで凡ゆる方面からマルクス主義に内在する矛盾と缺陷とを剔抉してゐる壯士である。

○ベントム(或はベンサム)(人名)

シエレミー・ペンタムは英國の法律學者であり、且つ倫理學者である。ロンドンに生れ、父は富裕な商人であつたから、極めて完全な教育を受け、早くから其天稟の才力を發揮し殊に古典に興味を有し、文藝音樂の嗜好が深かつたと云ふ。オックスフールド大學を卒業してマスター・オブ・アーツの學位を得た。彼の研究は多方面であつたが、特に社會問題、倫理問題に力を盡し、有名な功利主義を創唱した。英國の行政制度、刑法民法、訴訟法等の改正は彼の所説の影響による所が甚大であつたと云ふ。

○兵站 戰場に於ける宿驛として策戦上又は交通線上設置するもので、軍隊の行動、人馬軍需品の補充、搬送等のため後方勤務として大切なものである。

○表決權 Right to vote 株式會社社員總會に於て議決とすることを得る權利。

○標準時 一國或は一地方と通つて共通に用ふる時、これを計る時計を標準時計と云ふ。

○ペーガニズム Paganism 異教主義、反基督教と奉ずる事。

○ヘア・ピン Hair-pin 髮針。

○ペーヴメント Pavement 鋪石、鋪道、アスファルト或はセメントなどで鋪かれた街路の事と言ふ。

○ページェント Pageant 郷土劇と譯されて居る。即ち歴史上の事件が行はれた其場所に於て、其通りの歴史上の

事件を脚色して演ずる芝居の事と言ふのである。例へば前年左團次が京都の知恩院の山門で信長に關聯した劇を演じた事があるが、それは數百年前其通りの事實と、其同じ山門で信長が舞舞つた事を演じたものである。是などは正しくページェントに屬するものである。是は最近坪内逍遙博士の熱心な唱道に依つて演劇界に行はれるに至つた近來の一現象である。

○ペシミズム Pessimism 厭生主義（其項に詳解）

○ペジニスト Pessimist 厭生主義者、悲觀論者。

○ベスト Best 最善。

○スター・ハウフ Batter-half 直譯すればよりよき半分と言ふ事。即ち女からは夫と、男からは妻と洒落れて言つたもの。

○ペダантиク Pedantic 街學的な、學究的なと言ふ形容。

## ○保安條例

我國近代に於て民間政論の沸騰その頂點に達した時代、即ち明治二十年十二月勅令第六七號を以て公布せられたものである。その内容を見るに、(一)秘密結社、集會の禁止、(二)屋外集會の取締、(三)一地方の公衆集會禁止、(四)新聞紙其他印刷物の發行は警察官の檢閲を経るを要すること、(五)銃器火藥刀劍類の携帶、運搬、販賣の禁止、(六)旅人には旅券を携帶せしめてこれを檢査すること、(七)内亂の陰謀、教唆又は治安妨害の虞ありと認むる者は皇居又は行在所を距ること三里以内に入出、寄宿又は住居するを禁ずること、(八)右違反者に對する罰則を規定した平時戒嚴警察令とも稱すべきものである。蓋し保安條例は舊法例であつて、明治三十一年法律第一六號を以て既に廢止されたものである。

## ○ボイコット Boycott

同盟排斥と譯す。もと一部の民衆が特定の個人に對し、社交及取引を謝絶して社會的

制裁を與へる方法を云つたもので、我國でも往時村落の慣習として行はれて居た村八分と云ふものと同様である。此名稱の起源と變遷に就て略述すれば、その起源はアイルランドの一地主の支配人であつた大尉ボイコットが、一八八〇年郷人から交際を謝絶された事件に基くと云ふ挿話より初つて居る。然るに後には労働者が同盟して就業を拒む所謂同盟罷工を本義とし、更に資本家が労働者に對して雇傭を拒み或は他の資本家に對して取引を拒絶すること、或は一部の人民が同盟して自己の要求を容れぬ資本家、又は商人の賣品に對し、其購賣を中止してこれを苦しめる方法をも意味するに至つた。最近歐洲大戦中イギリスが主唱者となり敵協商國又は其國民の關係した商業又は其他の事業に對して、聯合國の合同ボイコットを企てた如きは其最大規模のものである。之によつてボイコットは政治的にまで發展した理である。

## ○包含哲學 Immanent-philosophy

内在哲學とも云ふ。直接に興へられた事實に基く哲學、又は純粹の經驗に基く哲學である。包含哲學の特徴は一切の實在を意識内容、即ち意識に包含されてゐる要素に還元



して意識の性質よりして世界を説明せんとするにある。此説は輓近獨逸にて唱導されたもので、シュューベルト・ゾルデルン、シュツペ等は其主要なる主唱者である。此の學説は一名意識一元論とも云ふ。

#### ○法權主義 Ultramonialism

羅馬舊教會に於て法王の權力を重視して、單に宗教上に於てのみならず政治上に於てまでも、至大の權力を有せしめんとする主義傾向を示す語である。

#### ○封建制度 Feudalism

君主の權力が衰へて部下の貴族若くは豪族が跋扈し、群勇割據の状態となつた政體を言ふ。此の制度は東西諸國を通じ文化の過程として現はれて來たものであるが、歐羅巴の如きは中世紀に存在し、支那にては古代に行はれた如くその時代必ずしも一致せず、又その事情に至つては更に複雑なるものがある。而もその間に見出される多少の共通點がないでもないのである。即ち君主の統治すべき土地が諸侯（貴族、豪族）の私有状態となり、その中の權勢あるものは多くの部下を養ひ之等に領地を分與し、彼等とその部

下とは主従關係によつて結ばれ、納税兵役、勞役の奉公義務を部下に負擔せしめて益々勢力を張り、君主の勢力は益々式微を極むると共に、部下及領民に對しては諸侯自ら君主權を行使し、各自意のままに號令を發し割據の状態となつたものである。これ封建制度の通有状態であつて、戰國時代の不安定な社會相の生み出した政治的變態に外ならぬ。

#### ○奉直戰爭

大正十一年曹錕を首領とし吳佩孚を將軍とする直隸派と、張作霖を頭目とする奉天軍との支那内亂の戰爭にして、この戰は最近支那での一大會戰であつた。戰因は奉天軍と交通系とが提携して、交通系の首領梁士詒を國務總理に推した結果、北方の天下を我物と心得ている直隸派が納まらずして、奉天派を庸懲せんとしたのに端を發しているのである。戰爭の結果は、最初は奉天軍の形勢有利であつたが、途中より直隸派が奇勝を博して、奉天軍は散々の爲體となつた。其結果奉天軍は北京議會に於ける發言權を失なふに至つたけれど、其繩張りたる東三省に於ける地盤は依然安固であつた。最近（大正十三年）又もや支那では諸派が動亂を起して、複雑な戰爭をおつ初めて居る。

## ○法定準備金

株式會社が社の利益を配當するに當つて法律上豫め定められた金額を積立つるものと言ふのである。實際上會社は毎年の收益金額の内より若干の割合を以て積立をするのが常態であるが、法律を以て之を強制せなければ往々にしてその積立を怠り、會社の債權者を害するに至ることがある。これ我國に於て商法中に之に關する特別の規定を設けた所以である。

## ○報酬漸増の法則 Law of increasing returns

資本と勞力とを増すに従ひ生産費愈々減少し、報酬は遞次増加すと云ふ經濟上の法則なのである。農業に在りては報酬漸減法の行はるゝに反し、工業の多くは報酬漸増法が行はれるのである。即ち工業は大規模の生産組織により、分業と協業とを利用調節するを以て、生産費を愈々尠からしめ産額を増加し、報酬漸増の事實を現出するのである。但し此法則は絶對のものではない。原料を土地の生産物に取るものに就ては、原料の騰貴と地價の上昇との事由により、又需給の關係に基く市價の低落により、資本と勞力の

増加がある限界點を越ゆれば却つて報酬は遞減の現象を起すものである。

## ○泡沫會社 Bubble-company

經濟界の景氣が急激に膨脹し、好調子となり株式その他物價の奔騰をみる時は、人間の射利心を巧に捉へて一擲千金を企てんとして、往々基礎の薄弱な會社が續々と創設せらるゝものである。而も是等は一時の好況に乗じたる實力乏しきものなれば、經濟界一朝にして不況とならば維持する能はずして多くは忽ち崩壊するものである。恰も泡沫の生じて忽に消滅するに似ている所から泡沫會社と云ふ名があるのである。歐洲大戰當時船價軍需品の大暴騰を來すや造船、軍機製造業の諸會社民間に續出したれど平和回復と共に斯業不況に陥り歴史的基礎あるものゝ外は皆破滅したる如き好一例である。大阪市の如きは戰亂の好況時代には造船業大小二百三十餘而も現今殘存せるもの十餘に過ぎずと言ふ、以て泡沫會社の果敢なきを知るべきである。

## ○放浪生活主義

人生就中現時の社會に對して眞に満足する事能はざる結果、疑惑と不満を生じて安住

を失ひ、人間性の孤獨と寂寥の感に堪わかねて、地位財産を棄て、家庭を持つことを厭ひ、處々を轉々流浪して行くことに一つの道路を見出そうとするもので、懷疑的な近代人の生活様式の一特長である。放浪生活を浮浪生活と云ふこともあるが、之は多少意味を取違わたもので、浮浪生活とは別段に動機や主義はなく定住定職なく只人生を無爲にさまよひ渉る生活と言ふ方が適當してゐる。

### ○忘我 Ecstasy

フィロソフ及び新プラトン學派の解脱的精神状態を示す語である。宗教的観想によつて我を忘れて直接に神明に合體し、神に充され、神の中に還没し、意識を離れ肉體の形骸を脱した境涯である。

### ○暴利取締令

市價の激變、特殊貨物の生産の激減等に際し直接影響を蒙むるところの貨物を買占め或は賣惜み等によりて市場を攪亂し一舉に巨利を占めんとする奸商に對する膺懲であつて、先づ戒告を與へてその行爲を制禦し、尙反省なき場合は體刑又は罰金刑を課せんとす

する取締規則のことである。

### ○ホーム・ブリュー Home Blue

愛蘭の獨立自治權を獲得せんとする政治的運動で、一八〇〇年英國の宰相ピットが悪辣な腐敗手段によつて愛蘭のダブリン議會に統一條令を通過せしめたことに端を發し、一九二〇年に至るまで屢々烈しい革命的内亂が繰返されたのである。ホーム・ブリューの運動は二つの黨派となつて現はれ、二つの全く違つた方法を以つて愛蘭三大問題を解決せんとしたのである。即ち、經濟的には英國議會によつて沒收された土地を舊所有者に回復すること。宗教的には新舊兩教を平等にすること。政治的には統一條令を撤廢して愛蘭議會を再興することである。穩和派は立憲的に排舊教法を撤廢し、英人地主より土地を買上げ、英國王室の下に愛蘭の自治政府を建てんとし、平和運動を主張し、革命派は、自治は眼中になく國家的獨立を冀望し、英人の土地を買収でなくて沒收を主張した。革命派は強く腕力主義を信じ恐嚇及革命によつてのみ愛蘭の正義を斷行し得ると信じた。不幸にして英人が愛蘭人の渴望に無關心であつたため、愛蘭人に對する同情心

の缺乏によりて、事件を益々險惡ならしめ、腕力主義の主張を眞理なるが如く思はしめた。これ一九二〇年まで頻々として起つたフェニアニズムやシンフェーン(其の項参照)黨員の革命的擾亂がそれである。愛蘭の處理は英國政治の大失敗の一つであると言ふてよいのである。

○ボーイ・スカウト Boy-scouts

少年義勇團、或は少年斥候團と譯して居る。英國の陸軍中將バーデン・パウエルが初めて創唱して組織するに至つたもので、其主旨は少年兒童に社會奉仕、國家奉仕の公共的服務をなさしめんとするもので、其組織は總て軍隊に則つて居る。我國でも數年前より是が組織を見、本部を東京に置き、近衛侯爵、後藤子爵、三島子爵等が是を指揮引率し、全國大都市の兒童を参加せしめて居る。

○保護干渉主義 Protective system

國內に於ける生産保護の目的上對外貿易を抑制し、外國商品の輸出入に關し一定の手段を採ることを必要とする外國貿易上の主義である。蓋し外國の競走に對して一定の手

段を採らなければ幼稚な國內の産業は萎靡不振に陥り、終には自國消費貨物を外國品に仰がなければならなくなり、延ては獨立を脅すこととなるからである。この主義による政策の起源は學者の所謂マーカントイル・システム(重商主義)を採つた政策に始つてゐる。保護干渉手段としては輸入品に對する關稅の賦課である。此の關稅を特に保護稅と云ふその主なる目的は既存産業を同一外國産業に對して保護すること。新興産業を同一なる既存外國産業の妨害威嚇から救濟してその發達を助成すること、の二點である。

○保護稅 Protective duty

自國の産業を保護する目的を以てこれと同種の外國輸入品に課する關稅。かくの如く課稅すれば外國品はこの輸入稅のために當然内地での市場價格が高くなり、内地品との競走が困難となるか、又は全然不能となり國産品は保護せらるゝこととなる。此保護稅賦課は國內産業獎勵策として相當に效果あるものである。

○ポスト・インプレッションニスト Post-impressionist

後期印象派と譯す。(其項に詳解す。)

○保稅倉庫 Bonded warehouse

輸入手數未済の外國貨物を保管する倉庫。保稅倉庫に保管されてある間は貨物は未だ輸入完了と云ふわけではないが、荷主は輸入税を支拂ふことなくして賣却が出来、買主は必要の時輸入税を支拂ひ貨物を引取ることが出来るから商工業者にとつて便益が少くない。我國の保稅倉庫法によると、保管期間は二年、關稅は最初入庫した時の貨物の性質、數量によつて之を徵收する定めである。此の種の倉庫は官設の外に私設をも特許し兩者共に記名の預證券を發行して貨物の流通に便益を與へて居る。

○母性保護論

婦人は母性の保護を國家に仰ぐ權利を持つて居ると同時に、國家は之を保護する義務があると説く主張にして、瑞典のエレン・ケイ、米國のドレル夫人、英國の小説家ウェルス等の唱導するところである。我が國の山田わか女史も母性保護の熱心な主張者である。小兒は母の手に抱かれて居て始めて完全に發育する、故に母親が經濟的非境に陥れば小兒はその身體と精神とに大なる影響を受ける、小兒の完全な哺育には母親の經濟上

の安定がなければならぬ。と云ふのと、結婚せずして母となる所謂道德上の不具者の出來る原因は、人間が性慾期に達した時、直に結婚し得る様な經濟上社會上の地位に置かれてないからである。と云ふ二つの力強い主張のもとに母性保護論を唱へるに至つたものである。ウエルスの主張する母親年金説は、兒童教育に就ては母親自身が之に當るべきで、その爲には國家が母親に年金を與ふべきであると言つて居る。

○沒利害的動作 Disinterested action

無關心的動作とも云ふ。自己の快樂若くは利害の念によつて支配されない動作を云ふ。嚴密な意味に於ける沒利害的動作の存在するや否やは英國倫理學者間の論争點である。主我説の主張者は之を否定し、直覺説の主張者は之を承認してゐる。(主我實現説、直覺説、各其項参照)

○ボヘミアニズム Bohemianism

簡易生活主義或は轉化して放縱生活主義と云はるゝもので、特に學生、美術家、作家、俳優等が生活様式に對して無頓着な放縱生活をするを特にボヘミアニズムと云ふが

一般には趣味や慣習に拘泥しないで自由放縦な生活様式をとる主義を指すものである。十五世紀の頃生活様式の極めてやかましい佛蘭西にボヘミア人が始めて来た時、風俗習慣が極端なまでに差異していたために、生活様式が華美奢侈で形式張つた佛蘭民から嘲笑的の意味で名づけられたものである。

○ボランタリズム Voluntaryism

非國教主義或は教會獨立主義と譯す。非國教主義或は教會獨立主義とは、教會はその維持を全然隨意寄附金に委ぬべきであつて、國家に依て特許された寄附財産によつて支ふべきものでなく、又教會維持管理も當事者の處理に放任すべきもので、國家の官憲によつて制馭せらるべきではない。と云ふ英國獨立教會派の意見である。

○ボルテイシズム Vorticism

二十世紀の初期にあつて、文藝及繪畫、彫塑の上に起された未來派系統の藝術運動に名られた名稱である。ボルテックス(渦線) Vortex と云ふ語が、初めて伊太利人カラーによつて未來派藝術家の特殊な情緒状態を表現すると言ふ説明に用ゐられて後、實際運動

としては英國がその本元となつたのである。その特徴は、從來の寫象に就ての種々の問題に拘泥することなしに、自然の幻想的、な表現をある特別なリズム(律動—調子)によつて形の上に再生することを主張する點であつて、點と直線とのリズムによる意匠を用いたものである。ボルテイシズム運動の前驅者は有名な、ウインドハム・レービス Windham Lewis である。

○ボルシエビズム Bolshevism

過激主義の事。(過激派及過激主義の項に詳説)

○ホワイトハウス White house

亞米利加合衆國ウオシントンに於ける大統領の官邸。別名をエクゼキユティブ・マンション Executive mansion と云ふ。建築は石造二階建にして、白堊を以て塗り、玄關はイオニア式である。ホワイトハウスとも又我國にては之を白堊館とも言つてゐる。共にその外觀から名づけた名稱である。

○本體論 Ontology

實在の終極の本性を研究する學で、兩様に解釋することが出来る。一は思考又は認識能力の性質を研究するところの認識論に對して、他は思考又は認識された實在の本性を考究する學を指すと解することが出来る。斯く解すれば本體論は形而上學或は純正哲學と言ふこと、同一義となる。次に等しく實在を考究する中にも、萬有の關係を考究するもの即ち狹義の宇宙論に對して、萬有の本性を研究するものを指すと解することが出来る。斯く解すれば本體論は形而上學の一部となる。原子論、單子論、汎神論等がそれである。

○本能的道德 Instinctive morality

外見は道德的行爲の様であつても、其實何等の意識的選擇によつたものではなく、本能的に起つた動作を指すのである。即ち本能的道德は、毫も道德の意識なく、善惡の區別の辨識もなく、従つて善を善として選擇せずして起つた行爲である。

○本能充足(満足)主義

本能とは學問や經驗によらない天稟の性能の意で、一定の目的もなく又目的を遂行す

る豫備的知識もなく、只情緒の湧くまゝにその命するまゝに行動する性能を云ふのであるが、本能満足主義とはこの人間自然の情緒の命するまゝにその要求を満足せしむることが人間生活の本義であると説くものである。美的享樂主義、半獸主義、自然主義中のあるものは之に屬する。

○ポアンカレ(人名)

佛國の前首相。前大統領のクレマンソーと並んで、現代佛國の双翼とも言ふべき政界の大權威である。元來新聞記者上りであるが、其論説は頗る重大視され、一度び彼が猛然筆を取つて攻撃を開始すれば、如何なる金城鐵壁の内閣も倒るゝのほかなかつたと言ふ。人恐れて彼を「内閣破壊者」の異名を以つてした程である。大正九年以後、大戰後の難局を引受けて佛國の國政を宰して居たが、彼も又對獨強硬政策を執る者であつて、あのルール占領の快舉は彼の決斷に出でたものであつた。今は左黨に政權を委ねて居るけれど、老ひて益々旺んなる彼はいつ又捲土重來するや期し難いものがある。

○ホイットマン(人名)

近代民衆主義思想を高調した思想家的詩人として、民衆藝術の第一人者として、乃至散文詩の創始者として、ワルト・ホイットマンは思想界にも文學界にも特色ある色彩である。一八一九年ウエスト・ヒルスの小村に生れ、寄稿家、雑誌記者、演説家として一生を送つた人である。一八五一年第一詩集「草の葉」を發刊するや、世界からは嘲笑を以つて嘲ひられたが、端なくエマアソンの推賞するところとなつて、俄然社會的名聲を博するに至つた。温情に富んだ美しい人格者であつたため、人々から非常に愛慕せられたが一八九二年遂に逝いた。

## ○ホー(人名)

由來輕浮なる亞米利加の作家、思想家の中にあつて、最も世界的に勢力を有ち、近代的に價値を認められて居る文人は、エドガア・アラン・ポーを以つて第一に推さなければならぬ。彼は一八〇九年米國ボストン市に生れ、其両親は二人とも俳優であつたが彼は三歳にして孤兒となり、叔父なる人に養育された。其一生は放縱と無頼に満ちた憂鬱な、不倫な生涯であつた爲め、オーソドックスな國人には餘り喜ばれず、反つて外國

文壇から尊敬せられ、ポードレルやドストエフスキーを深く感化したと言はれて居る。近代神秘主義、頽廢主義、象徵主義等の新しい主義は其源を皆ポーに發するとまで言はれてゐる。一八四九年或る居酒屋で人事不省に陥り、其體息を引き取つて逝つてしまつた。彼には陰鬱怪奇な幾多の詩及短篇小説が残されて居る。

## ○ポールドウ井ン(人名)

英國保守黨(統一黨)の首領、兼ねて前内閣の首相であつた。大正十年ロイド・ジョージ内閣に商務省總裁たり、十一年にはボナーロー内閣に大藏大臣たり、十二年には初めて自分の内閣を組織するに至つた。英國の保守的思想を代表する大政治家である。

## ○ホツプス(人名)

英國の著名な哲學者で、且つ法學者であつた。トマス・ホツプスと言ふ。一五八八年英國に生れ、一六七六年に逝つた。彼は哲學上では機械的唯物論を、倫理上では利己主義を、政治上では民約主義的國家論を奉じたる人である。

## ○ポツカチオ(人名)



近代民衆主義思想を高調した思想家的詩人として、民衆藝術の第一人者として、乃至散文詩の創始者として、ワルト・ホイットマンは思想界にも文學界にも特色ある色彩である。一八一九年ウエスト・ヒルスの小村に生れ、寄稿家、雜誌記者、演説家として一生を送つた人である。一八五一年第一詩集「草の葉」を發刊するや、世界からは嘲笑を以つて嘲ひられたが、端なくエマアソンの推賞するところとなつて、俄然社會的名聲を博するに至つた。温情に富んだ美しい人格者であつたため、人々から非常に愛慕せられたが一八九二年遂に逝いた。

## ○ボー(人名)

由來輕浮なる亞米利加の作家、思想家の中にあつて、最も世界的に勢力を有ち、近代的に價値を認められて居る文人は、エドガア・アラン・ポーを以つて第一に推さなければならぬ。彼は一八〇九年米國ボストン市に生れ、其両親は二人とも俳優であつたが彼は三歳にして孤兒となり、叔父なる人に養育された。其一生は放縱と無頼に満ちた憂鬱な、不倫な生涯であつた爲め、オーソドックスな國人には餘り喜ばれず、反つて外國

文壇から尊敬せられ、ポードレルやドストエフスキを深く感化したと言はれて居る。近代神秘主義、頽廢主義、象徴主義等の新しい主義は其源を皆ポーに發するとまで言はれてゐる。一八四九年或る居酒屋で人事不省に陥り、其體息を引き取つて逝つてしまつた。彼には陰慘怪奇な幾多の詩及短篇小説が残されて居る。

## ○ボールドウ井ン(人名)

英國保守黨(統一黨)の首領、兼ねて前内閣の首相であつた。大正十年ロイド・ジョージ内閣に商務省總裁たり、十一年にはボナーロー内閣に大藏大臣たり、十二年には初めて自分の内閣を組織するに至つた。英國の保守的思想を代表する大政治家である。

## ○ホツプス(人名)

英國の著名な哲學者で、且つ法學者であつた。トマス・ホツプスと言ふ。一五八八年英國に生れ、一六七六年に逝つた。彼は哲學上では機械的唯物論を、倫理上では利己主義を、政治上では民約主義的國家論を奉じたる人である。

## ○ボツカチオ(人名)

ダンテ、ペトラルカと並び稱せらるゝ、伊太利の小説家。フィレンツェの富裕な商人とパリーの貴族の寡婦との間に生れた私生兒である。父の爲にナポリに送られて修學中ロバート王の私生女王マリアの愛寵を受けた。此關係は彼の詩作に大なる影響を與へたと云ふ。一三四九年父の没後彼は専ら學術の研究及詩作に従事した。彼の代表的傑作は、デカメロン(十日物語)で、其中の百話は滑稽、諷刺に富み、餘蘊なきまでに人情風俗を活寫して居る。その往々卑猥に走り淫靡に流れたのは蓋し當時の社會の罪であらう。此の物語は殆んどすべての國語に翻譯せられるの盛名を馳せた。猶彼は此の外に多くの抒情詩集を著してゐる。彼の作はすべて教訓的象徴的な中に戀愛の機微に徹したところが著しき特色である。

○保安林 Protective forest 一定の土地に於て、林木の存在が公共の安寧と保全するために必要な場合、國家は或る程度まで其森林の利用を制限し或は禁止することがある。かゝる森林を保安林と云ふ。

○保安委員 Committee of Public safety フランス大革命の際、公安維持の目的の爲に置かれた委員會の委員。

○ボイラー Boiler 釜、汽鐘。

○ポインツマン、Pointman 鐵道の轉轍手。

○ポイント Point 地點、箇所、印刷のポイント活字。

○法系 Legal genealogy 甲國の法と乙國の法との間に存する系統。

○法貨 Legal tender 國法により強制通用力を公認せる通貨。貨幣の強制通用力を認むるは國法に依るより外はないのである。經濟上の貨幣又は慣習上の貨幣は國法により通用するものに非ざると以て法貨と云ふと得ず。

○法人 Juristic Person 自然人にあらずして法律上權利能力を認められたるもの。或共同の目的を有する人の團體及び或目的に供せられた財團は法律上個人として獨立し權利義務の主體たることを認めらるゝ、これを法人と云ふ。

○放牧式 家畜を放飼ひにして飼育する方法。

○法定利息 Legal interest 法律の規定によつて定められた利息。約定利息に對して云ふ。民事上の債權に就ては年五分。商事上の債權は年六分である。

○法益 法律上保護せられてある利益。この法益に對する侵害は各種の犯罪又は民法上の不法行爲を成立させるものである。

○法律的應報主義 刑罰と應報なりと認め、而も神意若くは道德の命令による應報ではなくて法律の命する應報なりと解する主義。

○貿易風 Trade winds 熱帶地方に吹く季節風で年中其方向略ぼ一定してゐるもの、往時印度から極東へかけての貿易によく利用されたより此の名がある。

(水)

七五六

- ボーナス Bonus 賞與金、臨時配當金。
- ホーム・イン Home-in 野球用語。走者が本壘に生還する事。
- ホーム・シック Home sick 懐郷病、故郷を戀ふる心。
- ホーム・ベース Home-base 野球用語。本壘。
- ホーエツト Poet 詩人。ホエトリイは詩情、詩趣、詩學の事。ホーエムは詩。ホエチカルは詩的なる。
- 朴素的 Native 本来は「生なまな」又は「質朴な」を云ふ意味の語であるが、術語として用ゐらるゝ場合は「學術的の研究に基づかない」「學問的の考察を經ない」と云ふ意味である。
- ポケット・マネー Pocket money 小出錢、小遣錢。
- 保佐人 準禁治産者を輔け、ある一定の場合その行爲に完全なる效力を生ぜしめるために同意と與ふる後見者と云ふ。
- 補佐人 民事訴訟に於て當事者の陳述を補助するもの。
- 保釋 保證金を差出しめて、刑事被告人を未決監より釋放すること。
- 補助貨 本位貨幣の用を助ける小額面の洋貨と云ふ。
- 歩哨線 警戒の最前線、即ち前哨たる各歩哨を連絡する線である。
- ボス Boss 親方。

- ポスター Poster 圖案ある廣告の貼札。印刷圖案。
- 保全處分 破産の宣告があつた場合、破産者の財産の分散と豫防するための處分。
- 補箋 裏書の餘白なき證券手形等に貼附して之に裏書とする附箋。手形の保證、拒絕證書の作成にも補箋を用ゐることがある。
- ホニー・ムーン Honey-moon 直譯すれば蜜月。新婚一箇月ばかりの期間があまい幸福に満ちて居るころより其期間の事と言ふ。
- ポピュラー Popular 通俗的な、一般的な。
- ポリシー Policy 政策、政略。
- ポリチカル Political 政治的の。
- 本位貨幣 一定の金屬の品位及量目と公定して鑄造し、無制限の通用力と有せしめた法貨。
- ポリース Police 巡查。ポリース・オフィスは警察署。駐在所。

(水)

七五七

## ○馬克相場

世界に貨幣の存して以來、歐洲大戰後に於ける獨逸の馬克紙幣程急激な慘落を演じたものはあるまい。其低落率は大正十二年三月には一弗約二萬二千馬克、同六月には一弗約八萬、十四萬馬克、同八月には一弗約十八萬馬克と言ふ有様であつて馬克紙幣の値打のない事、恰も反古紙同様であつた。斯る大低落の原因は、獨逸の歐洲大戰の敗戦の結果其國內經濟界が極度に窮迫し、のみならず莫大な賠償金を負擔させられた結果に依るものである。

## ○マキャヴェリズム Machiavellism

元伊太利フロレンスの政治家マキャヴェリーの政治上の主張に基く主義をマキャヴェリズムと言つたのであるが、現在では一般に極端な權謀術數を構する遣口を稱してマキャヴェリズムと言つて居る。それはマキャヴェリーの持論なるものが、國家の利益のためには德義の如何に關はらず、いかなる術策を講ずるとも差支へない、目的さへ善であ

れば、手段の如きは目的に依つて自ら淨化されるものであると言ふ權謀術策本位の説であるがためである。一見逆理の如き觀ある彼の説は、當時伊太利政體の政教併立の弊政を痛感したためであつて、彼は羅馬法王の干渉を絶對に排し、君主專制の實行さるべき事を極論したのである。そして彼が君主專制論を主張する所以のものも、彼の國家至上主義の觀念に基くものであり、權謀術策主義を主張する所以のものも又國家至上主義の思想から出で來つたのである。然しながらマキャヴェリズムの主張の如きは、舊式な政治家には喜ばれても、進歩した公明な政治家の快しとせない所である。だからクロボトキンを始め近代の新思想家は皆此主義を一笑に附して居る。

## ○マゾキズム Mosochism

近代の生んだ病的性慾の一種である。サディズムが異性を虐待して性慾的快感を味はうとするに反し、是は異性に虐待されて性的快感を貪る色情狂である。元伊太利の作家ザツケル・マンツホが其小説中に斯の如き徵候の甚しい人物を描いた所から斯る名稱を生ずるに至つた。我國の小説家谷崎潤一郎の如きは、此マゾキズム式の人物を旺んに描

いて、名を賣出したものである。

### ○末梢神経

人體の内で腦、脊髓、延髓等は中樞であつて、髮膚、皮肉等身體各部に渡つて網狀或は枝狀をなして居るものは末梢である。其末梢内に傳はる神経が末梢神経である。末梢神経の鋭敏なものは、些末事に對しても鋭く心を動かし、甚しくなると猜疑、恐怖、不安に驅られる。往昔の人間、或は地方の人間は、此末梢神経が遅鈍であるが、近代人或は都會人は此末梢神経の發達せるが特徴であつて、頽廢派、象徴派の藝術家は殊に其度が甚しい。

### ○マンチエスター派 Manchester school

英國第一の商工都市マンチエスターを本據とし、自由貿易主義、自由競争主義を主張せる經濟學者の一派を言ふのであつて、十九世紀スムス學派と相呼應して、英國の海外貿易や商工業をして異數の大飛躍をなさしめたのは、此マンチエスター派であつた。

### ○マラソン競争 Marathon race

西暦前四九〇年、希臘の亞典軍と波斯軍とは激烈な大會戦を演じたが、遂に亞典軍の大勝する所となつた。其時亞典の一兵士は、一刻も早く味方の勝報をマラソンの市民に傳へんが爲に、息もつがずに驅けつけ、報告の終つた利那其場に絶息した。マラソン市は亞典より約二十二哩東北に當る希臘の海岸にある市邑である。マラソン競争の名は此故事を引用して附せられたものであり、運動界に於ける長距離徒歩競争の事を言ふ。現今其距離の標準は二十六哩三八五碼である。近頃水泳其他徒歩競争に於て長距離以外の競争をもマラソン競争と言つて居るが、それは嚴格に言へばモディファイド・マラソンレース即ち變形マラソン競争と言ふべきである。

### ○マルキシズム Marxism

マルクス派社會主義の事を言ふ。近代社會主義の元緒はマルクスであつて、現在の社會主義の大部分は彼の『唯物史觀』『資本論』に立脚して主張せられて居るものと見做して好い。斯くマルクスの主張を其儘受入れて居る社會主義が即ちマルキシズムであつて、露西亞のボルシエヴィキの如きは其代表的なものである。

## ○マアテルリンク (人名)

モウリス・マアテルリンクは現代の神秘主義を代表する第一人者である。併せて世界戯曲壇屈指の大家である。彼は西暦千八百六十二年白耳義南方の佛蘭西語使用の地域に生れた(白耳義の南北南部は言語を異にし、前者は獨逸語を、後者は佛蘭西語を使つて居るのである)。「小兒殺戮」と言ふ短かい散文を處女作として巴里の文壇に現はれ、次いで詩集「温室」を公にし、一幕戯曲「マリイヌ姫」を世に問ふに及んで、彼独自の静劇スタチック・ドラマ(其項参照)の手法を認められ、漸次「闖入者」「群盲」「七人の姫」「タンタヂイルの死」「アグラヴエヌとセリセット」「アラデンとバロマイド」「モンナ・ヅンナ」「青い鳥」等の傑作戯曲を續出し批評家ミルボウをして「白耳義の沙翁」と絶賞せしむるまでに盛名を馳せた。彼の戯曲、論集を通じて見られる所の傾向には、自然主義以後の總ての新思想を包含して居るかの觀があり、象徴主義、頽廢主義、新理想主義、新浪漫主義等は皆彼に許さるべき名稱である。然し彼の思想に於てわけても著しきは神秘主義の思想であるが、それに就いては神秘主義の項に詳しいから此處には省く事にする。又

彼の思想を歴史的に觀る時には、初期は悲觀的、宿命論的であつたが、後期に於いては餘程樂觀的、光明的に轉じて來たと言ひ得る。歐洲大戰當時、彼は獨軍が自國を無殘に蹂躪した暴狀を憤り、論文と戯曲に依つて獨逸の非を鳴らした。

## ○マクドナルド (人名)

保守の國、道德の英國にも時代の思潮は澎湃として漲つた。一九二四年一月、突如英國の内閣は、社會主義を信條とする労働黨に依つて占められたのであつた。其首相の印綬を帯びた人は、即ちラムゼー・マクドナルドであつた、蓋し英國政界の一大驚異でなければならぬ。マクドナルドは蘇格蘭の貧家に生れ、小學教師、倉庫會社の書記、下院議員ラッフ氏の秘書、獨立労働黨理事、下院議員と言ふ順路に依つて、遂に首相の位置を得るに至つたのであるが、彼は飽迄も主義の人、人格の人であり、英國無産階級の輿望を其一身に荷つて立ちたるの人にして彼の施政たるや終始民衆的乃至社會主義的であつた。然しマクドナルドが社會主義者であると言つても、一舉に資本主義を斃さんとするものではなく、現行議會政治の許に、輿論に従ひつゝ、徐ろに其持論を遂行せんと

するものである。故に英國の社會が其施設に反對するや、直ちに平和裡に桂冠したものである。此處らは社會主義でも英國流である。

### ○マルクス (人名)

カール・マルクスが近代思想界の巨人であり、近代社會思想の大源流である事は汎く世に知られた事實である。彼は猶太人の辯護士を父として、一八一八年獨逸ライン州トレフェスの町に生れたのであつた。彼の父はルツソーの崇拜者であつた程、當時の新思想家であつた。マルクスの思想は其年少時代父其人から直接に感化せられたのである。長じて彼はボン、伯林の兩大學に法律、哲學、歴史等を熱心に研究した。其青年時代あの唯物主義の權化の如きマルクスには、夢のやうなロウマンズがあつた。それは父の友人の娘であるイエンナーとの熱烈な戀であつた、イエンナーは美人の評判高い佳人であつたが、彼は遂に其戀に成功して蜜月の楽しい家庭を作つた。世に出たマルクスは一八四一年伯林大學の博士號を得、二十四の若者にしてライン新聞の主筆となつた。其頃から彼の社會主義的思想は漸く濃厚となり、紙上に其論陣を張つて執拗に政府を攻撃し、

遂にライン新聞は政府の爲に解散せしめられた。それと共に彼は巴里に去つて無政府主義の始祖ブルウドン及生涯の友エンゲルスと親交を結ぶに至り、實際的社會運動に携はるやうになつた。然るに一八四七年彼は「哲學の貧困」なる一書をもつて、ブルウドンに挑戦し遂にブルウドンと絶交するに至つた。其翌年彼は倫敦に於ける社會主義者の第二次總會たる共產主義同盟の主腦者として出席しエンゲルスと共に彼の有名なる「共產黨宣言」(其項参照)を發表したのである。後彼は祖國に於て新ライン新聞を主宰し、政府攻撃の火の手を揚げ、遂に舊ライン新聞と等しい運命に陥つた。然し之を機會に彼の有名な社會主義の經典とも言ふべき「資本論」(其項参照)の大著を執筆するに至つたのである。マルクス傳中の重要な時期は、此後に續いたのであつた。一八六六年には「萬國労働者同盟」を設立し、其理想實現の實際的運動に愈々歩を進めた。併し惜しい哉愛妻は既に逝き、身は貧に迫られつゝ、倫敦の客舎に佗しき死を遂げた。時に一八八三年三月一日であつた。マルクスの形骸は逝いたとは言へ彼の心は今や萬國の労働者の中に生き且つ育まれて居るのである。

- マイナス Minus 算術の引算の附號の事。又引き去る事と言ふ。それより借金及低能兒の事に轉用して使ふ。
- マイル Mile 英國の距離。一哩は五千二百八十呎。我約十四町四十五間餘。
- マーカントイリズム Mercantilism 重商主義、其項を見よ。
- マーキュリー Mercury 羅馬の商業の神。英語のマーチャンダイス(商業)の語は是より出づ。又天女で水星の事と言ふ。
- マーク Mark 記號、商標、點數。
- マーチ March 行進及行進曲。又三月の事と言ふ。
- マーブル Marble 大理石。彼女の肌は大理石のやうに美しいなどと言ふ。
- マキシム Maximum 最大額、最大數。
- マキシマリスト Maximalist 露西亞の民衆政治主唱者。
- マサー・アース Mather earth 大地の胸、母なる地上。地球を詩的に言ふ場合に用ふ。
- マジヨリカ Majolica 伊太利原産のマジヨリカ焼の陶器。我國にも最近是を模したものが旺んに造られ、灰皿、インキ壺其他の文房具に使用される。感覺的な焼に美しい彩色を施した藝術的な陶器である。
- マスク Mask (英語) Masque (佛語) 假面。野球で捕手の冠の面の事。又流感其他傳染病除けの口蔽ひ。
- マスター Master 主人、支配人。ステイション・マスターは驛長。

- マスター・オヴ・アーツ Master of arts 米國文學士。略して M.A. を綴る。
- マスト Mast 檣、帆柱。
- マストドン Mastodon 前世界の象の一種。舊大陸から時々其化石が発掘される。
- マダム Madam 夫人、奥様。
- マチネ Matinee 晝興行。音樂及演劇の藝術的なものに多く使はれる。帝劇、有樂座などが時々此名を冠して晝興行をやつて居る。(佛語)
- マツチ Match 機寸。試合。
- マドウモアゼール Mademoiselle 佛蘭西の未婚婦人に對する敬稱。何々嬢と言ふ場合に使ふ。英語のミスに相當するもの。
- マドロス Matros ホルトガル語で、水夫、海員等すべての船のりの事と言ふ。マドロス・パイプと言ふのは外國の水夫達が口にする太い煙管の事と言ふ。マドロスの悲哀などと言ふ本がある。
- マドンナ Madonna 聖母マリアの畫像。
- マニア Mania メニエムも發音する。狂症。
- マネー Money 金錢、貨幣。
- マネージャー Manager 支配人、監督。



○マンガン Mangan 赤色がかった灰色の金属。酸素の化合に依つて生じたもので、玻璃、陶器の染料に供せられ

○マンドリン Mandoline 琵琶に似た洋楽器。撥弦は手で彈奏する。明らかな美しい音が出る。

○マンネリズム Manerism ヤンナリズムとも發音する。同一技巧を繰返し繰返しする事。藝術創作では一の惡弊として排斥する。其他總て固疾、通有癖に對して言ふ。

○マンモス Mammoth イラストンなど、同く前世界に生息したと言ふ巨大なる象の一種。その化石が西伯利亞の氷層などに發見され、屢々博物學上の問題となつて居る。

【ミ之部】

○ミゼラブル Miserable

佛蘭西語で悲惨事、悲痛事と言ふ事である。此語が我國に流用するに至つたのは、佛蘭西浪漫派の巨頭ヴィクトル・ユーゴーの最大作にして、最傑作たる「レ・ミゼラブル」が故黒岩涙香などに依つて譯出され（譯名噫無情）旺んに讀書子に持囃された結果である。ユーゴーの「レ・ミゼラブル」はトルストイをして十九世紀の最大傑作であると言ふに及ばぬ。一種高邁なる人道的精神と、熱烈なる宗教的精神が作品を一貫し、讀者をして無量の感に捉はしめずには置かない程、力強い作なのである。小説の筋はジャン・バルジャンと言ふ善良な意思をもつ前科者が、前科者と言ふ名の爲に社會から様々の迫害や壓迫を受ける有様を描いたものである。一讀する者は人間の殘忍や、社會制度の缺陷と言ふ事が、惻々として吾人の胸に迫るかの如き感があるのである。

○未來派 Futurism

一九〇九年伊太利の詩人マリネッチに依つて創唱された藝術上の主張であつて、主と

して詩壇及美術界のイズムである。マリネツチ其他未來派の主張に依ると『物象と言ふものは一瞬一刻と雖ども静止して居るものではなく、絶えず活動を營んで居るものである。其活動及動搖のリズムを、作家の主観に依つて表現されたるものが藝術上の眞である』といつて居る。彼等は其主張を其儘詩作や繪畫の製作に實現して、あの旋回的な混亂した作品を發表するに至つたのである。此未來派の思想は現代の藝術界に多大の影響を及ぼし、是が獨逸に入つては彼の表現主義となり、佛蘭西に入つてはダダイズムとなつた。尙マリネツチの作『電氣人形』は未來派戯曲として有名である。

### ○ミリタリズム

Militarism

軍國主義の事、文教的施設よりも軍事的施設を第一義とする國策を言ひ、其國策の顯著なる國家を軍國主義國家と言ふ。軍國主義國家の特徴は、國帑の支出の多くを軍備國防に費し、爲政者の如きも武人が勢力を得、國民教育の如きも、軍事思想鼓吹に力を傾倒する。斯る政略の目的の歸結する所は、善く言へば國威伸長、富國強兵であるが、悪く言へば領土侵略の帝國主義となる。而して軍國主義は歐洲大戰前の國際的主潮であつ

て、其代表者は西洋では獨逸、東洋では我國であつたが、其弊は歐洲大戰となつて爆發し、今日は其反動たる平和主義時代の觀がある。同主義の代表的人物は獨のビスマルクモルトケ、トライチユケや我國の故山縣公等である、(軍國主義の項に詳述す)

### ○ミューズ

Muses

希臘神話にある音楽、藝術等を司るクリオー其他九つの神の總稱。常にヘリコン・バルナサスの山に棲み、アポロの指揮を受けて居たと言ふ。

### ○民衆藝術

従來から稱へられて居る民衆藝術と言ふのは、英語で言ふポピュラー・アーツ (Popular arts) の義にして、一般民衆の容易に理解し得るやうな平俗な藝術の謂である。新聞の挿繪小説や浪花節なども粗雑な意味で此種類に屬するものと言へやう。然し嚴格に言へば自覺した藝術意識を以つて着手されたトルストイの『子供の爲の物語』や『一般民の爲の物語』などを以つて言ふべきであらう。又最近我國文壇などで喧しく論議された民衆藝術と言ふのは、英語のプロレタリア・アーツ (Proletariat arts) に該當するものであつて

作家が民衆に熱い同情と深い理解を以つて、民衆それ自體の心となつて、民衆の社會的位置の向上や乃至民衆文化の啓發に努めんとする藝術の謂である。故に斯る作品は常に勞働者無産者を主題とし、其悲哀や苦痛を描くのが常である。此最近の意味で言ふ民衆藝術の代表的主唱者は正しく彼の佛國のロウランであつて、彼は其論文『民衆劇場』に於て判然と此事を唱道してゐる。又民衆詩人として名高い米のホヰットマンやトラウベルなどは、其詩作に於いて熱烈な民主精神を謳ひ、近代民衆藝術の顯著なるものとして有名である。

#### ○民主黨 Democratic Party

共和黨と相對立する米國の二大政黨の一つ。其政綱とするところは、地方分權、自由貿易である。一七八九年ワシントン大統領當時國務卿ゼファーンソンが其引率せる一派を以つて組織したのが、同黨創立の起源である。

#### ○民族自決主義

故ウヰルソン米國大統領は、大戰後のヴェルサイユ會議にウヰルソン十四ヶ條なるも

のを提案し、殊に其中に於いて弱小民族の獨立認定を強調し、爾來民族自決主義なる語は熾んに使用せられ、民族自決主義は社會の輿論となるに至り、且つ又其實際運動は世界の隨所に火の手を揚げ、愛蘭自治運動、埃及獨立宣傳、印度のスワラジ運動、猶太人のザイオニズム、壞洪國の分離等實に頻繁に行はれた。其中には成功せるものもあり成功せざるものもあるが、要するに歐洲大戰は民族に依り民族自身に依つて統治せんとする思想運動が俄かに擡頭したのである。是方今熾んなる民族自決主義である。

#### ○民族的民意說 Volksgeisttheoris

民約説と等しく法は人民全般の意思に基いて制定せられたのであると主張する説であるけれど、民約説の如く人民の契約に依つて成立せられたものであると主張しない。人民の習慣や感情が自然的に本能的に現はれた結果、法が生ずるに至つたのである。だから何時如何なる時に於ても、法は人民の意思が強制或は契約に依らず自然的に代表されて居るものであると言ふのが此説の要旨である。其代表者は獨逸のザビニーである。

#### ○民約説(民約論) Contrat social

偉人ジャン・ジャック・ルッソーは十八世紀の中葉、近代人の解決に俟つべき幾多の重大なる思想上の謎を投げ與へて逝つたが、其或者は浪漫主義となつて解決せられ、或者は民主主義となつて解決せられ、或者は社會主義となつて解決せられた。而して彼の重要所説「民約論」は何に依つて解決せられたか。それは十八世紀の佛蘭西革命にはかならぬ。一個机上の空論と輕んずる勿れ。筆の力、思想の力は斯る大事變を惹起せしむる偉大なる潜勢力を有つて居るのである。進化論が決してダーウインの創見でない如く民約論的思想は決してルッソー一人の専有ではなく、古代希臘のエピキュラス、プラトインの如き幾多の思想家は其萌芽をなし、降つてホッブス、ロツクの如きは稍々具體的なる是が前驅をなし(社會契約説參照)遂にルッソーに至つて大成され、完全化され、ルッソー独自の熱と力、に依つて時人に至大なるセンセーションを與へたのである。ルッソーの説く社會とは何んぞや。そは各人が其自由と平等とを保證して相約して成立せしめたものである。人間が孤立的であつた原始時代にあつては、各人は自由と平等とを享樂し得たが、群居生活を營むに至つて、財産の觀念が生じ、勞働の必要が生じ、自由と

平等とは稍々ともすると失なはれやうとした。其處で其自由と平等との確立を期さんが爲め各人は相結び、相約して國家を組織し、法律を制定し、君主を載くに至つたのである。故に國家も法律も君主も唯社會各人の契約を行ふ手段であつて、其國家や法律や君主が各人の平等と自由を脅かす時は其存在は否認さるべきである。即ちルッソーの主張は自由平等を實行するためにのみ社會組織は必要であると言ふのであつて、更に彼は其思想を徹底せしめて、遂に社會組織そのもの、即ち群居生活は人間不平等を惹起せしめた要因であるが故に、須らく我々人間は平等と自由の自然の状態に復歸せなければならぬと絶叫するに至つたのである。(一) 面彼の所説を人間不平等原因説とも言ふ

#### ○民主主義と民本主義 Democracy

我國では民主主義と民本主義とを混同にして、デモクラシーと稱して居るが、多數民衆に重きを置いて總てを行はんとする思想全體を民本主義と言ふのであつて、民本主義は其内の政治上の主義政策を言ふのである。嘗て米國のリンカーンが「人民の爲の人民の政治」と言ふ事を標榜した事があるが是應て民主主義の眞精神を言ひ現はしたものと

言ふ事が出来やう (デモクラシーの項に其詳細を盡す)

## ○ミユツセ (人名)

グヰネイと並び稱せられる佛蘭西浪漫主義爛熟期の代表作家。十七歳の時詩作をなし時の大家ユーゴーを喫驚せしめたと言ふ。一八一〇年に生れ、一八五七年に死んで居る彼は青年時代の耽溺生活が過ぎて晩年は頗る惨めだつたと言ふ。

## ○ミル (人名)

近世英國有数の倫理、經濟、哲學の學者であつて、其功利説は一世を風靡した。且つ近世婦人問題の先驅者としても有名である。一八〇六年英國聯想説の創始者ジエームス・ミルを父として英京ロンドンに生れた。初め法律を學び、東印度會社に奉職し、後下院議員に擧げられた。一八七三年死去。名はジョンスチューアートと言ふ。

## ○ミルトン (人名)

ダンテ、ホーマー等に肩を伍すべき英の大詩人。一六〇八年に生れ、一六七四年に死んで居る。「失樂園」は彼の名を千載に留めた世界的傑作である。「復樂園」は「失樂園」

程に好評ではないが「失樂園」の續編として廣く讀まれて居る作である

○民衆文化 プロレットカルトに同ト。

○民主主義 民本主義、民主政治、共にデモクラシーの項に詳し。

○ミサンスロビー Misanthropy 厭人主義(其項に詳説)

○ミサンスロビスト Misanthropist 厭人主義者、人間嫌ひ。

○ミス Miss 何々嬢、未婚の女子に冠して言ふ尊稱。令嬢。

○ミスター Mister 何々君、何々様。男子の名に冠して用ふる敬語、普通 Mr. の略字と用ふ。

○ミステーク Mistake 誤謬・間違ひ。

○ミセス Mrs. Mistress の略。何々夫人、何々のお内儀さん等、既婚婦人に對する敬稱として用ふ。

○ミソロジー Mythology 神話、神話學。

○ミッシェン Mission 使命、傳道。ミッシェン・スクール Mission school は傳道學校即ち宗教學校の事である

併し殆んど基督教附屬の學校と言ふ事になつて居る。

○ミニチュール Miniature 極細微畫。象牙又は羊皮紙などに描く。最近巴里などでは婦人の爪尖に是を施す

のが流行つて居る。(佛語)

○ミニムム Minimum 最小、最小限度。

○ミュージック・ドラマ Music drama 樂劇、オペラは聲樂を主とするが、是は音樂を主とするもの。然し多く下俗な趣味のものである。ミュージック・プレーとも言ふ。

○ニューチューアル・エイド Mutual aid 相互扶助の事。相互扶助論の項參照。

○ミラクル Miracle 奇蹟。

○ミリウ Mirew 環境、周圍。殊に小説繪畫等に於て、中心人物や、中心事柄と圍繞する状態と言ふ場合が多い。就中近代藝術はミリウの描寫を尊重するの風がある。(佛語)

○ミリオネア Millionaire 百萬長者、大富豪。

○ミリタリズム Militarism 軍國主義其項に詳説

○ミルク・ホール Milk-hall 牛乳を呑ませる事と主とする飲食店。

## 【ム之部】

### ○無抵抗主義

個人間に憎惡、嫉妬、憤懣等の惡感情が生じ、互に不愉快苦痛が生じ、人間生活を不幸に導くものは、人間に抵抗の本能があるからであり、其抵抗本能を放恣ならしむる時は、總て社會に種々なる争鬭、禍亂、罪惡を發生せしむるに至る。故に此社會を至善至美の平和境ならしむるは、一に此人間の抵抗本能を抑壓し、いかなる屈辱に對しても従順たらしむるにある。これが大體古今の思想を貫く無抵抗主義の思想であるが、其代表的提唱者を求むれば、上古に於てはナザレのキリスト、近代に於ては露西亞のトルストイ、現代に於ては印度のガンデーであらう。又熱烈なる社會改革家を以つて任じながら飽迄も暴力を否認する我國の賀川豊彦氏の如きも無抵抗主義者たるの名に恥ぢないであらう。キリストは山上に垂訓して曰く「上衣を求むるものには下衣をもとらせよ」又曰く「右の頬を打たれれば左の頬を向けよ」是或はニイチエの言ふが如く奴隸の道徳であるかも知れないが、斯くする事に依つて、人間心靈の淨化を期した彼のキリストは無抵

抗主義を人間救済の唯一手段と見做した聖人であつたと言へやう。然し我は平和を出さんがために來れりと思ふ勿れ。刃を出さんがために來れりと絶叫したキリストには、真理のため教義のためには、劍を取つて闘んとする熱烈なる意氣があつたのである。然るに十九世露西亞に現れたトルストイは寸微と雖も抵抗的精神の存在を許容せず、キリストの無抵抗主義的方面を口を酸くして強調し有名なる彼の五大戒律（禁慾主義の項参照）に依つて、徹底的無抵抗主義を主張した。故に世界の最も徹底的無抵抗主義者は彼トルストイであると言ひ得やう。又現在印度に於て熱火の如きスワラジ運動の矢面に立つて力闘しつゝある聖雄ガンデーの如きは、無抵抗主義の顯著なる人物として喧傳されて居る。彼の説く「真理の把握」の教義は、真理のため信念のためには、相手の憤怒と懲罰とを賭しても、最後まで其主張を述べ、若し容れられずんば、決して相手の課刑、懲罰に抗せず、甘んじて受難に就けと言ふのであつて、一面彼の精神はキリスト教の抵抗的精神の復活であるが。然も窮極は生命をすら惜まざる極端なる無抵抗主義である。此無抵抗主義に準じて彼は飽迄も非暴力、非協力主義を原則として、印度の獨立運動のため

に獅子吼して居るのである。

#### ○無賠償主義

交戦の結果に置いて、從來戦敗國は戦勝國の戦費の賠償をなすべきものと假定されてあつたが、今次大戦に當つて、右の如き假定を實行せんか、戦敗國は其負擔に耐へずして、滅亡するより仕方なく、又その要求に應ずるだけの能力もないと言ふ理由に基いて勞農露西亞が主唱した戦費の無賠償の聲明を言ふのである。ヴェルサイユの講和會議は人道的精神より幾分此無賠償主義が是認せられた傾向があつた。戦後賠償金問題に於ける獨逸の賠償不圓滑の如きは、暗に無賠償主義を實行して居るものと見られて居る。尙無賠償主義は非賠償主義とも言つて居る。

#### ○無慾的快感説 Di-interested Hedonism

快感は吾人の衣食住の日常生活及道德上の利害關係と没交渉に起る場合がある。これ所謂カントの稱ふる無慾的快感説にして、近世美學に於ける重要な一特徴である。即ち美を善となす道德的傾向、美を利用となす功利的傾向に反對して、道德と功利から獨

立したる所謂カントの *Interesologic* (無利害説) に基調を置く快感説である。

### 【メ之部】

#### ○名目論 *Nominalism*

十二世紀の初葉スコラ哲學の勃興に伴ひて當時名目論と實有論との對立を見たのである。名目論とは一切の抽象的概念的なるもの、存在を認めずして單に個々の物體のみの實在を説く哲學論である。この説によれば吾人の經驗し得るものは個々の事實、物體の外なく、種とか類とか言ふ綜合的、抽象的、概念的なものは只單に名目に過ぎないと言ふのである。例へば人類とは名目空名にして個人の外に人類はないと言ふのである。この名目論を宗教上に取り入れたるは佛のロセランにして、宗教には元來教義、説明と言ふ統一的なものあるべからず、我心と神と一致するところ、そこには宗教の眞髓がありて他なしと説くのである。我禪宗の如きははゞこの名目論の範圍に入るべき性質のものであらう。

#### ○メートル法

佛國度量衡單位は總て米であつて、規矩正しき十進法に據つて居り、世界の度量衡中



最も算數に便なる理想的なものであるとせられて居る。世界中にても、是を國定法とせる國が、今日では最も多數であると言ふ。然るに我國の如き國有の度量衡に加ふるに、英國系のヤード、ポンドあり、更に此メートル法も混ざるあつて、其煩瑣不統一なる事教育上、能力上多大の不便を與ふるものがあつた。當局者は是に鑑み、斷然度量衡の統一整理を聲明し、大正十年より是を實行するに至つたが、實際採用するに至つたものが即ち此メートル法である。然るにメートル法は最も容易なる度量衡法なるにも拘はらず、實施後猶日淺き爲め、未だ充分普遍的に用ゐらるゝに至つては居ない。然し新制度度量衡法に據る實行期は學校の教科書は三年後までに、各官廳及大工場は五ヶ年後までに普通一般は二十年後までに必ず是を履行しなければならぬ事になつて居る。メートル法の基本單位及我國固有度量衡との比率數を擧ぐれば左の如くである。

(度) 一耗 (ミリメートル) 〓 參厘參毛 其十進單位は センチメートル 厘、デシメートル 分、センチメートル 米、デカメートル 料、ヘクトメートル 糶、キログラム 糶

(面積) 一平方 糶 〓 一〇、八九平方厘 其十進單位は一平方糶、一平方米、一平方

料、一平方糶、一平方糶

(體積) 一立方糶 〓 三五・九三七立方厘 其十進法は一立方糶一立方粉、一立方米。

(量) 一 耗 〓 〇・〇〇〇五五四升 其十進法は センチリットル 厘、デシリットル 粉、リットル 立、デカリットル 斗、ヘクトリットル 石

(衡) 一 砵 〓 〇・〇〇〇二七々 其十進法は センチグラム 厘、デシグラム 粉、グラム 瓦、デカグラム 斤、ヘクトグラム 頭、キログラム 斤

右のうち各種とも最初に掲げた單位以外は十進法であるから、各自最初の單位に十倍して算出、或は換算すれば好い譯である。

○メイ・デー May-day

労働祭と譯されて居るが、正しくは五月祭と譯すべきである。西曆一八八六年五月一日は米國各大都市の労働者が、八時間労働制を贏ち得たる労働者解放の重要な階梯であるから、是を永久に紀念し、其紀念する事に依つて、將來益々多事なる無産階級運動の陣容を新たにする目的を以つて、同日萬國の労働者が一齊に休業し、旺なる示威運動を擧ぐる其事が労働祭なのである。世界に於て初めて是が舉行を決議したのは一八八九年の萬國社會黨同盟第一回大會であつて、翌年より歐米各國に於ては、盛大に是を實行

するに至つた。我國では大正九年に其端を發し、翌年からは各都市に於て歐米同様の労働祭が營まるゝに至つた。歐洲大戦中は各國とも交戦心理に驅られて、一時中絶の形にあつたが、第三インターナショナル以來再び復活するに至つた。労働祭には各國とも附物となつて居るのは、示威運動隊と官憲との衝突であつて、時には流血の慘事を見、新聞の社會面の人氣を沸騰せしめたのである。蓋し其原因は官憲が示威運動隊の暴動化せん事を懼れて、是を妨害せんとしたからである。

#### ○メソヂスト Methodist

基督教新教中の一新派。十八世紀前半初め英國基督教界が沈滞萎微せるを痛嘆した英人ジョン・ウエスレーが一七二九年牛津大學一部の學生を糾合して集團を催せるに端を發し、ウエスレーが亞米利加三ヶ年の傳道に依つて、宗教的内省を深くせる頃より、同派の勢力は燎原の火の如く英國宗教界に擴がつた。其教義とする所は人の罪惡、神の恩寵キリストの瀆罪を力説せるほかに聖潔、完全の二字を重んずるにあつた。儀式を單純にし、民衆的態度を重んじ、慈善事業に意を注ぐ等は又メソヂスト派の特色である。神秘

なる宗教を實際生活に調和せしめんとするが如き同派の特色は、同派の力強い點であると言はなければならぬ。我國の關西學院、青山學院等は同派亞米利加系教會の經營に係るものであるが、兩大學の學風は、聽てメソヂスト派の精神を彷彿たらしむるものであらう。

#### ○メンタル・テスト Mental test

心理試問又は心理考査と譯される。從來の學課試験は、記憶力の強弱を試すに止まり偶々記憶せる課題に遭遇したものは、假令他の總ての學課に通せずとも僥倖に及第し得る譯であり、不幸其課題を記憶せず、併も他學課は悉く修得し居るものと雖不幸にも落第しなければならぬと言ふが如き不公平な結果を生ずる場合が多い、のみならず、受験者は全學課を頭に詰込む爲、過激な試験勉強を餘儀なくさせられ、心身を壞すやうな事が生じるのである。これに鑑みメンタル・テストは斯る在來の試験制度の缺陷を補はんとして、受験生の推定力、智能力の自由なる發揮に依つて、解答を得せしめんとする目的方法の許に生れた最新の試験方法である。從來の試験制度が範疇的であるに反し、是

はより餘裕を存し眞にその人物を肘度し得るものであるとメンタル・テスト主唱者は言ふのである。是が初めて教育界に現はれたのは一九〇八年佛蘭西に於いてある。其創案者はビネーである。ビネーのそれは兒童の一般智能測定つまり兒童に相共通する基礎的知識を知らんとする方法の考案であり、此考案にはほかに佛のシモン、米國のスタンホード大學のスタンホード案改訂者テルマン等がある。一般測定のほかに、特殊智能測定と言ふのがあり、是は兒童の特殊才能、つまり個性を識別せんとする方法で、優良兒劣等兒を判然たらしむる事が出来るのである。メンタル・テストが我國に初めて具體的に實施されたのは大正十三年大阪高津中學校長の主唱に依り、全大阪府各中學、各女學校に實施せられたのが初めて、當時及現今に於て其是非に就いては随分識者の間に問題となつて居るのである。左に其時の課題の一例を擧げて以つて我國に行はるゝメンタル・テストなるものが如何なるものであるかを知るの一端に供する。

次ノ語句ヲドナ順序ニ結びツケルト、意味ノハツキリシタ文章ニナリマスカ。ソノ順序ヲ括弧ノ中ニ數字デ示シナサイ。

イ、( ) その處は到る處に ( ) 歌にまで歌はれ ( ) つたはつたさ ( ) 銀の學行な行は

(以下は略す、是は大阪各府立女學校共通の國語科課題の一つであつた)

○メレジュコフスキー (人名)

一八六〇年に生れた露西亞現存の大評論家である。第三帝國主義に依つて、靈肉葛藤と其調和の理想境を指示せる『神々の死』『先驅者』等の彼の作は、又彼が深刻なる小説家である事を語るものである。評論としては『人間藝術家としてのトルストイ及ドストエフスキー』が最も人口に膾炙して居る。露西亞革命後は勞農文壇に壓迫されて、氣息奄々たるものがあると言ふ噂である。

○メンデルスゾーン (人名)

獨逸十八世紀の神學者にして哲學者。自然神教論者として獨逸思想史上に一箇の聲名を止めて居る。一七二九年に生れ、一七八五年に死んだ。

○メリメ (人名)

プロスパーメリメは佛蘭西浪漫主義末期の一異彩。小説『カルメン』『マテオ・フォルコーネ』等は絢爛たる藝術的香氣と劇的要素に富んで居るので名高い。此二特色は又

彼の全藝術の面目をなすものである。小説のほか、多数の劇作がある。

○若溪派 東京高等師範学校の一派に對する形容語。元同校がお茶の水即ち若溪のほりにあつたところよりこの名がある。

○名譽領事 領事館を置かない土地に於て、其地外國人と以つて是に充てた場合の領事を言ふ。普通委任待遇である。其區別には名譽總領事、名譽領事、名譽副領事の三等級別がある。

○免訴 豫審判事が刑事被告人に對して其起訴の效力を消滅せしむる決定をなす事。其場合は一、證據不十分の時二、公訴の時効にかゝりたる時、一、已に確定判決を得たる時、一、大赦ありたる時、一、法律に於て其罪を全免する時等である。

○メンバー Member 社員、部員。

○メンシエヴキ Menshevik 少數派、穩和派（其項及過激派の項に詳し）

○メゾン Maison 佛語で家、店の事であるが、多く料亭、喫茶店等に冠して用ゐる。例へば、嘗つて東京で文士畫家等が常連と張つて居たメゾン鴻の巢の類である。

○メートル Metre (メートル度量衡法の項参照) 佛國制長さの單位。メートル原器の二標線間零度に於ける距離を以つて其正確距離として居る。初め地球子午線の四萬分の一に據つて制定されたものである。俗に言ふメートルを揚げるは長さの伸びる事より想像して、氣焔を揚げる又は酒を景氣よく飲むぐらの意味に使つて居る。

○メールヘン Marchen お伽噺、傳説的物語。獨逸語である。

○メシア Messiah 基督の事と誇らるゝに言つた言葉。救世主でも譯すべき。それより一般宗教的偉人物の事と用ふ場合に使ふ。たゞへば「賀川豊彦は現代貧民階級のメシアだ」と言ふが如きである。メサイアとも訓ぜられる。

○メス Mes 外科手術用の鋭利なる解剖刀。解剖のメスを振つて現代文明の急所を切るなどと言ふ場合に用ゐる。

○メスメリズム Mesmerism 催眠術。埃國の醫師メスメルに依つて創始せられたところより此語を生じた。

○メソッド Method 方式、方則。

○メタフィジックス Metaphysics 純正哲學、形而上學（其項に詳説）

○メダル Medal 金屬、賞牌、徽章。

○メツザ Melusa 希臘神話の中の有名な、怪奇なる形相の妖魔。其頭髮の如きは蛇であつた。希臘の勇士ヘルシウスは苦心の結果漸く其居所と突きこめ、大力闘の結果辛うじて其首を刎れ、衆人の難を除いた。メツザの首を刎れば、人は立所に石に化せられたので、容易に是を退治得るものがなく。衆人等しく脅けて居たのである。

○メニュー Menu 西洋料理献立表（佛語）

○メモランダム Memorandum 忘備録、覚え書。メモは其略。

○メランコリー Melancholy 憂鬱、憂鬱的な。

○メリー・ユー・ラウンド Merry-go-round 其意味は面白く廻ると言ふ事で、木馬に跨つて、空中を圓周する装